

2020年10月分新聞書評



当事者研究～等身大の<わたし>の発見と回復～

熊谷 晋一郎 著

岩波書店

当事者研究とは、自分と似た仲間との共同研究を通じて、等身大の<わたし>を発見すること。当事者研究の誕生の背景と方法論を紹介し、自閉スペクトラム症研究を例に、知識や支援法の共同創造が始まりつつある現状を報告する。

朝日新聞 2020/10/17

2020:7./

10p,217p,43p

978-4-00-006337-1

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 0 0 0 0 6 3 3 7 1 *



モンテ・クリスト伯<7>(ワイド版岩波文庫 369)

アレクサンドル・デュマ、山内 義雄 著

岩波書店

すべての復讐をなしとげたモンテ・クリスト伯は、孤独の女王エデの純真な愛情に、平和な人間らしい生活に入る決意をし、社交界を去る。彼が残した言葉は…。200年の間、世界各国で人気をあつめてきた「巖窟王」の完訳。

読売新聞 2020/10/25

2013:12./ 441p

978-4-00-007369-1

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 0 0 0 7 3 6 9 1 *



なぜ原爆が悪ではないのか アメリカの核意識

宮本 ゆき 著

岩波書店

多くが原爆投下を肯定するアメリカ。日本とかけ離れた核意識は、いかに形成されたのか。シカゴの大学で教える著者が、アメリカ市民の核認識を、人々の語り、映画やコミック、流行歌等の文化や歴史から読み解く。

朝日新聞 2020/10/10

2020:7./ 8p,225p

978-4-00-024182-3

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 4 1 8 2 3 *



近代日本の音楽百年<第1巻> 洋楽の衝撃

細川 周平 著

岩波書店

日本の音楽の「近代」を空前の規模で俯瞰する著者のライフワーク。第1巻では、軍楽隊の導入とその民間への広がりの様相、学校唱歌から壮士演歌までの流れを詳細に叙述する。

朝日新聞 2020/10/17

2020:9./ 16p,375p,6p

978-4-00-027226-1

本体 ¥13,000+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 7 2 2 6 1 *

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2020年11月時点での税抜価格です。



小説をめぐって(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著
岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、著書未収録のエッセイを精選。創作の原点である山形小松・仙台のこと、書評・文庫解説、同時代の作家との交友、自作に関する「作者のこぼれ」などを収録する。

2020/7./ 11p,186p
978-4-00-028150-8
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/10/10



ブルシット・ジョブ〜クソどうでもいい仕事の理論〜

デヴィッド・グレーバー 著
岩波書店

なぜ社会の役に立つ仕事ほど低賃金なのか。私たちの世界をむしばむブルシット・ジョブ(クソどうでもいい仕事)の実態と弊害とメカニズムを、証言・人文知等を駆使しながら解明、理論化。仕事のほんとうの「価値」を再考する。

2020/7./ 7p,426p,7p
978-4-00-061413-9
本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2020/10/31



ほんとうのリーダーのみつげかた

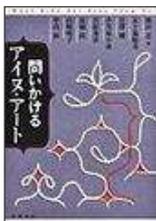
梨木 香歩 著
岩波書店

みんなと同じでなくてはいけないという圧力が強くなっているなかで、いちばん耳を傾けるべき存在とは。困難な時代を生き延びるために、今考えたいことをまとめる。2015年4月の講演録と『図書』掲載を書籍化。

2020/7./ 7p,70p
978-4-00-061415-3
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2020/10/03



問いかけるアイヌ・アート

池田 忍 編
池田 忍 著
岩波書店

民族の歴史が培った造形を受け継いだアイヌ・アートはどのように生み出され、今後どう展開していくのか。作家、研究者、学芸員、愛好者らが、共同研究をふまえてそれぞれの視角から魅力の根源に迫る。カラー図版も多数収録。

2020/9./ 11p,281p,2p
978-4-00-061420-7
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/10/10



日没
桐野 夏生 著
岩波書店

小説家・マツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが…。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。『文学』『世界』掲載を加筆し書籍化。

2020/9./ 329p
978-4-00-061440-5
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/10/31

**運命 改版(岩波文庫 緑 19-3)**

国木田独歩 著
岩波書店

独歩の第 3 著作集「運命」初版本の覆刻。「酒中日記」「運命論者」をはじめ「巡查」「画の悲しみ」「馬上の友」「悪魔」「空知川の岸边」「非凡なる凡人」「日の出」など 9 篇が収められている。独歩の文壇的地位を確立したばかりでなく明治文学が近代の文学へ移行する一枢軸をなした作品集である。明治 39 年刊。

毎日新聞 2020/10/24

1989:3./ 223p
978-4-00-310193-3
本体 ¥600+税

**ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら(岩波文庫 赤 455-1)**

阿部謹也 著
岩波書店

主人公ティルが放浪者・道化師あるいはもぐりの職人となって教皇・国王から親方連までさまざまな身分の者たちを欺きからかい、その愚かさを暴いて哄笑をまきおこす。500 年余も読みつがれてきたこの作品はいまも諷刺の力を失っていない。中世ドイツ語原典の翻訳に気鋭の社会史家ならではの詳注と解説を加えた。図版多数。

日本経済新聞 2020/10/17

1990:5./ 452p
978-4-00-324551-4
本体 ¥1,070+税

**三銃士<上> 改版(岩波文庫)**

デュマ、生島 遼一 著
岩波書店
読売新聞 2020/10/25

1970:10./ 621p
978-4-00-325338-0
本体 ¥1,100+税

**大尉の娘 改版(岩波文庫)**

プーシキン、神西 清 著
岩波書店
読売新聞 2020/10/25

1959:2./ 310p
978-4-00-326043-2
本体 ¥780+税

**白い病(岩波文庫 32-774-3)**

カレル・チャペック 著
岩波書店

戦争目前の世界で、突如「雪崩のように」流行り始めた未知の疫病。そこへ特効薬を発見したという貧しい町医者が現れるが、施療に際し、彼は一つだけ条件を提示した。1937 年刊行の名作 SF 戯曲。

毎日新聞 2020/10/03

2020:9./ 189p
978-4-00-327743-0
本体 ¥580+税

**ユーロ危機とギリシャ反乱(岩波新書 新赤版 1586)**

田中 素香 著
岩波書店

2010 年のギリシャ危機から今日まで続くユーロ圏の危機の経過、危機の原因、制度改革、そして危機克服の方法について説明。国として「独り勝ち」といわれたドイツと、危機の続くギリシャに特に注目する。

日本経済新聞 2020/10/24

2016:1./ 8p,248p,8p
978-4-00-431586-5
本体 ¥820+税





中国の歴史<5> 「中国」の形成 現代への展望(岩波新書 新赤版 1808)

岡本 隆司 著
岩波書店

様々な勢力が角逐する 17 世紀から、東アジアに君臨した清朝が潰え、混迷の中から「中国」が姿を現す 20 世紀、そして現代まで。多元と一体の狭間で「一つの中国」を夢みるに至った 400 年を描く。シリーズ中国の歴史、完結。

2020:7./
17p,199p,19p
978-4-00-431808-8

本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/10/24



ジョージ・オーウェル～「人間らしさ」への讃歌～(岩波新書 新赤版 1837)

川端 康雄 著
岩波書店

「反ソ・反共」作家のイメージから「監視社会化」に警鐘を鳴らした人物へと、時代とともにその評価も変化してきたジョージ・オーウェル。ポスト真実の時代に再評価が進む彼の生涯と作品群をたどり、その思想の根源をさぐる。

2020:7./ 6p,265p,13p
978-4-00-431837-8

本体 ¥880+税



朝日新聞 2020/10/03



景観からよむ日本の歴史(岩波新書 新赤版 1838)

金田 章裕 著
岩波書店

日ごろ何気なく目にする景観には、幾層にも歴史が積み重なっている。「景観史」を提唱してきた歴史地理学者が、写真や古地図を手がかりに、景観のなかに人びとの営みの軌跡を探る。町歩きや旅の散策にも最適の一冊。

2020:7./ 9p,205p
978-4-00-431838-5

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/10/11



イスラームからヨーロッパをみる～社会の深層で何が起きているのか～(岩波新書 新赤版 1839)

内藤 正典 著
岩波書店

ヨーロッパとイスラームの共生は、なぜうまくいかないのか? シリア戦争と難民、トルコの存在、女性の被り物論争など、過去 20 年間に起きたことを、著者 40 年のフィールドワークをもとに、イスラームの視座から読み解く。

2020:7./ 9p,266p,4p
978-4-00-431839-2

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/10/24



性からよむ江戸時代～生活の現場から～(岩波新書 新赤版 1844)

沢山 美果子 著
岩波書店

生まれた子は自分の子ではないと言い張る夫と妻の争い、難産に立ち合った医者 of 診療記録にみる妊婦の声…。史料の丹念な読み込みから、江戸時代に生きた女と男の性の日常と、その背後にある「家」意識、藩や幕府の政策に迫る。

2020:8./ 8p,190p
978-4-00-431844-6

本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/10/03



国際人権入門～現場から考える～(岩波新書 新赤版 1845)

申惠ボン 著
岩波書店

日本社会で起きている人権問題も、国際人権基準に照らして考えることで解決への新たな視座が得られる場合が少なくない。豊かな内容を持つ国際人権法の姿を概説し、具体的な事件を題材にその活かし方を考える。

2020:8./ 10p,173p
978-4-00-431845-3

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2020/10/03

**ドイツ統一(岩波新書 新赤版 1847)**

アンドレアス・レダー 著
岩波書店

1989/90年のドイツ革命は、まずもって市民の革命だった。ドイツ統一から30年。冷戦の終焉を決定づけ、その後の世界の原点となった市民革命を、傑出した歴史家が明快に描く。

毎日新聞 2020/10/10、読売新聞 2020/10/25

2020/9./ 8p,201p,17p
978-4-00-431847-7

本体 ¥820+税

**有島武郎～地人論の最果てへ～(岩波新書 新赤版 1849)**

荒木 優太 著
岩波書店

土地や血統の宿命からは逃れられないと知りつつも、普遍的な個性や愛を信じた有島武郎。矛盾に満ちた葛藤の果てに有島が夢見た地平をめざして、その作品と生涯を読み解く。略年譜も収録。

日本経済新聞 2020/10/31

2020/9./ 4p,268p,4p
978-4-00-431849-1

本体 ¥880+税

**新編つばやきの政治思想(岩波現代文庫 学術 419)**

李静和 著
岩波書店

秘められた悲しみにまなごしを向け、声にならないつばやきに耳を澄ます。記憶と忘却、証言と沈黙、加害と被害、からだと言葉などをめぐるエッセイ。書下ろし「徘徊の棲家・ハニビルレ」等を収録。

毎日新聞 2020/10/17

2020/4./ 5p,182p
978-4-00-600419-4

本体 ¥960+税

**聖路加病院 生と死の現場(岩波現代文庫 社会 321)**

早瀬 圭一 著
岩波書店

日本有数の「特別な病院」聖路加病院の、小児科、訪問看護、救急といった現場を見つめ、医療と看護の原点を描いたノンフィクション。「聖路加病院で働くということ」に緩和ケア病棟での出会いと別れの新章を増補し文庫化。

読売新聞 2020/10/18

2020/8./ 6p,290p
978-4-00-603321-7

本体 ¥1,340+税

**菌世界紀行～誰も知らないきのこを追って～(岩波現代文庫 社会 322)**

星野 保 著
岩波書店

北極、南極、そしてシベリア。大の男が這いつくばって、世界中の寒冷地にきのこを探し…。雪や氷の下でたたかに生きる菌たちの生態とともに綴る、爆笑・苦笑・失笑必至のとおき<菌道中>。

日本経済新聞 2020/10/17

2020/9./ 9p,172p,5p
978-4-00-603322-4

本体 ¥860+税

**ミハイル・ゴルバチョフ～変わりゆく世界の中で～**

ミハイル・ゴルバチョフ 著
朝日新聞出版

1987年12月8日、米ソの間で中距離核戦力(INF)全廃条約が調印されて32年。「新冷戦の始まり」との声も聞かれる世界はどこへ行くのか。ノーベル平和賞のゴルバチョフが当時と今を語り尽くす。

朝日新聞 2020/10/24

2020/7./ 362p
978-4-02-251693-0

本体 ¥2,600+税





核のボタン～新たな核開発競争とトルーマンからトランプまでの大統領権力～

ウィリアム・J・ペリー 著

朝日新聞出版

米露中の「新冷戦」といわれる今、核戦争に陥る真の脅威は米国の核政策そのものにある。米国の核の歴史を振り返り、核兵器がもたらす悲劇的結末を避けるために元米国防長官・ペリーらから米政府に向けた警告の書。

2020/7./ 304p,26p

978-4-02-251694-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2020/10/03、毎日新聞 2020/10/24



剱岳一線の記～平安時代の初登頂ミステリーに挑む～

高橋大輔 著

朝日新聞出版

岩場が険しく、前人未到と思われていた剱岳。しかし明治 40 年、測量隊は山頂で、平安時代の錫杖頭と鉄剣を発見する。いつ、誰が置いたのか。登山道具のない時代にどうやって登ったのか。探検家・高橋大輔がその謎に挑む。

2020/8./ 259p

978-4-02-251697-8

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/10/04



明るい覚悟～こんな時代に～

落合恵子 著

朝日新聞出版

多くは要らない。丁寧に生きるためにむしろ少しがいい。75 歳になった落合恵子が辿りついた「明るい覚悟」とは? 深く暮らす術をとびきりの絵本とともに紹介。『一冊の本』連載を加筆修正。

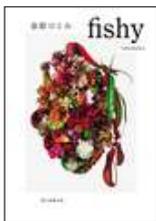
2020/9./ 248p

978-4-02-251700-5

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/10/25



fishy

金原ひとみ 著

朝日新聞出版

美玖たち 3 人は、互いのプライベートに踏み込まない「ともだち」。彼女たちが抱える虚無は、仕事でもプライベートでも、それぞれに深く…。女性の生きづらさと新たな連帯のかたちを描く。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

2020/9./ 268p

978-4-02-251713-5

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/10/17、産経新聞 2020/10/18、東京・中日新聞 2020/10/25



仏具とノーベル賞京都・島津製作所創業伝

鵜飼秀徳 著

朝日新聞出版

京都の復興に生涯を捧げた島津源蔵と、その息子・梅治郎。明治の科学立国に奮闘した島津製作所創業者父子に焦点を当て、京都のものづくりの精神に迫る。敗戦直後の島津製作所の苦難の様子も綴る。

2020/9./ 237p

978-4-02-251714-2

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/10/11



イタリアの引き出し(朝日文庫 う26-2)

内田洋子 著

朝日新聞出版

ミラノに夏を告げる花市場、公園で泣く女子高生、友人に会いに行くサルディーニャ島…。イタリアに根を下ろして取材してきた著者が、ささやかなものを見逃さぬ目と端正な文章で、イタリア各地の人々の多様な暮らしを描く。

2020/9./ 202p

978-4-02-262020-0

本体 ¥720+税



読売新聞 2020/10/11



世界最悪の鉄道旅行～ユーラシア大陸横断 2万キロ～(朝日文庫 し 19-16)

下川裕治 編
朝日新聞出版

時速 35 キロの遅すぎる列車に耐え、中国では切符獲得戦争に奮闘。紛争地帯ではあわや列車爆破テロ…。シベリアからポルトガルまで 26 夜も寝台列車に揺られた、旅を超えた「冒険」物語。変化する旅事情をコラムに収録。

2020:8./ 409p 図版
16p
978-4-02-262023-1

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/10/04



素手のふるまい～芸術で社会をひらく～(朝日文庫 わ 15-1)

鷺田清一 著
朝日新聞出版

東北の被災地に住みついた芸大生、タコツボ無人販売所を開く陶芸家、廃屋の記憶をウクレレとして保存する工芸家…。生きる技法としての芸術のもつ可能性を、臨床哲学者が論じる。芸術が開く新たな社会性についての評論。

2020:9./ 302p
978-4-02-262026-2
本体 ¥760+税



朝日新聞 2020/10/10



うたの動物記(朝日文庫 こ 42-1)

小池光 著
朝日新聞出版

斎藤茂吉の馬、宮沢賢治のおおろぎ、谷川俊太郎のかっぱ… 作者は生き物に心の風景を託した。詩歌に詠まれた動物をその生態、文化史とともに、現代の代表的歌人が縦横無尽にユーモラスに語った 105 編のコラムを集成。

2020:10./ 230p,4p
978-4-02-262032-3
本体 ¥740+税



朝日新聞 2020/10/24



夜の声を聴く(朝日文庫 う 27-1)

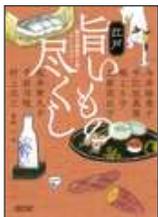
宇佐美まこと 著
朝日新聞出版

目の前で手首を切った女性に惹かれた隆太は、彼女が通う定時制高校に入学し、同級生の大吾が働く奇妙な店を手伝い始める。しかし、それは 11 年前の一家殺人事件に端を発する、歪んだ悲哀が渦巻く世界への入り口だった…。

2020:9./ 406p
978-4-02-264965-2
本体 ¥740+税



朝日新聞 2020/10/03



江戸旨いもの尽くし(朝日文庫 朝日時代小説文庫 き 25-1)

菊池仁 編
朝日新聞出版

大好物の鮓をもらった飯炊きの作兵衛は、我慢できずひとつ食べ…「こはだの鮓」。江戸の味に馴染めない新妻のためにお妙は絶品料理を出し…「六花」。江戸っ子の情けと絶品料理に癒される珠玉の全 7 編を収録した短編集。

2020:10./ 301p
978-4-02-264968-3
本体 ¥760+税



日本経済新聞 2020/10/24



がろあむし

舘野 鴻 著
偕成社

くずれた崖の奥底で、がろあむしの赤ちゃんが生まれた。がろあむしはまっくらな世界をかけまわり、やがて大きくなるとオスと出会い、たまごを産む。そして…。地下の暗黒世界に広がる宇宙と小さな虫の大きな一生を濃密に描く。

2020:9./ 40p
978-4-03-437080-3
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/10/10



ロンメル将軍～副官が見た「砂漠の狐」～(角川新書 K-331)

ハインツ・ヴェルナー・シュミット 著

KADOKAWA

今も名将として名高く、北アフリカ戦役での活躍から「砂漠の狐」の異名を付けられたロンメル将軍。その副官を務め、相次ぐ激戦で指揮を執った男が、間近で見続けたロンメルの姿と、軍団の激戦を記した回想録。

朝日新聞 2020/10/03、日本経済新聞 2020/10/17

2020:9./ 377p

978-4-04-082347-8

本体 ¥1,300+税



戦国の忍び(角川新書 K-333)

平山 優 著

KADOKAWA

史料に残された忍びにまつわる記述を丹念に読み解くことで見えてきたのは、夜の戦場で活躍する忍びの姿と、昼夜を分かたずに展開される熾烈な攻防戦だった。武田氏、真田氏研究の第一人者が、忍びの驚きの実態を明かす。

産経新聞 2020/10/10

2020:9./ 350p

978-4-04-082359-1

本体 ¥900+税



たった一人のオリンピック(角川新書 K-329)

山際 淳司 著

KADOKAWA

幻の五輪代表選手を描き、山際淳司のノンフィクション作家としての地位を不動のものにした表題作をはじめ、「回れ、風車」「ポール・ヴォルター」など、五輪にまつわる様々なスポーツの傑作短編を収録。

毎日新聞 2020/10/17

2020:8./ 287p

978-4-04-082386-7

本体 ¥900+税



天使・雲雀(角川文庫 さ78-3)

佐藤 亜紀 著

KADOKAWA

第一次大戦前夜、天賦の「感覚」を持つジェルジュは、ウィーンの権力者の配下となり…。不穏な政治情勢の中、間諜となった彼の壮絶な闘いが圧巻の「天使」と、その後を描いた「雲雀」を合本した歴史小説。

朝日新聞 2020/10/17

2020:8./ 540p

978-4-04-109268-2

本体 ¥1,180+税



四畳半タイムマシンブルース

森見 登美彦 著

KADOKAWA

気ままな連中が“昨日”を改変。世界の存続と、恋の行方は!? 森見登美彦「四畳半神話大系」と上田誠「サマータイムマシン・ブルース」のコラボレーション作品。『カドブンノベル』連載を単行本化。

朝日新聞 2020/10/31

2020:7./ 225p

978-4-04-109563-8

本体 ¥1,500+税



僕らの神さま

芦沢 央 著

KADOKAWA

僕たちは何か問題が起きると、同級生の水谷くんに相談する。彼が出す答えに決して間違いはない。だって水谷くんは「神さま」だから…。小学生の日常で起きた「悲劇」が胸をえぐる、残酷で切ない連作ミステリー。

産経新聞 2020/10/03

2020:8./ 245p

978-4-04-109778-6

本体 ¥1,600+税





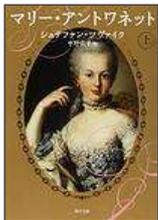
連ちゃんパパ〜 a Chain of Jackpots〜<4>

ありま 猛 著
KADOKAWA

妻・雅子との離婚が成立し、息子の浩司とも離れ離れになった日之本進(パパ)。そんな彼のもとへ、借金取りが学習塾の講師の仕事を持ってきた。いつもの通り勤労意欲が湧かないパパだが、ある転機が訪れる……!?! ほのぼのタッチの社会派ダークコメディ、起死回生の逆転劇炸裂の完結巻!!

朝日新聞 2020/10/17

2020:10./ 206p
978-4-04-110783-6
本体 ¥860+税



マリー・アントワネット<上>(角川文庫)

シュテファン・ツヴァイク 著
角川書店

運命というものは、人間になんと非情な試練を与えることだろう——ただ愛らしく平凡な娘だったアントワネットの、歴史に翻弄された激動の人生を、壮大な悲劇の物語として世界に知らしめた、古典的名著。

読売新聞 2020/10/25

2007:1./ 362p
978-4-04-208207-1
本体 ¥600+税



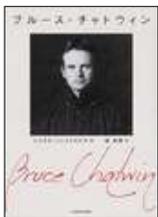
マリー・アントワネット<下>(角川文庫)

シュテファン・ツヴァイク 著
角川書店

運命の恋人フェルゼンと出逢い、ついに本物の愛を知ったアントワネット。しかしフランス王妃としての運命は、女としての幸せを彼女に与えなかった。煌びやかな宮殿から死の断頭台へ——悲劇と感動のクライマックス。

読売新聞 2020/10/25

2007:1./ 380p
978-4-04-208208-8
本体 ¥680+税



ブルース・チャトウイン

ニコラス・シェイクスピア 著
KADOKAWA

生来の蒐集家、揺るぎない審美眼、サザビーズの鑑定家、ジャーナリスト、考古学者、チャーミングな雄弁家、両性愛者、エイズでの早世……。膨大な証言から、「伝説の旅人」ブルース・チャトウインの実像に迫る。

朝日新聞 2020/10/31、日本経済新聞 2020/10/31

2020:8./ 885p
978-4-04-400091-2
本体 ¥4,500+税



自閉症は津軽弁を話さない〜自閉スペクトラム症のことばの謎を読み解く〜 (角川ソフィア文庫 L129-1)

松本 敏治 著
KADOKAWA

自閉スペクトラム症(ASD)の方言使用について調査を実施。「自閉症児者が方言を話さないわけ」「自閉症児者が共通語を話すわけ」について著者の解釈を紹介し、自閉症児者が示す、言語やコミュニケーションの特徴を述べる。

読売新聞 2020/10/18、朝日新聞 2020/10/24

2020:9./ 287p
978-4-04-400620-4
本体 ¥980+税





カラオケ行こ!(BEAM COMIX)

和山 やま 著
KADOKAWA

合唱部部長の聡実はヤクザの狂児にからまれて歌のレッスンを頼まれる。彼は、絶対に歌がうまくなりたい狂児に毎週拉致されて嫌々ながら 歌唱指導を行うが、やがてふたりの間には奇妙な友情が芽生えてきて……？ 話題の作品が描き下ろしを加えて待望のコミックス化!! [登場キャラクター紹介] ○岡 聡実: 森丘中学校合唱部の部長。とある悩みを抱えているのだが、なぜか狂児に歌を教えることに。真面目だが毒舌な中学3年生。【得意な歌】 教えません。 ○成田狂児: 四代目祭林組若頭補佐。組長が主催するカラオケ大会の罰ゲームを回避するために歌がうまくなりたい 39 歳。【得意な歌】 紅 ○組長: 狂児の組の組長。絶対音感がある。1番好きなことはカラオケで、2番目に好きなことは刺青。【得意な歌】 タイガー&ドラゴン

2020/9./ 159p
978-4-04-736151-5
本体 ¥700+税



毎日新聞 2020/10/31



未来のサイズ

俵 万智 著
KADOKAWA

手伝ってくれる息子がいることの幸せ包む餃子の時間 制服は未来のサイズ入学のどの子どもの子も未来着ている 誰だって何かで死ぬと思えども死よりも病を恐れる心 2013~2020年の作品から 418 首を収めた第 6 歌集。

2020/10./ 181p
978-4-04-884381-2
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/10/11



武器になるグローバル力~外国人と働くときに知っておくべき 51 の指針~

岡田 兵吾 著
KADOKAWA

発音に自信がない、どうすれば? 上司は名前で呼ぶべき? 「コロナ後」のグローバル社会をポジティブに生き抜くためのすべを 51 の指針に整理して紹介する。シーン別に実践できるビジネス英語フレーズ 600 も掲載。

2020/7./ 255p
978-4-04-896824-9
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/10/25

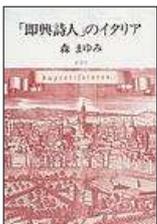


徳山道助の帰郷・殉愛(講談社文芸文庫)

柏原 兵三 著
講談社

日本経済新聞 2020/10/31

2003/10./ 252p
978-4-06-198348-9
本体 ¥1,200+税



「即興詩人」のイタリア

森 まゆみ 著
講談社

森鷗外の名訳書をたどった紀行エッセイ。アンデルセンの不朽の名作が生生きと描くアントニオ、親友ベルナルドオ、歌姫アヌンチャタらの人間ドラマの舞台を、歩きつくりし渉猟しつくりした異色の文学評論。

2003/6./ 302p
978-4-06-211869-9
本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/10/31



回転木馬のデッド・ヒート(講談社文庫)

村上 春樹 著
講談社

「それはメリー・ゴーラウンドによく似ている。それは定まった 場所を定まった速度で巡回しているだけのことなのだ。どこにも行かないし、降りることも乗りかえることもできない。誰をも抜かないし、誰にも抜かれない」人生という回転木馬の上で、人は仮想の敵に向けて熾烈なデッド・ヒートをくりひろげる。事実と小説とのあわいを絶妙にすくいとった、村上春樹の8つのスケッチ。 都会の奇妙な空間 人生というメリー・ゴーラウンド そこでデッド・ヒートを繰り返りひろげるあなたに似た人—— 現代の奇妙な空間——都会。そこで暮らす人々の人生をたとえるなら、それはメリー・ゴーラウンド。人はメリー・ゴーラウンドに乗って、日々デッド・ヒートを繰り返りひろげる。人生に疲れた人、何かに立ち向かっている人……、さまざまな人間群像を描いたスケッチ・ブックの中に、あなたに似た人はいませんか。

朝日新聞 2020/10/03

2004.10./ 214p
978-4-06-274906-0
本体 ¥500+税



裸でも生きる～25歳女性起業家の号泣戦記～(講談社BIZ)

山口 絵理子 著
講談社

イジメ、非行、偏差値40から慶応大合格、卒業後にアジア最貧国バングラデシュで起業…。数々の失敗、挫折、裏切りに遭いながらも歩み続け、途上国発のブランド「マザーハウス」を軌道に乗せた女性起業家とその半生を綴る。

日本経済新聞 2020/10/03

2007.9./ 263p
978-4-06-282064-6
本体 ¥1,400+税



水は海に向かって流れる<1>(KC デラックス)

田島 列島 著
講談社

「俺がいなければ、この人の肩が濡れることはなかったのに」 高校への進学を機に、おじさんの家に居候することになった直達。だが最寄の駅に迎えに来たのは見知らぬ大人の女性の榊さん。案内された家の住人は26歳OLの榊さんとなぜかマンガ家になっていたおじさんの他にも 女装の占い師、メガネの大学教授と いずれも曲者揃いの様子。ここに高校1年生の直達を加えた男女5人での 一つ屋根の下、奇妙な共同生活が始まったのだが、直達と榊さんとの間には思いもよらぬ因縁が……。 久しぶりに始動した田島列島が自然体で描くのは 家族のもとを離れて始まる、家族の物語。

読売新聞 2020/10/11

2019.5./ 192p
978-4-06-514451-0
本体 ¥620+税



半沢直樹<1> オレたちバブル入行組(講談社文庫 い 85-15)

池井戸 潤 著
講談社

大阪西支店融資課長を務める半沢直樹。ある時、支店長命令により5億円もの融資を行った会社があえなく倒産した。責任をすべて半沢に押し付け、醜い保身に走る上司を横目に、半沢は巨額の債権を回収するすべを探り…。

読売新聞 2020/10/11

2019.11./ 396p
978-4-06-517082-3
本体 ¥780+税





水は海に向かって流れる(2)(KC デラックス)

田島 列島 著
講談社

「俺がいなければ、この人の肩が濡れることはなかったのに」 高校への進学を機に、おじさんの家に居候することになった直達。だが最寄の駅に迎えにきたのは見知らぬ大人の女性の榊さん。案内された家の住人は 26 歳 OL の榊さんと なぜかマンガ家になっていたおじさんの他にも 女装の占い師、メガネの大学教授と いずれも曲者揃いの様子。ここに高校 1 年生の直達を加えた男女 5 人での 一つ屋根の下、奇妙な共同生活が始まったのだが、直達と榊さんとの間には思いもよらぬ因縁が……。久しぶりに始動した田島列島が自然体で描くのは 家族のもとを離れて始まる、家族の物語。「この人がいちばん怒っているのは自分自身になのかもかもしれない」 10 年前、父が榊さんの母と W 不倫の関係にあった。事実を知った直達は どうすべきか悩むが、一方の榊さんは余計な波風が立つことを嫌い何もなかったことにしたいと望む。事情を知るのは同級生の泉谷さんと同居人の教授、ニゲミチ先生、そして直達の父。静かな緊張感の中で共同生活を送る直達と榊さんの二人は次第に 10 年前の事件、そして今の自分に向き合い始める。

2019.12./ 176p
978-4-06-517908-6
本体 ¥620+税



読売新聞 2020/10/11



MMT~現代貨幣理論とは何か~(講談社選書メチエ 718)

井上 智洋 著
講談社

21 世紀の経済論壇、政治潮流に激震を走らせた現代貨幣理論(MMT)。経済のマクロな仕組みの初歩から、貨幣というものの本質論まで、標準的な経済学の理論もふまえて、MMT を中立的に分析する。

2019.12./ 152p
978-4-06-518204-8
本体 ¥1,350+税



東京・中日新聞 2020/10/17



鳥獣戯画の国(たのしい日本美術)

金子 信久 著
講談社

かわいい、愉快、どこかおかしい。国宝「鳥獣戯画」が生まれるべくして生まれた日本という国を眺め、伝説的なおかしい動物の絵がどのように日本人の心を捉え、動物絵画のスタイルとして定着してきたかを伝える。

2020.7./ 127p
978-4-06-518826-2
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/10/03



半沢直樹 アルルカンと道化師([半沢直樹])

池井戸 潤 著
講談社

東京中央銀行大阪西支店の融資課長・半沢直樹のもとに、大手 IT 企業が業績低迷中の美術系出版社を買収したいという案件が持ち込まれる。半沢は大阪営業本部の強引な買収工作に抵抗するが、背後にひそむ秘密の存在に気づき...

2020.9./ 344p
978-4-06-519016-6
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/10/11



隣人 X

パリュス あや子 著
講談社

派遣社員の紗央、アルバイトの良子、ベトナム人留学生のリエン。彼女たちは皆“人と違う自分”を出せずにいた。そんな折、地球外生命体の労働力を期待して、惑星難民を受け入れる法案が可決し…。『小説現代』掲載を単行本化。

2020.8./ 213p
978-4-06-519764-6
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/10/31



オールドタイムズ

本城 雅人 著
講談社

ウェブニュース会社の設立メンバーとなった元夕刊紙記者・不動優作。だが発足早々サイト運営は行き詰まり、出資者兼若手 IT 社長から、バズり続けるスクープを取れと命じられてしまう。起死回生の一手は「フェイクニュース」!

産経新聞 2020/10/25

2020/7./ 341p
978-4-06-520002-5
本体 ¥1,800+税



クオリアと人工意識(講談社現代新書 2576)

茂木 健一郎 著
講談社

「意識」はコピーできるか? 人工知能に「意識」は生まれるか? 茂木健一郎が、自身のメインテーマである「意識」と「クオリア」について論じる。人工知能の研究に関連して、押さえておくべき流れ、重要な考え方にも触れる。

東京・中日新聞 2020/10/11

2020/7./ 381p
978-4-06-520066-7
本体 ¥1,200+税



pray human

崔 実 著
講談社

デビュー作が芥川賞候補になったわたしは、あることをきっかけに封印した記憶を甦らせていく。精神病棟で出会った仲間たちとの日々、救えなかった親友、そして。魂の再生を描いた物語。『群像』掲載を加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2020/10/03

2020/9./ 237p
978-4-06-520205-0
本体 ¥1,500+税



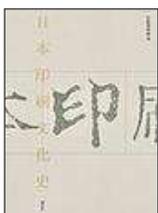
愚行の賦

四方田 犬彦 著
講談社

人はなぜ愚行を怖れしかも魅惑されるのか。フローベール、ドストエフスキー、ニーチェ、バルト、そして谷崎潤一郎…。愚行は西洋近代が考案した<人間の宿命>である。「愚」という尊き徳をめぐる長篇論考。

毎日新聞 2020/10/31

2020/8./ 381p
978-4-06-520242-5
本体 ¥2,700+税



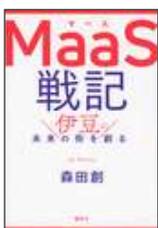
日本印刷文化史

印刷博物館 編
講談社

1200 年以上におよぶ世界に類がない日本の印刷文化を、歴史の筋道から展望する試み。日本の印刷史を文化・社会や技術・産業の重要な一環とみなし、具体的な実例に即しながら、その歴史的展開の諸側面をあきらかにする。

産経新聞 2020/10/18、毎日新聞 2020/10/31

2020/10./ 341p
978-4-06-520452-8
本体 ¥2,000+税



MaaS 戦記～伊豆に未来の街を創る～

森田 創 著
講談社

「MaaS」とは、移動をサービスとしてとらえる、新しいモビリティの概念。「日本初の観光型 MaaS」を推進する東急でプロジェクト・リーダーを務める著者が、伊豆半島の現実と悪戦苦闘したドキュメンタリー。

日本経済新聞 2020/10/03

2020/7./ 318p
978-4-06-520551-8
本体 ¥1,700+税





水は海に向かって流れる(3)(KC デラックス)

田島 列島 著
講談社

「俺がいなければ、この人の肩が濡れることはなかったのに」 高校への進学を機に、おじさんの家に居候することになった直達。だが最寄の駅に迎えにきたのは見知らぬ大人の女性の榎さん。案内された家の住人は 26 歳 OL の榎さんと なぜかマンガ家になっていたおじさんの他にも 女装の占い師、メガネの大学教授と いずれも曲者揃いの様子。ここに高校 1 年生の直達を加えた男女 5 人での 一つ屋根の下、奇妙な共同生活が始まったのだが、直達と榎さんとの間には思いもよらぬ因縁が……。久しぶりに始動した田島列島が自然体で描くのは 家族のもとを離れて始まる、家族の物語。 W 不倫で家を出て以来帰らない榎さんの母親に会うため、直達は榎さんを連れて海辺の街を訪れた。彼女が新しい家族と幸せそうに暮らす姿を見て、対面を諦めそうになった二人だったが、直達が衝動的に踵を返し、榎さんと榎さんの母親は 10 年ぶりの再会を果たす。直達と榎さんは、いま、10 年前のその先へと時間を進めるための短くて長い旅の途中にいる。長い間抑え込んでいた感情と向き合う二人が流れ着く先は—。

2020/9./ 160p
978-4-06-520587-7
本体 ¥620+税



読売新聞 2020/10/11



真実の原敬〜維新を超えた宰相〜(講談社現代新書 2583)

伊藤 之雄 著
講談社

藩閥政府の行き詰まりを打開し、昭和の戦後復興を支えたのは、この男のヴィジョンだった! 日本人が知らなすぎる、近代最高の政治リーダー・原敬の生涯と実力を明らかにする。

2020/8./ 270p
978-4-06-520621-8
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/10/10



『名探偵ポワロ』完全ガイド(星海社新書 164)

久我 真樹 著
星海社

名探偵エルキュール・ポワロの活躍を記す原作小説をドラマ化した「名探偵ポワロ」全 70 話を、英国文化研究者が徹底ガイド。事件現場、殺人被害者数、犯行動機などを一覧にした全事件リストも収録。

2020/8./ 303p
978-4-06-520655-3
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/10/03



シルクロード世界史(講談社選書メチエ 733)

森安 孝夫 著
講談社

ソグド、ウイグル、マニ教が交錯する! 中央ユーラシアから見た世界史の素描を試みた書。大草原に展開した 2 千年におよぶ激動と、人類史の潮流を、行きかう宗教と言語に着目し、<理科系的歴史学>で解明する。

2020/9./ 229p
978-4-06-520891-5
本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2020/10/10、日本経済新聞 2020/10/31



人間とは何か〜偏愛的フランス文学作家論〜

中条 省平 著
講談社

サド、ランボー、カミュ…。フランス文学者・中条省平が自身の「文学による感情教育」を語りつつ、フランス文学史を彩る 31 名の作家たちを通して、人間精神の多彩な運動の軌跡を描き出す。『群像』連載を改題して単行本化。

2020/9./ 599p
978-4-06-520899-1
本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/10/18



江戸・東京水道史(講談社学術文庫 2629)

堀越 正雄 著
講談社

徳川家康の命で小石川の水を引いた時から始まった東京の水道は、明治 31 年に近代化された。関東大震災、戦災など度重なる危機をのりこえ、巨大化の一途をたどる首都の生活を支えてきた、水道の発展の歴史を描く。

日本経済新聞 2020/10/10、朝日新聞 2020/10/24

2020.9./ 315p
978-4-06-520922-6
本体 ¥1,180+税



満州事変～戦争と外交と～(講談社学術文庫 2626)

臼井 勝美 著
講談社

1931 年 9 月 18 日、奉天郊外で南満州鉄道の線路が爆破された。乗じた関東軍の急襲は大都市を恐慌に陥れ、日本の大陸侵攻は本格化する。中国大陸の緊迫を正確に記録した、日本外交史の基本書。

日本経済新聞 2020/10/31

2020.9./ 219p
978-4-06-520923-3
本体 ¥920+税



アフター・リベラル～怒りと憎悪の政治～(講談社現代新書 2588)

吉田 徹 著
講談社

オルタナ右翼、権威主義の台頭、ヘイトクライム、歴史認識問題、テロリズム…。なぜ怒りや敵意が政治の世界で繰り広げられるのか？ 戦後秩序を形成したリベラリズム崩壊後の地殻変動の深淵を抉り出す。

日本経済新聞 2020/10/24

2020.9./ 317p
978-4-06-520924-0
本体 ¥1,000+税



さいえんす川柳～「研究者あるある」傑作選～(BLUE BACKS)

川柳 in the ラボ 編
講談社

研究者が詠む、研究者のための「あるある川柳」。実験をこよなく愛し、論文アクセプトのために奮闘するライフサイエンスの研究者たちが、笑いと悲哀に満ちた日常を綴る 170 句を掲載。

朝日新聞 2020/10/17

2020.9./ 219p
978-4-06-520959-2
本体 ¥900+税



未来の医療年表～10年後の病気と健康のこと～(講談社現代新書 2586)

奥 真也 著
講談社

新薬、革新的な医療技術や医療機器、先進各国で導入されている先端的な医療の仕組みの数々を紹介。日本人の医療リテラシーの欠如について問題提起し、閉鎖的で自己完結的な日本の医療と「世界標準の医療」を比較する。

読売新聞 2020/10/11、日本経済新聞 2020/10/17

2020.9./ 252p
978-4-06-521137-3
本体 ¥900+税



大仏師運慶～工房と発願主そして「写実」とは～(講談社選書メチエ 732)

塩澤 寛樹 著
講談社

鎌倉時代の大仏師・運慶とはいかなる存在なのか。朝廷・幕府の二元的支配構造による時代の大きな変動期、院・天皇・將軍など各種パトロン層の依頼を受けて、東大寺・興福寺の復興等の様々な造像に関わった工房の実情に迫る。

毎日新聞 2020/10/31

2020.9./ 268p
978-4-06-521165-6
本体 ¥1,750+税





静かに、ねえ、静かに(講談社文庫 も 48-7)

本谷 有希子 著

講談社

ネットショッピング依存症から抜け出せず夫に携帯を取り上げられた妻。自分たちだけの「印」を世間に見せるために動画撮影をする夫婦…。SNS に頼り、翻弄され、救われる姿を描く。

朝日新聞 2020/10/31

2020.10./ 205p

978-4-06-521238-7

本体 ¥590+税



若さは心臓から築く～新型コロナ時代の 100 年人生の迎え方～

天野 篤 著

講談社

心臓のトラブルとの付き合い方や手術との向き合い方を Q&A で解説。ほか、心臓病のサイン、心臓を守る暮らし方、心臓と身を守る薬との付き合い方などを紹介する。『日刊ゲンダイ』掲載をもとに書籍化。

産経新聞 2020/10/25

2020.10./ 253p

978-4-06-521526-5

本体 ¥1,600+税



人新世の「資本論」(集英社新書 1035)

斎藤 幸平 著

集英社

気候変動、コロナ禍…。人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」=環境危機の時代。唯一の解決策は、潤沢な脱成長経済である。晩期マルクスの思想をヒントに、危機の解決策と豊かな未来社会への道筋を具体的に描きだす。

東京・中日新聞 2020/10/11

2020.9./ 375p

978-4-08-721135-1

本体 ¥1,020+税



毒親と絶縁する(集英社新書 1041)

古谷 経衡 著

集英社

高1の冬に発症以来、現在まで続く「パニック障害」の恐怖。原因となった、「教育」の美名のもとでの両親による「教育虐待」…。若手評論家・古谷経衡が半生をつまびらかにするとともに、毒親からの逃げ方と戦い方の範を示す。

毎日新聞 2020/10/24

2020.10./ 220p

978-4-08-721141-2

本体 ¥820+税



結果を出す男はなぜ「服」にこだわるのか?(集英社文庫 と 31-1)

戸賀 敬城 著

集英社

ビジネスで結果を出せる男は服を選ぶ! 『MEN'S CLUB』の元編集長が、ビジネスにおける服装の重要性と、仕事の成果につながり、人生そのものを変える服の選び方を伝授する。「髪」で印象は8割変わる!も収録。

読売新聞 2020/10/11

2020.8./ 181p

978-4-08-744145-1

本体 ¥600+税



ベーシックインカム

井上 真偽 著

集英社

妻の突然の失踪の理由を探るため、夫は妻がハマっていた VR の世界へ…。「もう一度、君と」をはじめ、近未来に実現可能と言われる技術を織り込んだ SF ミステリ短編集。『小説すばる』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

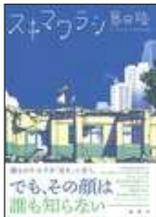
東京・中日新聞 2020/10/17

2019.10./ 249p

978-4-08-771679-5

本体 ¥1,400+税





スキマワラシ

恩田 陸 著
集英社

古道具屋を営む兄・太郎と、物に秘められた“記憶”が見える弟・散多。ある日、ふたりはビルの解体現場に現れる少女の都市伝説を耳にするが…。ファンタジックミステリー。『河北新報』『中国新聞』等掲載を単行本化。

朝日新聞 2020/10/10

2020/8./ 462p
978-4-08-771689-4
本体 ¥1,800+税



灯台からの響き

宮本 輝 著
集英社

本の間から、亡き妻宛てに 30 年前に届いたハガキを見つけた康平。そこに描かれていたのは、海岸線と灯台のように見える線画。妻の過去を知るために、康平は灯台を巡る旅に出る…。『北日本新聞』ほか掲載を単行本化。

産経新聞 2020/10/04、読売新聞 2020/10/18

2020/9./ 398p
978-4-08-771701-3
本体 ¥1,900+税



類

朝井 まかて 著
集英社

何不自由なく暮らした少年時代、父の死という大きな喪失を抱えパリへ遊学した青年時代、戦後の困窮から心機一転、書店を開き文筆家の道へ。森鷗外の末子、森類の愛と苦悩に満ちた生涯を描く。『小説すばる』掲載に加筆修正。

東京・中日新聞 2020/10/04、読売新聞 2020/10/04

2020/8./ 494p
978-4-08-771721-1
本体 ¥1,900+税



風よあらしよ

村山 由佳 著
集英社

服従するな。立ち上がれ。-。婦人解放運動家・伊藤野枝。明治・大正を駆け抜けた彼女の短くも鮮烈な生涯を描く。史実をもとにしたフィクション。『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

読売新聞 2020/10/25

2020/9./ 651p
978-4-08-771722-8
本体 ¥2,000+税



獄中シェイクスピア劇団(語りなおしシェイクスピア 1)

マーガレット・アトウッド 著
集英社

舞台芸術監督フェリックスは、部下トニーの裏切りにより失職する。刑務所の更生プログラムの講師となったフェリックスは、服役中のメンバーに、復讐と赦しと再生を描いたシェイクスピア「テンペスト」を指導することになり…。

朝日新聞 2020/10/17

2020/9./ 381p
978-4-08-773507-9
本体 ¥2,700+税



海の怪

鈴木 光司 著
集英社

船でのテレビ撮影中に現れたのは、落水して亡くなったはずの初老の男だった…。海の仲間や知人から聞いた怖い話、不思議な話。日本ホラー界の重鎮が語る、海をめぐる怪談集。『よみタイ』連載を加筆修正。

産経新聞 2020/10/04

2020/9./ 213p
978-4-08-788040-3
本体 ¥1,200+税





オレの東大物語～1966-1972～

加藤 典洋 著
集英社

東大はクソだ! 強靱な思想を展開した不世出の文芸評論家の原点は、東大闘争の中で幾分「地味」な文学部闘争にあった。全く新しい文体で書き遺した唯一無二の青春記。

毎日新聞 2020/10/24

2020/9./ 253p
978-4-08-789014-3
本体 ¥1,600+税



傭兵ピエール<4>(ヤングジャンプ・コミックス)

野口賢、佐藤賢一 著
集英社
読売新聞 2020/10/25

2007/4./ 130p
978-4-08-877231-8
本体 ¥590+税



ワシントン・ブラック

エシ・エデュジアン 著
小学館

1830年、東カリブ・バルバドス島。大農園の奴隷少年「ワッシュ」ことワシントン・ブラックは、農園主の弟ティッチに見込まれ科学研究の助手となり、2人で作った気球で北極を目指す…。読む悦びにあふれた歴史冒険小説。

毎日新聞 2020/10/10

2020/9./ 445p
978-4-09-356720-6
本体 ¥3,000+税



世界で最も危険な男～「トランプ家の暗部」を姪が告発～

メアリー・トランプ 著
小学館

替え玉受験で名門大学に不正入学、アルツハイマーの父を見捨て遺産相続で脱税、家族がつけたあだ名は「The Great I-am(俺様)」…。トランプ大統領の姪が、歪んだ大統領を生んだ一族の「腐食の連鎖」を明かす。

毎日新聞 2020/10/24

2020/9./ 365p
978-4-09-356728-2
本体 ¥2,200+税



始まりの木

夏川 草介 著
小学館

旅の準備をしたまえ。これからは民俗学の出番だ。長野、京都などを舞台に、生きること、学ぶことの意味を問う、木と森と、空と大地と、ヒトの心の物語。全5編収録。『STORY BOX』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2020/10/18

2020/9./ 315p
978-4-09-386591-3
本体 ¥1,600+税



父のおともで文楽へ(小学館文庫 い45-1)

伊多波 碧 著
小学館

母の三回忌法要で実家を訪ねた佐和子は、父の誘いで文楽「心中天網島」を観に行く。弁護士の元夫・義彦は米国に拠点を移す予定があり、娘を連れて行きたいという。悩む佐和子のもとに、父から検査入院するという連絡が入り…。

読売新聞 2020/10/18

2020/9./ 313p
978-4-09-406809-2
本体 ¥700+税





出星前夜(小学館文庫 い25-6)

飯嶋 和一 著
小学館

寛永 14 年、松倉家入封以来 20 年、無抵抗をつらぬいてきた旧キリシタンの土地・島原で初めての武装蜂起が起こった。幕藩体制に抗った、誇り高き海民・土豪らの絶望的な戦いを描く。

読売新聞 2020/10/25

2013:2./ 714p
978-4-09-408796-3
本体 ¥876+税



夜のかもざる～村上朝日堂超短篇小説～(新潮文庫)

村上 春樹、安西 水丸 著
新潮社
朝日新聞 2020/10/03

1998:3./ 249p
978-4-10-100144-9
本体 ¥800+税



世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド<上> 新装版(新潮文庫 む-5-4)

村上 春樹 著
新潮社
毎日新聞 2020/10/10

2010:4./ 471p
978-4-10-100157-9
本体 ¥800+税



世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド<下> 新装版(新潮文庫 む-5-5)

村上 春樹 著
新潮社
毎日新聞 2020/10/10

2010:4./ 410p
978-4-10-100158-6
本体 ¥710+税



大和古寺風物誌 改版(新潮文庫)

亀井 勝一郎 著
新潮社
毎日新聞 2020/10/31

1997:5./ 207p
978-4-10-101301-5
本体 ¥490+税



謎のアジア納豆～そして帰ってきた<日本納豆>～(新潮文庫 た-131-1)

高野 秀行 著
新潮社

辺境作家が目指した未知の大陸、それは納豆だった。山奥のジャングルで出会った納豆ご飯、ぱりぱりと割れるせんべい納豆、日本の究極の納豆…。知的好奇心あふれるノンフィクション。

読売新聞 2020/10/18

2020:6./ 509p
978-4-10-102151-5
本体 ¥900+税



王都の落伍者～ソナンと空人(1)～(新潮文庫 さ-93-1)

沢村 凜 著
新潮社

荒れた生活を送る名将軍のひとり息子・ソナンは、自らの悪事がもとで死に瀕する。だが、朱く長い髪を持つ神・空鬼のたった一度の気まぐれで、名も知らぬ異国へと落とされ…。終わったはずの人生から物語が動き出す!

読売新聞 2020/10/25

2020:10./ 316p
978-4-10-102331-1
本体 ¥590+税



**河童・或阿呆の一生 改版(新潮文庫)**

芥川 竜之介 著
新潮社
朝日新聞 2020/10/03

1990:1./ 249p
978-4-10-102506-3
本体 ¥400+税

**燃えよ剣<上> 改版(新潮文庫 し 9-8)**

司馬 遼太郎 著
新潮社

幕末の動乱期を新選組副長として剣に生き剣に死んだ男、土方歳三の華麗なまでに頑な生涯を描く。武州石田村の百姓の子“バラガキのトシ”は、生来の喧嘩好きと組織作りの天性によって、浪人や百姓上りの寄せ集めにすぎなかった新選組を、当時最強の人間集団へと作りあげ、己れも思い及ばなかった波紋を日本の歴史に投じてゆく。「竜馬がゆく」と並び、“幕末もの”の頂点をなす長編。

1972:5./ 576p
978-4-10-115208-0
本体 ¥790+税



読売新聞 2020/10/25

**燃えよ剣<下> 改版(新潮文庫 し 9-9)**

司馬 遼太郎 著
新潮社

元治元年六月の池田屋事件以来、京都に血の雨が降るところ、必ず土方歳三の振るう大業物和尚守兼定があった。新選組のもっとも得意な日々であった。やがて鳥羽伏見の戦いが始まり、薩長の大砲に白刃でいどんだ新選組は無残に破れ、朝敵となって江戸へ逃げのびる。しかし、剣に憑かれた歳三は、剣に導かれるように会津若松へ、函館五稜郭へと戊辰の戦場を血で染めてゆく。

2007:1./ 553p
978-4-10-115209-7
本体 ¥790+税



読売新聞 2020/10/25

**峠<上>(新潮文庫)**

司馬 遼太郎 著
新潮社

幕末、雪深い越後長岡藩から一人の藩士が江戸に出府した。藩の持て余し者でもあったこの男、河井継之助は、いくつかの塾に学びながら、詩文、洋学など単なる知識を得るための勉強は一切せず、歴史や世界の動きなど、ものごとの原理を知ろうと努めるのであった。さらに、江戸の学問にあきたらなくなった河井は、備中松山の藩財政を立て直した山田方谷のもとへ留学するため旅に出る。

2003:10./ 511p
978-4-10-115240-0
本体 ¥750+税



日本経済新聞 2020/10/17

**峠<中>(新潮文庫)**

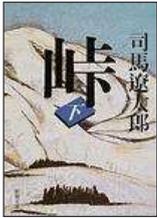
司馬 遼太郎 著
新潮社

旅から帰った河井継之助は、長岡藩に戻って重職に就き、洋式の新しい銃器を購入して富国強兵に努めるなど藩政改革に乗り出す。ちょうどそのとき、京から大政奉還の報せが届いた。家康の幕将だった牧野家の節を守るため上方に参りたいという藩主の意向を汲んだ河井は、そのお供をし、多数の藩士を従えて京へ向う。風雲急を告げるなか、一藩士だった彼は家老に抜擢されることになった。

2003:10./ 571p
978-4-10-115241-7
本体 ¥790+税



日本経済新聞 2020/10/17



峠<下>(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著
新潮社

開明論者であり、封建制度の崩壊を見通しながら、継之助が長岡藩をひきいて官軍と戦ったという矛盾した行動は、長岡藩士として生きなければならないという強烈な自己規律によって武士道に生きたからであった。西郷・大久保や勝海舟らのような大衆の英雄の蔭にあって、一般にはあまり知られていない幕末の英傑、維新史上最も壮烈な北越戦争に散った最後の武士の生涯を描く力作長編。

日本経済新聞 2020/10/17

2003:10./ 445p
978-4-10-115242-4
本体 ¥670+税



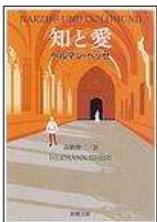
赤頭巾ちゃん気をつけて(新潮文庫 し-73-1)

庄司 薫 著
新潮社

学生運動の煽りで入試が中止という災難に見舞われた高校 3 年の薫。愛犬が死に、幼馴染の由美と絶交し、踏んだり蹴つたりの 1 日がスタートするが…。青年の目で現代日本に通底する価値観の揺らぎを直視した 60 年代の青春小説。

日本経済新聞 2020/10/03

2012:3./ 198p
978-4-10-138531-0
本体 ¥460+税



知と愛 改版(新潮文庫)

ヘッセ 著
新潮社

読売新聞 2020/10/18

2004:12./ 495p
978-4-10-200110-3
本体 ¥710+税



デイヴィッド・コパフィールド<2> 改版(新潮文庫)

ディケンズ、中野 好夫 著
新潮社

朝日新聞 2020/10/17

2006:9./ 471p
978-4-10-203011-0
本体 ¥670+税



風と共に去りぬ<第 5 巻>(新潮文庫 ミ-4-5)

マーガレット・ミッチェル 著
新潮社

夫を殺されたスカーレットは、ついにレット・バトラーと結ばれる。娘も生まれ、レットはことのほか溺愛するが、ある事故をきっかけにふたりの関係は決定的に変わってしまい…。壮大なスケールにふさわしい完結編。

読売新聞 2020/10/25

2015:7./ 572p
978-4-10-209110-4
本体 ¥790+税



異邦人 改版(新潮文庫 カ-2-1)

カミュ 著
新潮社

母の死の翌日海水浴に行き、女と関係を結び、映画を見て笑いころげ、人を殺害し、動機について「太陽のせい」と答える…。通常の論理的な一貫性が失われている男を主人公に、不条理の認識を極度に追求したカミュの代表作。

日本経済新聞 2020/10/03

2014:6./ 179p
978-4-10-211401-8
本体 ¥490+税



**沈黙**遠藤周作 著
新潮社

キリシタン迫害史を背景とする緊迫のドラマの中に、神の存在を問い、信仰の根源を衝いて、西洋と日本の思想的対立を鋭くえぐり出す長編小説。谷崎潤一郎賞、ピエトロザク賞受賞。

1988:3/ 257p
978-4-10-303517-6
本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2020/10/17

**自転しながら公転する**山本 文緒 著
新潮社

東京で働いていた 32 歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2020:9/ 478p
978-4-10-308012-1
本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2020/10/10、朝日新聞 2020/10/24

**われもまた天に**古井 由吉 著
新潮社

自分が何処の何者であるかは、先祖たちに起こった厄災を我身内に負うことではないのか。現代日本文学をはるかに照らす古井由吉の最後の小説集。表題作ほか「雛の春」、未完の「遺稿」など全 4 編を収録。『新潮』掲載を書籍化。

2020:9/ 139p
978-4-10-319212-1
本体 ¥2,000+税

読売新聞 2020/10/25

**幻のアフリカ納豆を追え!〜そして現れた<サピエンス納豆>〜**高野 秀行 著
新潮社

世界の食は納豆に通じていた。イスラム過激派出没地域から南北軍事境界線まで、著者は幻の納豆を求めて彷徨い歩く。そして取材の末に辿り着いた、人類の食文化を揺るがす新説「サピエンス納豆」とは…。高野ワークスの集大成。

2020:8/ 366p
978-4-10-340072-1
本体 ¥1,900+税

読売新聞 2020/10/18

**三島由紀夫事件 50 年目の証言〜警察と自衛隊は何を知っていたか〜**西 法太郎 著
新潮社

昭和 45 年 11 月 25 日、三島由紀夫事件の日。そこで何が起こっていたのか。公安は察知していたのか。生き残った楯の会隊員は何を語ったのか。非公開だった裁判資料や、関係者への取材から、半世紀を経て今なお深い謎に迫る。

2020:9/ 301p
978-4-10-353581-2
本体 ¥1,800+税

産経新聞 2020/10/11

**死神の棋譜**奥泉 光 著
新潮社

名人戦の夜、不詰めの図式を拾った男が姿を消した。北海道の廃坑から地下神殿の対局室まで、消えた棋士の行方と魔の図式の謎を追う旅が始まる。前代未聞の将棋ミステリ。『小説新潮』連載を単行本化。

2020:8/ 305p
978-4-10-391204-0
本体 ¥1,750+税

朝日新聞 2020/10/03



ベージュ

谷川 俊太郎 著
新潮社

誕生と死。時間。途上の感覚。忘却の快感。声のひびき…。88歳を迎えた詩人・谷川俊太郎が70年に及ぶ詩作から自選し、書き下ろしを加えた31篇を収めた詩集。

朝日新聞 2020/10/24

2020:7./ 109p
978-4-10-401807-9
本体 ¥1,500+税



鷗外の坂

森 まゆみ 著
新潮社

鷗外の暮らした近所に生まれ育ち、ごく若い頃から鷗外に魅せられた著者は、その足跡を追って街を歩く。団子坂、暗闇坂、無縁坂、芋坂…市井に残る足跡を丹念に拾い集め、鷗外の素顔と生涯を追慕をこめて描いた力作評伝。

朝日新聞 2020/10/31

1997:10./ 367p
978-4-10-410002-6
本体 ¥1,800+税



その名を暴け～#MeTooに火をつけたジャーナリストたちの闘い～

ジョディ・カンター、ミーガン・トゥーイー 著
新潮社

映画界で「神」とも呼ばれた有名プロデューサー、ハーヴェイ・ワインスタインは、長年、女優や女性従業員に権力を振りかざし、性的暴行を重ねてきた。その実態を炙り出し、世界を動かした調査報道の軌跡を描く。

日本経済新聞 2020/10/17

2020:7./ 408p
978-4-10-507171-4
本体 ¥2,150+税



サブリーナとコリーナ(CREST BOOKS)

カリ・ファハルド＝アンスタイン 著
新潮社

サブリーナは、黒髪に淡いブルーの瞳のとびきり美人。なのになぜ、死を選ばなければならなかったのか。ヒスパニック系コミュニティの女たちのやるせない日常を描いた短篇集。表題作ほか全11篇を収録する。

朝日新聞 2020/10/10

2020:8./ 287p
978-4-10-590167-7
本体 ¥2,100+税



通信の世紀～情報技術と国家戦略の一五〇年史～(新潮選書)

大野 哲弥 著
新潮社

明治以降の日本の通信の歴史を、その時代の技術はもちろん、政治、外交などの社会状況を含め総合的に検討することにより、現代社会における通信の特質を探る。世界を動かした「見えない武器」の近現代史。

日本経済新聞 2020/10/10

2018:11./ 319p
978-4-10-603834-1
本体 ¥1,400+税



予測学～未来はどこまで読めるのか～(新潮選書)

大平 徹 著
新潮社

ウイルスの感染率、天気予報、文字変換、世論調査…社会は「予測」に満ちている。スーパーコンピュータなど科学技術の進歩により、この傾向はどこまで進むのか。自然現象、社会現象等、あまたの「予測」を数理学者が読み解く。

産経新聞 2020/10/11

2020:8./ 203p
978-4-10-603857-0
本体 ¥1,200+税





悪党たちの大英帝国(新潮選書)

君塚 直隆 著
新潮社

6人の妻を娶り、うち2人を処刑したヘンリ8世、王殺しの独裁者クロムウェル、愛人・金銭スキャンダルにまみれたロイド=ジョージ…。辺境の島国イギリスを、世界帝国へと押し上げた7人の「悪党」たちの実像を描く。

2020/8./ 316p
978-4-10-603858-7
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/10/31、日本経済新聞 2020/10/31



天才 富永仲基～独創の町人学者～(新潮新書 875)

積 徹宗 著
新潮社

江戸中期、驚くべき町人学者が大坂にいた。世界に先駆けて仏典を実証的に解説。日本思想史に大きな爪痕を残し、31歳で夭折した“知られざる天才”の生涯と思想に、僧侶にして宗教学者の著者が迫る。

2020/9./ 255p
978-4-10-610875-4
本体 ¥800+税



毎日新聞 2020/10/31



プリニウス<10>(BUNCH COMICS)

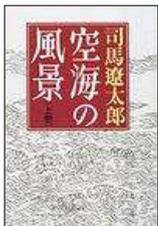
ヤマザキマリ／とり・みき 著
新潮社

ギリシアの地で、いまだ自ら神となる妄想に取り憑かれる皇帝ネロのもとに、続々と反乱軍蜂起の報が届く。側近の裏切り、過去の因縁がネロを窮地に追い込む。一方、地中海沿岸から東へと向かうプリニウス一行は、神話の森を抜けて、砂漠の都市・パルミラへ。そこでは東西の多様な人々が交流し、寛容で豊かな文化をつくり上げていた。ローマに戻るも、元老院から「公共の敵」として認定されたネロは、当地を脱出――。ついに皇帝ネロ編が終幕！

2020/9./ 184p
978-4-10-772319-2
本体 ¥700+税



毎日新聞 2020/10/03



空海の風景<上巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著
中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75年中央公論社刊の新装改版。上巻。

2005/6./ 347p
978-4-12-003645-3
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/10/25



愛なき世界

三浦 しをん 著
中央公論新社

洋食屋の見習い・藤丸陽太が恋をした本村紗英は、三度の飯よりシロイヌナズナ(葉っぱ)の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか!? 『読売新聞』連載を加筆・修正し単行本化。

2018/9./ 447p
978-4-12-005112-8
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/10/04



コロナ・ショックは世界をどう変えるか～政治・経済・社会を襲う危機～

イワン・クラステフ 著

中央公論新社

世界を空前の混乱に陥れた COVID-19。現代ヨーロッパを代表する知識人が、パンデミックによる危機をもたらしたパラドックスを指摘する。宇野重規、細谷雄一、三浦瑠麗による論考も収録する。

2020/7./ 141p

978-4-12-005319-1

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/10/24



イギリス海上覇権の盛衰<上> シーパワーの形成と発展

ポール・ケネディ 著

中央公論新社

オランダ、フランス、スペインとの闘争に勝利、植民地拡大・産業革命を経て絶頂期を迎える。イギリス海軍の興亡を、政治・経済の推移と併せて描き出す。「大国の興亡」の著者ポール・ケネディの出世作。

2020/8./ 333p

978-4-12-005323-8

本体 ¥2,900+税



読売新聞 2020/10/11



イギリス海上覇権の盛衰<下> パクス・ブリタニカの終焉

ポール・ケネディ 著

中央公論新社

ランドパワーを重んじる大陸派が優勢に。2つの世界大戦の前後で軍事費増大、経済的逼迫により衰退の道へ。イギリス海軍の興亡を、政治・経済の推移と併せて描き出す。「大国の興亡」の著者ポール・ケネディの出世作。

2020/8./ 347p

978-4-12-005324-5

本体 ¥2,900+税



読売新聞 2020/10/11



魯肉飯(ロバパン)のさえずり

温 又柔 著

中央公論新社

就活に失敗し、逃げるように結婚を選んだ桃嘉。優しい台湾人の母に祝福されるも、理想だった夫に<大切なもの>を一つひとつふみにじられていき…。『アンデル 小さな文芸誌』連載に加筆修正し単行本化。

2020/8./ 267p

978-4-12-005327-6

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2020/10/03、読売新聞 2020/10/04



酒場詩人の美学

吉田 類 著

中央公論新社

ふらりとこのれんをくぐり、酒を飲み、客や店の主人と笑顔で語らう。TV番組「吉田類の酒場放浪記」で人気の著者が独特の感性で綴る、大人の味のエッセイ。『中央公論』掲載をまとめて単行本化。小泉信一の解題付き。

2020/8./ 8p,201p

978-4-12-005328-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/10/17、日本経済新聞 2020/10/17



シークレットサービス～レーガン大統領の命を救った男～

ジェリー・パー 著

中央公論新社

1981年3月の白昼、ワシントンの路上で襲われたレーガン大統領に覆いかぶさり…。シークレットサービスの警護官として大統領の命を救った人物が、犠牲をいとわない誇り高きシークレットサービスの緊張と情熱の日々を語る。

2020/8./ 309p

978-4-12-005329-0

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/10/24、日本経済新聞 2020/10/31



海神の島

池上 永一 著
中央公論新社

オバアの願いは花城三姉妹の誰かに、米軍基地内にある海神の墓を守って欲しいということ。墓守は嫌だと拒否した三人だったが、20年後、それぞれの立場で海神の謎を追うことに…。『読売新聞オンライン』連載を加筆・修正。

産経新聞 2020/10/04、日本経済新聞 2020/10/24

2020/9./ 474p
978-4-12-005331-3
本体 ¥1,900+税



日本秋景〜ピエール・ロチの日本印象記〜

ピエール・ロチ 著
中央公論新社

神戸から京都、奈良、鎌倉、東京、そして日光へ。明治中期の日本を、フランス人海軍士官が鉄道と人力車で駆け巡る! 19世紀後半を代表する文筆家ロチの歴史的な名著の新訳。日本の心と美を鮮烈に描き出す。

東京・中日新聞 2020/10/25

2020/9./ 300p
978-4-12-005333-7
本体 ¥2,300+税



燃えた、打った、走った!

長嶋 茂雄 著
中央公論新社

勝負強いバッティングと華麗な守備。1958年に巨人軍に入団し、「ミスター・ジャイアンツ」の愛称で国民の人気を博した長嶋茂雄の、1974年の現役引退時における唯一の自伝を復刊。北野武による解説も収録する。

読売新聞 2020/10/25

2020/9./ 324p
978-4-12-005338-2
本体 ¥1,700+税



SDGs(持続可能な開発目標)(中公新書 2604)

蟹江 憲史 著
中央公論新社

ポスト・コロナ時代に、企業・自治体、そして我々個人はどう行動すべきか。第一人者が、SDGs(持続可能な開発目標)のすべてを解説する。17目標・169ターゲットの新訳も掲載。

毎日新聞 2020/10/03、日本経済新聞 2020/10/17

2020/8./ 9p,281p
978-4-12-102604-0
本体 ¥920+税



民衆暴力〜一揆・暴動・虐殺の日本近代〜(中公新書 2605)

藤野 裕子 著
中央公論新社

新政反対一揆、秩父事件、日比谷焼き打ち事件、関東大震災時の朝鮮人虐殺…。何が人びとを駆り立てたのか。単純には捉えられない民衆暴力を通し、近代化以降の日本の軌跡とともに国家の権力や統治のあり方を照らし出す。

日本経済新聞 2020/10/10、朝日新聞 2020/10/17

2020/8./ 6p,220p
978-4-12-102605-7
本体 ¥820+税



アジアの国民感情〜データが明かす人々の対外認識〜(中公新書 2607)

園田 茂人 著
中央公論新社

10年以上にわたる日中韓・台湾・香港・東南アジア諸国などへの継続調査から、各国国民の他国・地域への感情・心理を明らかにし、様々な事実を提示。データと新しい視点から国際関係を描き出す。

日本経済新聞 2020/10/24

2020/9./ 4p,256p
978-4-12-102607-1
本体 ¥880+税





万葉集講義～最古の歌集の素顔～(中公新書 2608)

上野 誠 著
中央公論新社

「万葉集」は、日本的な「国民文学」のイメージで語られるが、それははたして妥当か。古代日本が範を仰いだ中国の詩文の色濃い影響をどう見るべきか。代表的な歌々を紹介・解説しつつ、現存最古の歌集の実像を明らかにする。

2020/9./ 8p,243p
978-4-12-102608-8
本体 ¥880+税



朝日新聞 2020/10/17、読売新聞 2020/10/25



東京懐かし写真帖(中公新書ラクレ 659)

読売新聞都内版編集室 編
秋山 武雄 著
中央公論新社

洋食屋店主がフライパンをカメラに持ち替え、70年に渡り撮り続けた東京下町風景。『読売新聞』都民版の連載「秋山武雄の懐かし写真館」から、選りすぐりの72本を収録する。江戸っ子の語り口と共に、昭和の記憶が甦る一冊。

2019/6./ 317p
978-4-12-150659-7
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2020/10/10



東京レトロ写真帖(中公新書ラクレ 698)

秋山 武雄 著
中央公論新社

浅草橋で洋食屋を営みつつ撮りためた数万枚のネガから、東京下町の風景が浮かび上がる。『読売新聞』都民版の連載「秋山武雄の懐かし写真館」から、選りすぐりの72本を収録。「東京なつかし写真帖」の続編。

2020/8./ 317p
978-4-12-150698-6
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2020/10/10



たちどまって考える(中公新書ラクレ 699)

ヤマザキマリ 著
中央公論新社

パンデミックを前にした漫画家・ヤマザキマリが、初めてといってもいいくらい長い期間家に閉じこもり、旅にも出ずに歩みを止め、たちどまったことで見えてきた景色について記す。

2020/9./ 245p
978-4-12-150699-3
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/10/10



大学とオリンピック 1912-2020～歴代代表の出身大学ランキング～(中公新書ラクレ 704)

小林 哲夫 著
中央公論新社

1912年大会から2016年大会までを振り返り、オリンピックを通して見えた大学の役割、アカデミズムから考察されるオリンピックの意義、延期になった2020年東京大会について論じる。『中央公論』連載を加筆し書籍化。

2020/10./ 286p
978-4-12-150704-4
本体 ¥900+税



産経新聞 2020/10/18



事件の予兆～文芸ミステリ短篇集～(中公文庫 ち8-8)

0 著
中央公論新社

1950年代から1980年代に発表された、非ミステリ作家による上質なミステリ短篇集。井上靖「驟雨」、大岡昇平「春の夜の出来事」、田中小実昌「ドラム缶の死体」など全10篇を収録する。

2020/8./ 253p
978-4-12-206923-7
本体 ¥820+税



東京・中日新聞 2020/10/24



一杯の美味しい紅茶〜ジョージ・オーウェルのエッセイ〜(中公文庫 オ 3-1)

ジョージ・オーウェル 著
中央公論新社

自然に親しむ心を、困窮生活の悲哀を、イギリス的な食べ物や失われゆく庶民的なことごとへの愛着を記して、作家の意外な素顔を映す上質の随筆集。「動物農場」ウクライナ版への序文を加えて文庫化。

2020:8./ 259p
978-4-12-206929-9
本体 ¥840+税



毎日新聞 2020/10/03



わが青春無頼帖 増補版(中公文庫 し 8-5)

柴田 錬三郎 著
中央公論新社

虚無的な孤高の剣士「眠狂四郎」を生んだ苛烈な戦争体験、多彩な女性遍歴、師・佐藤春夫との交流…。作家・柴田錬三郎が、故郷出奔から直木賞受賞までの無頼の日々を綴った表題作ほか、私小説的短篇 5 篇、随筆 2 篇を収録。

2020:9./ 289p
978-4-12-206933-6
本体 ¥840+税



読売新聞 2020/10/18



文豪と女〜憧憬・嫉妬・熱情が渦巻く短編集〜(中公文庫 な 52-7)

長山靖生 編
中央公論新社

時代の変化に応じて、社会的自立や自覚が芽生えた主人公の生きざまからは、近代日本の「女の一生」が見えてくる。無垢な少女から妖艶な熟女まで。鷗外、花袋、荷風、漱石ら、文豪が憧れ、翻弄された女性たちを描く。

2020:9./ 229p
978-4-12-206935-0
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2020/10/03



東大という思想〜群像としての近代知〜

吉見 俊哉／森本 祥子 編
東京大学出版会

権威の中心、官僚養成、学歴のシンボル…。東大に貼られてきた数々のレッテルを超える知の営みは、どこに存在したのか。日本の学知の中心を担い続けた特異な場の、知られざる思想史的ルーツを探索する。

2020:8./ 5p,332p
978-4-13-020159-9
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2020/10/24



三菱財閥形成史

武田 晴人／関口 かをり 著
東京大学出版会

岩崎家の奥帳場の存在、海運業、そしてその後の造船業、銀行業の経営発展…。明治初期から第一次世界大戦期を対象に、三大財閥のひとつ三菱の事業発展について、新たな史料に基づき明らかにする。

2020:8./ 6p,517p,5p
978-4-13-040293-4
本体 ¥8,500+税



日本経済新聞 2020/10/10



技術進歩と日本経済〜新時代の市場ルールと経済社会のゆくえ〜

福田 慎一 編
東京大学出版会

これまでとは異なる新しい技術が急速に普及していくことが見込まれるなかで、日本経済はどのように変容していく可能性があるのかを、光と影の両面に焦点を当てて多角的に考察する。『日経研月報』連載を加筆し書籍化。

2020:8./
11p,268p,12p
978-4-13-040294-1
本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2020/10/31



「役に立たない」科学が役に立つ

エイブラハム フレクスナー／ロベルト ダイクラーフ 著
東京大学出版会

「有用性」という言葉を捨てて、人間の精神を解放せよ。プリンストン高等研究所の二人の所長が、好奇心によって発見される「役に立たない」科学の重要性を訴える。学問や研究の意義について、あらためて考えさせてくれる一冊。

朝日新聞 2020/10/03

2020:7./ 8p,102p,40p
978-4-13-063375-8

本体 ¥2,200+税



ローマ史再考～なぜ「首都」コンスタンティノーブルが生まれたのか～(NHK ブックス 1265)

田中 創 著
NHK出版

五賢帝から 100 年後の 3 世紀末から 6 世紀半ばまで、元老院、軍隊、教会、住民らと皇帝との利害調整の場としてコンスタンティノーブルが機能する様子を活写。ローマ帝国の歴史について革新的な読み直しを迫る。

読売新聞 2020/10/18

2020:8./ 254p

978-4-14-091265-2

本体 ¥1,400+税



果てしなき輝きの果てに(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1955)

リズ・ムーア 著
早川書房

薬物蔓延で荒廃する街ケンジントンで起きた女性の連続殺人事件。警官ミカエラは、失踪した娼婦の妹ケイシーが次の被害者になるのではと心配し、捜査に乗り出す。かつては仲の良い姉妹だったふたりだが....

朝日新聞 2020/10/17

2020:5./ 484p

978-4-15-001955-6

本体 ¥2,200+税



念入りに殺された男(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1956)

エルザ・マルポ 著
早川書房

内気な女性アレックスは、家族と営む民宿にやってきたゴンクール賞作家のシャルル・ベリエに襲われ、抵抗した勢いで殺してしまう。家族との幸せな生活を守るため、彼女はパリの出版業界に潜り込み、殺人の隠蔽に奔走するが....

朝日新聞 2020/10/17

2020:6./ 267p

978-4-15-001956-3

本体 ¥1,700+税



さむけ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 8-4)

ロス・マクドナルド 著
早川書房

新婚旅行の第一日目に新妻のドリーは失踪した。夫に同情し彼女の行方を探すこととなったアーチャーは、失踪の背後に彼女の過去の影が尾を引いているとにらんだ。数日後、彼は手掛りをつかめぬまま夫の家を訪れた。と、そこには血にまみれ、狂乱するドリーの姿が.....！ 新境地をひらく巨匠畢生の大作。

毎日新聞 2020/10/17

1976:9./ 477p

978-4-15-070504-6

本体 ¥960+税



雲をつかむ死 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 10)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

英仏間を飛ぶ飛行機内で、老婦人の変死体が発見された。その首には蜂に刺されたような傷があったが、偶然乗り合わせたポアロは、床から人工の毒針を拾い上げ.... 大空の密室を舞台とした不可解な事件に名探偵ポアロが挑む!

日本経済新聞 2020/10/17

2020:6./ 413p

978-4-15-131010-2

本体 ¥1,100+税





メソポタミアの殺人 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 12)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

考古学者と再婚したルイズの元に舞い込んだ、死んだはずの先夫から脅迫状。それは不可思議な殺人事件の序曲にすぎなかった。過去から襲い来る悪夢の正体をポアロは暴けるか？ 中近東を舞台にした作品の最高傑作の新訳。

2020/7./ 402p
978-4-15-131012-6
本体 ¥1,020+税



日本経済新聞 2020/10/17



ナイルに死す 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 15)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

美貌の資産家リネットと新婚の夫のエジプト旅行中、夫の元婚約者が銃を手につけて回していた。不穏な空気の中、ナイル川をさかのぼる豪華客船上でついに悲劇が。発見された死体は…。名探偵ポアロが活躍する不朽の名作の新訳。

2020/9./ 548p
978-4-15-131015-7
本体 ¥1,260+税



日本経済新聞 2020/10/17



葬儀を終えて 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 25)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

「だって彼は殺されたんでしょ？」当主の葬儀が終わり、末の妹のコーラが無邪気に口にした言葉からすべてが始まった。翌日、コーラが死体で発見される。事件解決に乗り出したポアロが、一族の葛藤のなかに見たものとは…。

2020/10./ 432p
978-4-15-131025-6
本体 ¥1,160+税



日本経済新聞 2020/10/17



予告殺人 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 38)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

「殺人をお知らせします…」その新聞広告が掲載された朝、村は騒然となった。そして、予告通りの時間になったとき、突如闇が落ち、三発の銃声が…。大胆かつ不可解な事件にミス・マーブルが挑む、クリスティーの代表作、新訳。

2020/5./ 467p
978-4-15-131038-6
本体 ¥1,120+税



日本経済新聞 2020/10/17



ポケットにライ麦 新訳版(ハヤカワ文庫 クリスティー文庫 40)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

会社社長の毒殺事件を皮切りに名家で起きた三つの殺人事件。かつて仕込んだメイドを殺されたミス・マーブルは義憤にかられ、犯人探しに乗り出す！ マザー・グーズに材を取った、見立て殺人ものの中期の傑作。

2020/8./ 371p
978-4-15-131040-9
本体 ¥1,020+税



日本経済新聞 2020/10/17



恥辱

J. M. クッツェー、鴻巣 友季子 著
早川書房

52歳、大学教授。2度の離婚経験あり。男はつい出来心から教え子に過ちを犯して失職し、転落していく。厳しい現実を直視できない中年男がたどる悔恨と再生の日々を描く。ブッカー賞受賞作。

2000/11./ 290p
978-4-15-208315-9
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/10/25



ザリガニの鳴くところ

ディーリア・オーエンズ 著
早川書房

家族に見捨てられながらも、広大な湿地でたったひとり生きる少女に、ある殺人の容疑がかかり…。みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、思いもよらぬ結末へと物語が動き出す。

朝日新聞 2020/10/24

2020.3./ 511p
978-4-15-209919-8
本体 ¥1,900+税



名探偵ポアロ オリエント急行の殺人(HJB ハヤカワ・ジュニア・ミステリ)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

名探偵ポアロが乗りこんだ豪華寝台列車オリエント急行は、途中、大雪に閉ざされ進めなくなってしまう。そして、金持ちの男が殺された!? 車内の全員に犯行当時のアリバイがあった。ポアロの推理は…。

日本経済新聞 2020/10/17

2020.3./ 363p
978-4-15-209921-1
本体 ¥1,300+税



そして誰もいなくなった(HJB ハヤカワ・ジュニア・ミステリ)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

兵隊島のお屋敷に集められた 10 人の男女。不気味な声を合図に、死のゲームが始まる。童謡の歌詞どおり、ひとりずつ命を落とし…。つぎに狙われるのは? 犯人は何者なのか? ミステリ史上最も有名な傑作。

日本経済新聞 2020/10/17

2020.3./ 372p
978-4-15-209922-8
本体 ¥1,300+税



レイラの最後の 10 分 38 秒

エリフ・シャファク 著
早川書房

1990 年のイスタンブル。路地裏で娼婦レイラが息絶えた。だが、心臓の動きが止まった後も 10 分 38 秒のあいだ、意識は続いた。時間の感覚が薄れていくなか、これまでの人生の痛み、苦しき、喜びが溢れだし…。

朝日新聞 2020/10/24

2020.9./ 372p
978-4-15-209962-4
本体 ¥2,300+税



人はなぜ憎しみあうのか〜「群れ」の生物学〜<上>

望月 索 編
マーク・W・モフェット 著
早川書房

なぜ人間だけが小さな違いにこだわり、異質な他者を差別するのか。スミソニアン博物館でアリの生態を研究する著者が、「差別」の感情を軸に、人間特有のコミュニケーションのあり方を解き明かす。

日本経済新聞 2020/10/24、朝日新聞 2020/10/31

2020.9./ 316p
978-4-15-209963-1
本体 ¥2,300+税



人はなぜ憎しみあうのか〜「群れ」の生物学〜<下>

マーク・W・モフェット 著
早川書房

社会への帰属意識や一体感なぜ生じるのか。なぜ集団間の対立による紛争や、人種差別はなくなるのか。人間社会の起源を生物学的な視点から考察し、ありべき幸福な社会を描く。

日本経済新聞 2020/10/24、朝日新聞 2020/10/31

2020.9./ 284p
978-4-15-209964-8
本体 ¥2,300+税





誓願

マーガレット・アトウッド 著
早川書房

ギレアデ共和国を操る権力を持つリディア、司令官の娘・アグネス、両親が何者かに爆殺されたダイジー。まったく異なる人生を歩んできた3人が出会うとき、ギレアデの命運が大きく動き始める。「侍女の物語」続篇。

朝日新聞 2020/10/17、毎日新聞 2020/10/17

2020.10./ 599p
978-4-15-209970-9
本体 ¥2,900+税



2020-2030 アメリカ大分断～危機の地政学～

ジョージ・フリードマン 著
早川書房

80年周期の「制度的サイクル」と、50年周期の「社会経済的サイクル」が衝突する2020年代、未曾有の危機がアメリカを襲う。差し迫る真の危機について予測し、その痛みと混乱を解決する方法を考える。

日本経済新聞 2020/10/31

2020.10./ 327p
978-4-15-209971-6
本体 ¥2,000+税



インビジブル・エッジ～その知財が勝敗を分ける～

マーク・ブラキシル、ラルフ・エッカート、村井 章子 著
文芸春秋

タイガー・ウッズが市場シェア下位だったブリヂストンのボールを選んだその陰に「知的財産」あり！「見えない刃」「見えない競争優位」である知的財産の世界を、インテルやトヨタなど豊富な実例で案内する。

東京・中日新聞 2020/10/04

2010.10./ 413p
978-4-16-371990-0
本体 ¥1,800+税



新橋パラダイス～駅前名物ビル残日録～

村岡 俊也 著
文芸春秋

再開発計画によって失われゆく新橋駅前ビル&ニュー新橋ビル。喫茶店、洋食屋、ジュースバー、金券ショップ、雀荘、青空将棋、風俗店…。戦後の闇市から脈々と続くカオスの全貌と妙味溢れる人間模様に向ける異色の探訪記。

読売新聞 2020/10/18、東京・中日新聞 2020/10/25、日本経済新聞 2020/10/31

2020.9./ 222p
978-4-16-391221-9
本体 ¥1,600+税



新型コロナウイルスを制圧する～ウイルス学教授が説く、その「正体」～

河岡 義裕／河合 香織 著
文芸春秋

冬に来る第2波はさらに強毒化するのか？ ワクチンはいつ開発されるのか？ 終息はいつなのか？ ウイルス学の世界的権威が、新型コロナウイルスの研究最前線を解説。ウイルスと共に生きるための視点も伝える。

読売新聞 2020/10/11

2020.7./ 191p
978-4-16-391232-5
本体 ¥1,200+税



職場の科学～日本マイクロソフト働き方改革推進チーム×業務改善士が読み解く「成果が上がる働き方」～

沢渡 あまね 著
文芸春秋

アフターコロナに「働き方格差」時代がやってくる！「働き方先進企業」の一つとして、主に日本マイクロソフトの取り組みを紹介しながら、職場で起こっている真実を明らかにし、新しい働き方について考察する。

朝日新聞 2020/10/10

2020.8./ 7p,205p
978-4-16-391237-0
本体 ¥1,400+税





戦争と法

長谷部 恭男 著
文藝春秋

戦争の攻撃目標は相手の国家の社会契約、つまり憲法原理である。朝鮮戦争、フォークランド紛争、テロとの戦い等を取り上げ、近現代史における戦争のダイナミックな質的変容を、法の視点から浮き彫りにする。

朝日新聞 2020/10/10

2020/7./ 223p
978-4-16-391238-7
本体 ¥1,600+税



一人称単数

村上 春樹 著
文藝春秋

世界は流れていく。物語が光景をとどめる。表題作ほか「石のまくらに」「チャーリー・パーカー・プレイズ・ボサノヴァ」など 8 作を収録した短篇小説集。『文學界』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

朝日新聞 2020/10/03

2020/7./ 235p
978-4-16-391239-4
本体 ¥1,500+税



二百十番館にようこそ

加納 朋子 著
文藝春秋

ネトゲ廃人で自宅警備員の俺は、親に追放されるように離島での暮らしを始める。金銭面の不安解消のためにニート仲間を集めてシェアハウスを営むうちに、人生が少しずつ広がってゆき…。『オール讀物』掲載を単行本化。

産経新聞 2020/10/11

2020/8./ 303p
978-4-16-391241-7
本体 ¥1,500+税



げいさい

会田 誠 著
文藝春秋

まさにカオスだった。田舎出の芸大志望の浪人生を翻弄する奇妙奇天烈な入試、奇人変人…。現代美術界の鬼才が綴る、明るくも切ない青春群像劇。『文學界』連載を書籍化。

産経新聞 2020/10/25

2020/8./ 311p
978-4-16-391242-4
本体 ¥1,800+税



ぼくをつくった50のゲームたち

川島 明 著
文藝春秋

エキサイトバイク、ドラゴンクエスト、ダービースタリオン…。漫才コンビ「麒麟」の川島明が、懐かしきゲーム 50 本の思い出を綴る。『Sports Graphic Number』連載に加筆修正して単行本化。

日本経済新聞 2020/10/10

2020/9./ 218p
978-4-16-391258-5
本体 ¥1,200+税



反日種族主義との闘争

李 栄薫 著
文藝春秋

慰安婦強制連行説に対する再批判、働いても賃金が貰えなかったという嘘、独島編入と独島密約…。韓国の歴史認識を徹底批判した「反日種族主義」に寄せられた批判や疑問に答え、あらためて韓国に根付いた「嘘」を実証する。

産経新聞 2020/10/04

2020/9./ 391p
978-4-16-391259-2
本体 ¥1,650+税





ほんのよもやま話～作家対談集～

瀧井 朝世 著

文藝春秋

仲良しな2人、意外な2人、同志な2人…。作家が互いの本を語り、オススメ本を教え合う。島田荘司&伊坂幸太郎、島本理生&佐藤友哉など作家46組の対談集。「After Talk」も掲載。『CREA』連載を単行本化。

産経新聞 2020/10/18

2020.9./ 253p

978-4-16-391263-9

本体 ¥1,650+税



ネヴァー・ゲーム

ジェフリー・ディーヴァー 著

文藝春秋

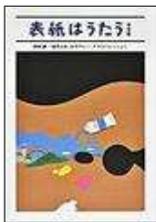
シリコンヴァレーに暗躍する連続誘拐犯。懸賞金のかかった事件に挑む人探しの名人にして流浪の名探偵ショウは、伶俐な頭脳とサバイバル術で完全犯罪を追う。冷酷なデス・ゲームの果てに浮かび上がる意外な真相とは？

毎日新聞 2020/10/04

2020.9./ 383p

978-4-16-391269-1

本体 ¥2,500+税



表紙はうたう～和田誠・『週刊文春』のカヴァー・イラストレーション～ 完全版

和田 誠 著

文藝春秋

和田誠が描いた『週刊文春』のカヴァー・イラストレーションを収録。1977年から2008年までの31年分に、それ以降の作品も増補した完全版。本人による作品解説付き。

産経新聞 2020/10/17

2020.10./ 1冊(ページ付なし)

978-4-16-391274-5

本体 ¥9,000+税



コロナ後の世界(文春新書 1271)

ジャレド・ダイヤモンド／ポール・クルーグマン／リンダ・グラットン／マックス・テグマーク／スティーブン・ピンカー／スコット・ギャロウェイ／大野 和基 著

文藝春秋

国境を超えて蔓延する新型コロナウイルス。このパンデミックは人類の歴史にどんな影響を及ぼすのか。これから我々はどんな未来に立ち向かうのか。世界の知性6人にインタビューし、世界と日本の行く末を問う。

朝日新聞 2020/10/03

2020.7./ 202p

978-4-16-661271-0

本体 ¥800+税



吉本興業の約束～エンタメの未来戦略～(文春新書 1275)

大崎 洋／坪田 信貴 著

文藝春秋

ダメ社員からのスタート、芸人との関係、デジタル化への発想の切りかえ、これからやりたいこと…。吉本興業会長・大崎洋と坪田塾塾長・坪田信貴が開催したトークショーでの語りなどをまとめる。

産経新聞 2020/10/04

2020.8./ 286p

978-4-16-661275-8

本体 ¥850+税



半グレと芸能人(文春新書 1286)

大島 佑介 著

文藝春秋

なぜ芸能人やスポーツ選手は半グレと接点を持つてしまうのか。関東連合をはじめ、多くの反社会的勢力を取材してきた『週刊文春』の元記者が、夜の現場体験をもとに、彼らが共通の“生息域”の住人である実態をレポートする。

読売新聞 2020/10/25

2020.10./ 216p

978-4-16-661286-4

本体 ¥820+税





思考のレッスン(文春文庫)

丸谷 才一 著
文芸春秋

仮説は大胆不敵に、ホーム・グラウンドを持って……。究極の読書法、文章の極意、考え方のコツが満載。思考力が飛躍的にアップする本

毎日新聞 2020/10/10

2002:10./ 278p
978-4-16-713816-5
本体 ¥550+税



江戸の子守唄(文春文庫)

平岩 弓枝 著
文芸春秋

東吾とるいの活躍で大評判の「御宿かわせみ」シリーズ。著者が第一巻から改訂しなおして決定版に。あわせて本文活字も9ポになった

毎日新聞 2020/10/10

2004:3./ 272p
978-4-16-716881-0
本体 ¥550+税



漆の実のみのる国<上>(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋

一汁一菜に甘んじつつ財政改革に心血そそいだ上杉鷹山と執政たちの無私的心と苦悩を描き、藤沢さんの遺書とさえよばれた傑作長篇

読売新聞 2020/10/25

2000:2./ 285p
978-4-16-719232-7
本体 ¥620+税



漆の実のみのる国<下>(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋

読売新聞 2020/10/25

2000:2./ 315p
978-4-16-719233-4
本体 ¥640+税



蟬しぐれ<上>(文春文庫 ふ 1-63)

藤沢 周平 著
文芸春秋

海坂藩普請組牧家の跡取り・文四郎は、15歳の初夏を迎えていた。淡い恋、友情、突然一家を襲う悲運と忍苦。苛烈な運命に翻弄されつつ成長してゆく少年藩士の姿を描いた、傑作長篇小説。

日本経済新聞 2020/10/17

2017:1./ 302p
978-4-16-790773-0
本体 ¥660+税



蟬しぐれ<下>(文春文庫 ふ 1-64)

藤沢 周平 著
文芸春秋

18歳の秋、思いがけない人物より秘剣を伝授された文四郎。前途に光が射しはじめるなか、妻をめとり城勤めに精をだす日々。そこへ江戸にいるお福さまの消息が届き…。時代を越えて読み継がれる、藤沢文学の金字塔。

日本経済新聞 2020/10/17

2017:1./ 284p
978-4-16-790774-7
本体 ¥650+税





そして、バトンは渡された(文春文庫 せ 8-3)

瀬尾 まいこ 著

文藝春秋

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

朝日新聞 2020/10/31

2020.9./ 425p

978-4-16-791554-4

本体 ¥740+税



おじいちゃんとの最後の旅

ウルフ・スタルク 著

徳間書店

病院に入院しているおじいちゃんが、死ぬ前に家に取りに行きたいものがあるという。ぼくはおじいちゃんのために、病院を抜け出すカンペキな計画を立てた…。切ない現実をユーモアでくみ、巧みに描いた物語。

朝日新聞 2020/10/31

2020.9./ 166p

978-4-19-865162-6

本体 ¥1,700+税



人生で大事なことはみんなゴリラから教わった

山極 寿一 著

家の光協会

ゴリラに会いにアフリカへ向かった大学院生の「わたし」。ときに命の危険を感じながら、ゴリラとジャングルを歩き…。世界的ゴリラ研究者が、40年間の研究生活を振り返りつつ、ゴリラから学んだ「人間の生き方」を伝える。

読売新聞 2020/10/11

2020.8./ 223p

978-4-259-54773-8

本体 ¥1,300+税



人体〜NHKスペシャル〜<2> 遺伝子

NHK スペシャル「人体」取材班 編

NHK スペシャル「人体」取材班 著

医学書院

私たちはまだ、自分の遺伝子をもつ可能性を知らずにいる。最新の科学によって明らかになった遺伝子の新しい真実の精密なしくみを、高精細CGで描き出す。NHKスペシャルを書籍化。

朝日新聞 2020/10/31

2020.9./ 216p

978-4-260-04244-4

本体 ¥2,800+税



食べることと出すこと(シリーズケアをひらく)

頭木 弘樹 著

医学書院

食事と排泄という「当たり前」が当たり前でなくなったとき、世界はどう変わったのか。潰瘍性大腸炎に襲われた著者の闘病記。切実さの狭間に漂う不思議なユーモアが、何が「ケア」かを教えてくれる。テキストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2020/10/10

2020.8./ 316p

978-4-260-04288-8

本体 ¥2,000+税



瑠璃ノムコウ(文芸社文庫 か 8-1)

河畑 孝夫 著

文芸社

美術大学で知り合い、無二の親友となったルリ。突然失踪した彼女を捜すうちに見えてきた事実、そして、わたしの原点とは。表題作ほか、「オキナワン・ラブソディー」を収載。

産経新聞 2020/10/24

2020.10./ 284p

978-4-286-21581-5

本体 ¥660+税





いちばんやさしい5Gの教本～人気講師が教える新しい移动通信システムのすべて～

藤岡 雅宣 著

インプレス

デジタルトランスフォーメーション、通信システムの基礎、産業界へのインパクト…。最先端の技術「5G」の基礎から応用までやさしく解説する。電子版(PDF ファイル)をダウンロードできる URL 付き。

日本経済新聞 2020/10/10

2020.1./ 190p

978-4-295-00826-2

本体 ¥1,800+税



ビジネスパーソンの新・兼業農家論

井本 喜久 著

クロスメディア・パブリッシング

農業って実は楽しくて、カッコよくて、健康的で、儲かる! 都市部で働くビジネスパーソンに向けて、都市と農村を自由に行き来しながら、パラレルワークを実践する方法を紹介する。

読売新聞 2020/10/18

2020.8./ 255p

978-4-295-40444-6

本体 ¥1,480+税



世界制覇のための事業計画書

湯川 抗 著

クロスメディア・パブリッシング

黒字化するまでに時間がかかっても、世界を席卷できるような事業を考えるための参考書。最新の経営理論とフレームワークを紹介しながら、実現したい未来を構想する方法を解説する。

日本経済新聞 2020/10/31

2020.8./ 335p

978-4-295-40445-3

本体 ¥1,980+税



リアルサイズ古生物図鑑～古生物のサイズが実感できる!～<新生代編>

土屋健一 著

技術評論社

東京都内のアニメ制作会社の会議室にいるミアキス、サンタクロースの手伝いをするメガロケロス・ギガンテウス…。古生物をリアルなイラストで再現し、現代景色に配置した図鑑。古第三紀～第四紀の古生物を収録。

読売新聞 2020/10/25

2020.9./ 199p

978-4-297-11514-2

本体 ¥3,200+税



コレクション日本歌人選<068> 会津八一

村尾 誠一 著

笠間書院

日本の歌の歴史に大きな足跡を残した代表的歌人の秀歌を、堪能できるように編んだアンソロジー。明治・大正・昭和の歌人会津八一の歌 49 首と俳句 1 句を取り上げ、出典・口語訳・鑑賞・脚注等を付して解説する。

毎日新聞 2020/10/31

2019.1./ 121p

978-4-305-70908-0

本体 ¥1,300+税



その男、佐藤允

佐藤 闘介 著

河出書房新社

佐藤允の代表作「独立愚連隊西へ」公開 60 周年を記念して、本人が生前に語ったインタビューや夏木陽介、川島一平、水野久美らのインタビュー、フィルモグラフィー、写真と随筆などで、その役者人生に迫る。

読売新聞 2020/10/04

2020.7./ 239p

978-4-309-02898-9

本体 ¥2,200+税





推し、燃ゆ

宇佐見 りん 著
河出書房新社

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。デビュー作「かか」が三島賞候補になった 21 歳の第 2 作。『文藝』掲載を単行本化。

毎日新聞 2020/10/03、朝日新聞 2020/10/17

2020.9./ 125p
978-4-309-02916-0
本体 ¥1,400+税



ユリシーズ 1-12

ジェイムズ・ジョイス、柳瀬 尚紀 著
河出書房新社

1904 年 6 月 16 日。ダブリンのこの 1 日を、文学的技巧を駆使して濃密に描く。世界文学の最高峰「ユリシーズ」全 18 章のうち、予感に満ちた第 1 章から、謎の語り手の正体の「発犬」につながる第 12 章までを収録。

読売新聞 2020/10/11

2016.12./ 572p
978-4-309-20722-3
本体 ¥4,500+税



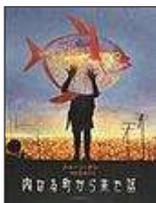
武漢日記～封鎖下 60 日の魂の記録～

方方 著
河出書房新社

身近な人が次々と死んでいく悲惨な状況、食料品やマスクの不足、医療現場の疲弊と焦燥…。新型コロナウイルス蔓延による 1100 万都市・武漢の完全封鎖の中で実情を綴った魂の記録。

日本経済新聞 2020/10/24

2020.9./ 317p
978-4-309-20800-8
本体 ¥1,600+税



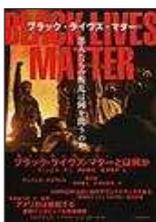
内なる町から来た話

ショーン・タン 著
河出書房新社

人間を訴えたクマ。カエルを救う秘書。空の魚を釣り上げた兄弟…。都会の中に置かれた動物たちのシュールな光景を描いた、緻密な油絵のタッチのイラストレーションと共に紡ぐ 25 の物語。「遠い町から来た話」の姉妹編。

読売新聞 2020/10/11、朝日新聞 2020/10/31

2020.8./ 219p
978-4-309-20803-9
本体 ¥2,900+税



BLACK LIVES MATTER

河出書房新社編集部 編
河出書房新社

コロナ以降の世界をゆるがす「ブラック・ライヴズ・マター」とは何か。アメリカ、人種主義、ブラックカルチャーなどから、この動きが意味するものと未来を考える。連続インタビュー&現地報告も収録。

東京・中日新聞 2020/10/04

2020.8./ 207p
978-4-309-24973-5
本体 ¥1,800+税



ヨコハマメリー～白塗りの老娼はどこへいったのか～(河出文庫 な 41-1)

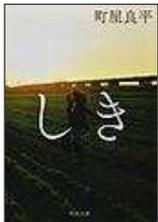
中村 高寛 著
河出書房新社

彼女の名は<港のメリーさん>。映画「ヨコハマメリー」で監督デビューした著者が、時代とともにヨコハマの町が変遷していく姿を背景に、謎めいたメリーさんの全貌と、彼女の周辺に生きる人々の人生を見つめたドキュメント。

朝日新聞 2020/10/10

2020.8./ 377p
978-4-309-41765-3
本体 ¥980+税



**しき(河出文庫 ま 20-2)**町屋 良平 著
河出書房新社

クラスの会話に馴染めない高校2年の男女6人。恋愛への興味も薄く名付け得ぬ感情を抱いて、ただ互いを視界にとらえあう。ある日、男子ふたりがダンスの練習を始め、て…。斬新な文体で10代の心を精彩に描いた進化系青春小説。

朝日新聞 2020/10/31

2020/10./ 188p
978-4-309-41773-8
本体 ¥720+税**デカメロン<上>(河出文庫 ホ 6-1)**ボッカッチョ、平川 祐弘 著
河出書房新社

ペストが猖獗を極めた14世紀フィレンツェ。恐怖が蔓延する市中から郊外に逃れた若い男女10人が、面白おかしい話で迫りくる死の影を追い払おうと、10日のあいだ交互に語り合う100の物語。上は第1日～第3日を収録。

日本経済新聞 2020/10/24

2017/3./ 555p
978-4-309-46437-4
本体 ¥1,000+税**デカメロン<中>(河出文庫 ホ 6-2)**ボッカッチョ、平川 祐弘 著
河出書房新社

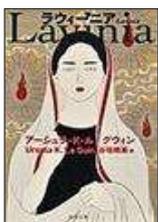
ペストが猖獗を極めた14世紀フィレンツェ。恐怖が蔓延する市中から郊外に逃れた若い男女10人が、面白おかしい話で迫りくる死の影を追い払おうと、10日のあいだ交互に語り合う100の物語。中は第4日～第7日を収録。

日本経済新聞 2020/10/24

2017/4./ 557p
978-4-309-46439-8
本体 ¥1,000+税**デカメロン<下>(河出文庫 ホ 6-3)**ボッカッチョ、平川 祐弘 著
河出書房新社

ペストが猖獗を極めた14世紀フィレンツェ。恐怖が蔓延する市中から郊外に逃れた若い男女10人が、面白おかしい話で迫りくる死の影を追い払おうと、10日のあいだ交互に語り合う100の物語。下は第8日～第10日を収録。

日本経済新聞 2020/10/24

2017/5./ 533p
978-4-309-46444-2
本体 ¥1,000+税**ラウィーニア(河出文庫 ル 2-5)**アーシュラ・K・ル＝グウィン 著
河出書房新社

イタリアのラティウムの王女ラウィーニアは、礼拝のために訪れた一族の聖地アルブネアの森で、はるか後代の詩人ウェルギリウスの生き霊に出会う。そして、トロイア戦争の英雄アエネアスの妻となる運命を告げられ…。

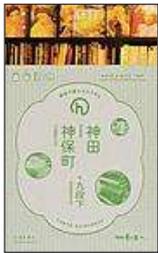
朝日新聞 2020/10/17

2020/9./ 468p
978-4-309-46722-1
本体 ¥1,400+税**すごい物理学入門(河出文庫 ロ 3-2)**カルロ・ロヴェッリ 著
河出書房新社

相対性理論、量子力学、宇宙、素粒子、確率と熱力学…。20世紀に物理学の分野で起こった革新にかかわる、とても重要で魅力的なテーマをおおまかに理解できる7つの講義を収録する。世界一わかりやすい物理学の本。

読売新聞 2020/10/11

2020/9./ 150p
978-4-309-46723-8
本体 ¥780+税



神田・神保町～+九段下～(散歩の達人 handy 2)

交通新聞社

靖国神社の歩き方、神保町珍本探しツアー、神田小路の謎…。駅から徒歩 15 分圏内を基本に、神田・神保町・九段下の街歩きをガイドする。『散歩の達人』掲載記事を再構成。データ:2016年11月現在。

毎日新聞 2020/10/10

2016.11./ 128p

978-4-330-72616-8

本体 ¥900+税



AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争(光文社新書 1074)

庭田 杏珠、渡邊 英徳 著

光文社

戦前・戦後の貴重な白黒写真 355 枚を、最新の AI 技術と当事者への取材や資料をもとに人の手で彩色。カラー化した写真から、当時の暮らしを紹介する。

日本経済新聞 2020/10/10

2020.7./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-334-04481-7

本体 ¥1,500+税



クワバカ～クワガタを愛し過ぎちゃった男たち～(光文社新書 1080)

中村 計 著

光文社

クワガタを愛し過ぎて、人生を賭してしまった「クワバカ」。ハブに咬まれても採集をやめない男、採集のためにインドネシアへ移住した世界的コレクターなど、少年時代を想起させる不思議な男たちの人生を生き生きと描く。

朝日新聞 2020/10/03

2020.8./ 247p

978-4-334-04487-9

本体 ¥940+税



カラマーゾフの兄弟<2>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著

光文社

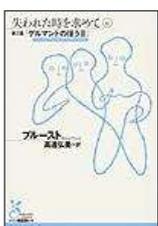
死の床にあるゾシマ長老が残す、輝く言葉の数々。長老の驚くべき過去が、明らかにされる。イワンが語る物語詩「大審問官」の本当の意味。少女の一滴の涙は、世界の救済と引き換えにできるか。

日本経済新聞 2020/10/17

2006.11./ 501p

978-4-334-75117-3

本体 ¥781+税



失われた時を求めて<6> 第三篇「ゲルマンのほう 2」(光文社古典新訳文庫 KA F 4-7)

プルースト 著

光文社

ヴィルパリジ夫人のサロンに招かれた語り手は、ドレフュス事件や藝術の話に花を咲かせる社交界の人びとを目の当たりにする。一方、病気の祖母の容態はさらに悪化し…。第3篇「ゲルマンのほう 1」後半と「2」前半を収録。

読売新聞 2020/10/11

2018.7./ 464p

978-4-334-75381-8

本体 ¥1,260+税



白痴<4>(光文社古典新訳文庫 KA ト 1-20)

ドストエフスキー 著

光文社

悲劇的なものとコミカルなものが融合した「世界一美しい恋愛小説」は、4 人の運命を、ある渦巻きの中心に向かって引きずり込んでいき…。ドストエフスキーが書いた最高の恋愛小説、完結。

毎日新聞 2020/10/03

2018.9./ 475p

978-4-334-75387-0

本体 ¥1,040+税





オルラ/オリーブ園～モーパッサン傑作選～(光文社古典新訳文庫 KA モ 2-4)

モーパッサン 著
光文社

妄想と狂気に呑み込まれていく男の日記「オルラ」、人生を揺さぶる直視し難い過去との対峙を描く「オリーブ園」…。病魔に冒され、寡作になりつつあるモーパッサン後期の作品の中から厳選した、中短篇 8 篇を収録する。

2020/9./ 329p
978-4-334-75431-0
本体 ¥980+税



読売新聞 2020/10/04、朝日新聞 2020/10/10



バブル

山口 ミルコ 著
光文社

会社は幻? 幻冬舎創業期を支えた元ベストセラー編集者の山口ミルコ。ボスとの出会いから別れまで。同時代を生きた異業種の女性たちの発言を織り込みながら、自らの会社人生を綴る。『婦人公論』連載を加筆修正し単行本化。

2020/9./ 274p
978-4-334-95197-9
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/10/18、読売新聞 2020/10/18



つくられた格差～不公平税制が生んだ所得の不等～

エマニュエル・サエズ／ガブリエル・ズックマン 著
光文社

富裕層はますます富み、中間層や貧困層はより貧しくなる真の理由とは? 格差が極端化するのを防ぐためには、新たな税制が必要。莫大な資産への課税や多国籍企業からの徴税など、改革を実現するための現実的な案を提示する。

2020/9./ 297p
978-4-334-96243-2
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/10/24



アヴェスタ～原典完訳～

国書刊行会

紀元前1千年頃、古代イラン(ペルシア)の宗教家・ゾロアスターによって創始された世界最古の創唱宗教、ゾロアスター教。その根本テキストである聖典「アヴェスタ」をアヴェスタ語原文から全訳。主要用語解説なども収録する。

2020/9./ 647p
978-4-336-06382-3
本体 ¥8,800+税



朝日新聞 2020/10/17



ミック・エイヴォリーのアンダーパンツ

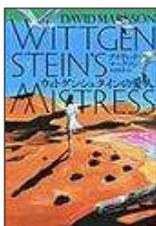
乗代雄介 著
国書刊行会

乗代雄介がデビュー前から 15 年以上にわたって書き継いできたブログを著者自選・全面改稿のうえ書籍化。67 編を精選した「創作」、長編エッセイ「ワインディング・ノート」、書き下ろし小説「虫麻呂雑記」を収録。

2020/7./ 645p
978-4-336-06588-9
本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2020/10/31



ワイトゲンシュタインの愛人

デイヴィッド・マークソン 著
国書刊行会

地上から人が消え、最後の 1 人として生き残ったケイト。彼女はアメリカのとある海辺の家で暮らしながら、終末世界の「非日常的な日常」をタイプライターで書き綴る…。アメリカ実験小説の最高到達点。

2020/7./ 321p
978-4-336-06657-2
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/10/03

**蜜蜂と遠雷**

恩田 陸 著
幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星峡』『ボンツーン』連載を単行本化。

読売新聞 2020/10/04

2016:9./ 507p
978-4-344-03003-9
本体 ¥1,800+税

**亜種の起源～苦しみは波のように～**

桜田 一洋 著
幻冬舎

「心」は何に反応して揺れ動くのか? そして我々をどこへ導くのか? 「生きる」意味を問い、生命科学を研究し続ける著者が問う、サイエンス・フィロソフィー。

読売新聞 2020/10/11

2020:9./ 213p
978-4-344-03668-0
本体 ¥1,500+税

**阪急電車(幻冬舎文庫)**

有川 浩 著
幻冬舎

日本経済新聞 2020/10/03

2010:8./ 269p
978-4-344-41513-3
本体 ¥533+税

**五輪と万博～開発の夢、翻弄の歴史～**

畑中 章宏 著
春秋社

1940 東京五輪・東京万博、1970 大阪万博、1996 世界都市博、そして 2020 東京五輪…。人々は五輪と万博に何を思い描いてきたのか。都市・郊外の開発と変貌の歴史を、気鋭の民俗学者がたどる。

日本経済新聞 2020/10/17

2020:7./ 5p,242p
978-4-393-29132-0
本体 ¥1,900+税

**還って来た山頭火～いま、私たちに何を語るのか～**

立元幸治 著
春陽堂書店

人生の壁や困難に直面したとき、生きる意味を失いかけたとき、そっと寄り添うメッセージの数々…。酒と旅をこよなく愛し、その生涯を句作と、真実の自己の追究に貫いた漂泊の俳人・山頭火の句や日記の言葉などを紹介する。

東京・中日新聞 2020/10/25

2020:9./ 254p
978-4-394-90376-5
本体 ¥2,000+税

**女たちの本能寺(祥伝社新書 610)**

楠戸 義昭 著
祥伝社

本能寺の変は、光秀と信長を取り巻く一族の女たちの運命をどう変えたのか。彼女たちの知られざる側面と、一次史料から分かった真実とは。濃姫、細川ガラシャ、春日局など、歴史に翻弄された7人の女たちの人生を追う。

日本経済新聞 2020/10/24

2020:9./ 227p
978-4-396-11610-1
本体 ¥860+税





勤勉の哲学(NON SELECT)

山本 七平 著
祥伝社

日本人の「勤儉貯蓄」を美德とする思想は、どのように形成され、どのような影響を与え、現在に結果しているのか？ 江戸時代の思想家、鈴木正三と石田梅岩を通して、日本人の根元的労働観を探る。

2008:6./ 337p
978-4-396-50097-9
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2020/10/04



クラスで一番可愛い子(フィールコミックス)

山中 ヒコ 著
祥伝社

「どうして私は可愛く生まれなかったの？」推しに認識されるため、整形を繰り返した女の子 とあるイケメン俳優にハマったえりは、出待ちをしても塩対応しかもらえない。「わたしがもっと可愛かったら」。そう思ったえりは、簡単な二重整形手術に挑戦し可愛くなれた！と浮かれるが、やはり推しからは 認識なんてされやしない。「...まだダメなんだ」と思ったえりは 食べるように、整形手術をくり返し、元の顔の跡形もない 可愛い子になっていった。そして、ついに推しとリアル友達の男子と つながりを持つことに成功し——。 整形×ファン心理ほか、2本を収録した短編集。

2020:9./ 152p
978-4-396-76804-1
本体 ¥880+税



朝日新聞 2020/10/03



ぐるぐる♡博物館(実業之日本社文庫 み 10-1)

三浦 しをん 著
実業之日本社

国立科学博物館、雲仙岳災害記念館、めがねミュージアム…。人類史の最前線から、秘宝館まで、まじめに、ときに妄想を膨らませつつ個性あふれる博物館を採検するルポエッセイを収録。

2020:10./ 298p
978-4-408-55623-9
本体 ¥680+税



読売新聞 2020/10/25



ポストトゥルース

リー・マッキンタイア / 居村 匠 著
人文書院

フェイクニュース、オルタナティブファクト…、力によって事実が歪められる時代はいつから始まったのか。政治や社会への広範なリサーチと、人間の認知メカニズム、メディアの変容など様々な角度からの考察で時代の核心に迫る。

2020:9./ 271p
978-4-409-03110-0
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/10/10



礼とは何か～日本の文化と歴史の鍵～

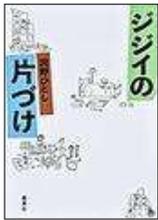
桃崎 有一郎 著
人文書院

教室での礼など、日本社会にあふれる「礼」。それは古代中国に生まれた概念であり、今日まで広く深く日本の文化と歴史を規定している。気鋭の日本中世史研究者が中国古代思想に分け入り、「礼」の根源に迫る。

2020:8./ 316p
978-4-409-52083-3
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/10/04



ジジイの片づけ

沢野 ひとし 著
集英社クリエイティブ

片づけを習慣にすれば、明るく幸せな毎日になる! 長年片づけを実践してきた著者が、その心得と人生の機微を綴る。息をするようにサッサと片づけたいくなるイラストエッセイ 23 編&19 のコラムを収録。

産経新聞 2020/10/25

2020/10./ 173p
978-4-420-31089-5
本体 ¥1,600+税



フィッシュ・アンド・チップスの歴史～英国の食と移民～(創元世界史ライブラリー)

パニコス・パナイー 著
創元社

19 世紀英国に誕生し、労働者階級に普及したフィッシュ・アンド・チップス。店舗経営者には移民が多く、その出身地はイタリア、キプロス、中国と多岐にわたった。英国の「国民食」の形成と移民の関係を歴史家が解き明かす。

産経新聞 2020/10/04

2020/9./ 237p
978-4-422-20343-0
本体 ¥2,400+税



ヒトはいかにしてことばを獲得したか(認知科学のフロンティア)

正高 信男、辻 幸夫 著
大修館書店

サルからヒトへの進化の過程で、ことばはどのようにして誕生したのか。発達過程で子どもたちはどのようにしてことばを身につけるのか。言語研究の難題について生物学者と認知科学者が語り合う。『言語』掲載に加筆し書籍化。

読売新聞 2020/10/25

2011/7./ 9p,225p
978-4-469-21333-1
本体 ¥1,800+税



わけるとつなぐ～これ以上シンプルにできない「論理思考」の講義～

深沢 真太郎 著
ダイヤモンド社

どんな問題も、「2 つの行為」で解決できる! 試合で一度も勝てなかった女子高の弱小サッカーチームが「わける」と「つなぐ」だけで勝利する物語を通して、論理思考の本質を伝える。

読売新聞 2020/10/25

2020/10./ 270p
978-4-478-10533-7
本体 ¥1,500+税



反省記～ビル・ゲイツとともに成功をつかんだ僕が、ビジネスの“地獄”で学んだこと～

西 和彦 著
ダイヤモンド社

マイクロソフト副社長として「帝国」の礎を築き、創業したアスキーを史上最年少で上場。だけど、マイクロソフトからもアスキーからも追い出され、全てを失った…。伝説の起業家が、成功と失敗の秘密を明かす。

産経新聞 2020/10/10

2020/9./ 455p
978-4-478-10805-5
本体 ¥1,600+税



独学大全～絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための 55 の技法～

読書猿 著
ダイヤモンド社

独学の達人である著者による、勉強法の百科事典。何を、どう学べばいいか迷った時に役立つ、著者が独自に収集・開発した 55 の技法を厳選して紹介する。巻末に折込みの「独学困りごと索引」付き。

読売新聞 2020/10/11

2020/9./ 752p,34p
978-4-478-10853-6
本体 ¥2,800+税





あやうく一生懸命生きる場所だった

ハ・ワン 著
ダイヤモンド社

同じ人生なら「一生懸命」より「楽しく」。40歳を目前にして会社を辞め、頑張らずに生きることを決意した著者が贈る、生きづらさを手放すための言葉の数々。“自分らしい生き方”に出会える人生エッセイ。

日本経済新聞 2020/10/03

2020.1./ 287p
978-4-478-10865-9
本体 ¥1,450+税



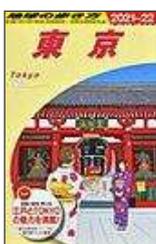
両極化時代のデジタル経営～ポストコロナを生き抜くビジネスの未来図～

デロイト トーマツ グループ 著
ダイヤモンド社

「両極的なもの」をつなぎ合わせ、さらに新たな価値を生み出していけるかどうか企業が経営の成否を分ける。世界的なコンサルティングファームが、超長期と超短期の時間軸で最適な意思決定を行うための戦略モデルを提案する。

日本経済新聞 2020/10/10

2020.8./ 5p,284p
978-4-478-11027-0
本体 ¥2,200+税



地球の歩き方<J01> 2021～22 東京

地球の歩き方編集室 編
ダイヤモンド・ビッグ社

日帰り旅行から滞在型の旅まで、東京をじっくり楽しみたい人のためのガイドブック。エリアガイドをはじめ、歴史と文化、グルメ、ショッピングなどを掲載。取り外せる MAP 付き。データ:2019年10～11月現在。

産経新聞 2020/10/03

2020.9./ 464p
978-4-478-82491-7
本体 ¥1,836+税



いま、子どもの本が売れる理由(筑摩選書 0193)

飯田 一史 著
筑摩書房

おしりたんてい、ヨシタケシンスケ、サバイバル…。本の売れない時代に、子どもの本はなぜ売れる？ 終戦から現代までの本をめぐる官民の施策をたどり直し、近年のヒット作を分析、子どもの本市場が賑わう秘密を探る。

日本経済新聞 2020/10/10

2020.7./ 353p
978-4-480-01710-9
本体 ¥1,800+税



EU 離脱～イギリスとヨーロッパの地殻変動～(ちくま新書 1477)

鶴岡 路人 著
筑摩書房

イギリスの EU 離脱についてイギリスと EU 双方から分析。イギリスの内政問題という理解を超え、新たなヨーロッパ統合のあり方を見通す。東京財団政策研究所のウェブサイトでの連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2020/10/24

2020.2./ 256p,14p
978-4-480-07287-0
本体 ¥860+税



渋沢栄一～日本のインフラを創った民間経済の巨人～(ちくま新書 1516)

木村 昌人 著
筑摩書房

論語・算盤・「民主化」というキーワードをもとに、東アジアの伝統と文化の中で育まれた渋沢栄一の精神を解明。渋沢の構想した「英米資本主義」を超える日本発の新しいグローバル資本主義を考察しながら、その足跡を紹介する。

朝日新聞 2020/10/17

2020.9./ 357p,6p
978-4-480-07318-1
本体 ¥1,100+税



**メディアが動かすアメリカ〜民主政治とジャーナリズム〜(ちくま新書 1518)**渡辺 将人 著
筑摩書房

メディアはアメリカの政治をいかに動かし、また動かされてきたのか。トランプ現象を生んだリアリティテレビ、移民たちの新聞…。アメリカのテレビと選挙の現場を知り尽くした著者が、メディア大国の本当の姿を解き明かす。

日本経済新聞 2020/10/17、毎日新聞 2020/10/24

2020/9./ 295p,5p
978-4-480-07339-6
本体 ¥920+税**アレクサンドロス大王物語(ちくま学芸文庫 カ 48-1)**橋本 隆夫 編
カリステネス 著
筑摩書房

基本的な史実を踏襲しつつ、鮮やかな戦闘場面などを織り交せて、多くの大衆を魅了した「アレクサンドロス大王物語」。本篇に加え、ラテン語で書かれた「アレクサンドロスからアリストテレス宛ての手紙」も収録する。

朝日新聞 2020/10/17

2020/8./ 503p,12p
978-4-480-09996-9
本体 ¥1,500+税**モーツァルト〜よみがえる天才 3〜(ちくまプリマー新書 358)**岡田 暁生 著
筑摩書房

モーツァルトの天才の特異さは、桁外れの才能が「ごく普通の人間」と結びついていたことにある。彼の音楽の何がそんなにも天才的なのかを具体的に説明するとともに、「人間としてのモーツァルト」を身近なものとして描く。

朝日新聞 2020/10/31

2020/9./ 271p
978-4-480-68383-0
本体 ¥920+税**百年と一日**柴崎 友香 著
筑摩書房

地下街にはたいてい噴水が数多くあり、その地下の噴水広場は待ち合わせ場所で、何十年前も、数年後も、誰かが誰かを待っていた。人生と時間を描く新感覚物語集。『ちくま』連載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2020/10/10

2020/7./ 185p
978-4-480-81556-9
本体 ¥1,400+税**秋吉久美子調書**秋吉 久美子／樋口 尚文 著
筑摩書房

45年の女優人生。私は見た。私は挑んだ。そして私は語った。ウソはない。調書だから。1970年代に彗星のように登場し、現在に至るまで第一線で活躍を続ける秋吉久美子のロングインタビューを秘蔵スナップとともに収録。

産経新聞 2020/10/18

2020/9./ 220p
978-4-480-81854-6
本体 ¥2,000+税**彼女の名前は**チョ ナムジュ 著
筑摩書房

セクハラにあった女性が闘い続ける理由とは？ 地下2階の部屋に住む女子生徒の悩みとは？ 映画化された「82年生まれ、キム・ジョン」の著者による、「次の人」のために立ち上がる女性たちの物語。全28編を収録。

日本経済新聞 2020/10/24

2020/9./ 236p
978-4-480-83215-3
本体 ¥1,600+税



天安門広場～中国国民広場の空間史～

市川 紘司 著
筑摩書房

世界最大の広場、天安門広場。中国近代革命の中心地は、1949 年まで「無名の空間」だった。新進気鋭の建築史家が膨大な現地資料を読み解き、中国都市史の巨大な空隙に挑む。貴重な図版も多数掲載。

2020/8./ 473p
978-4-480-85817-7
本体 ¥4,400+税



日本経済新聞 2020/10/03



人類 vs 感染症～新型コロナウイルス世界はどう闘っているのか～

國井 修 著
CCCメディアハウス

新型コロナウイルスの正体は？ 各国はどう対処しているのか？ 第2派、第3派は？ 感染症対策の第一人者が、新型コロナウイルスに関する情報をグローバルな視点で解説する。

2020/8./ 350p
978-4-484-20220-4
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/10/11



ハーリー・クインの事件簿(創元推理文庫 Mク 2-28)

アガサ・クリスティ 著
東京創元社

ある屋敷のパーティで不穏な気配を感じとったサタスウェイトは、奇妙な人物ハーリー・クイン氏にヒントをもらい、鋭い観察眼で不可解な事件の謎を解きはじめる。クリスティならではの深い人間描写が光る 12 編を収めた短編集。

2020/4./ 429p
978-4-488-10547-1
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/10/17



シカゴ・ブルース(創元推理文庫 Mフ 1-15)

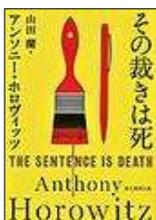
フレドリック・ブラウン 著
東京創元社

シカゴの路上で父を殺された 18 歳のエドは、おじのアンブローズと共に父親殺しの犯人を追うと決めた。移動遊園地で働く変わり者のおじは、雲をつかむような事件の手がかりを少しずつ集めていき…。

2020/9./ 332p
978-4-488-14622-1
本体 ¥1,040+税



読売新聞 2020/10/25



その裁きは死(創元推理文庫 Mホ 15-4)

アンソニー・ホロヴィッツ 著
東京創元社

実直さが評判の弁護士が殺害された。現場の壁にはペンキで乱暴に描かれた数字“182”。作家のわたし、アンソニー・ホロヴィッツは、元刑事の探偵ホーソーンによって奇妙な事件の捜査に引きずりこまれ…。犯人当てミステリ。

2020/9./ 457p
978-4-488-26510-6
本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2020/10/04



指差す標識の事例<上>(創元推理文庫 Mへ 21-1)

イーアン・ペアーズ／池 央耿／東江 一紀 著
東京創元社

1663 年、チャールズ 2 世の統べるイングランド。オックスフォードで大学教師の毒殺事件が発生した。衝撃的な結末の第 1 の手記に続き、同じ事件を別の人物が語る第 2 の手記では、物語は全く異なる様相を呈していき…。

2020/8./ 590p
978-4-488-26706-3
本体 ¥1,260+税



朝日新聞 2020/10/03



指差す標識の事例<下>(創元推理文庫 Mへ21-2)

イーアン・ペアーズ／池 央耿／東江 一紀 著
東京創元社

ヴェネツィア人の医学徒、父の汚名を雪ごうと逸る学生、暗号解読の達人、歴史学者の4人が綴る、1663年のオックスフォード大学で勃発した毒殺事件。4つの手記が織りなす謎の物語は、やがて予想外の結末へ...

2020/8./ 506p
978-4-488-26707-0
本体 ¥1,260+税



朝日新聞 2020/10/03



短編ミステリの二百年<3>(創元推理文庫 Mシ 7-3)

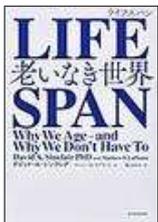
小森 収 編
マクロイ・エリン／直良 和美 著
東京創元社

およそ200年、3世紀にわたる短編ミステリの歴史を彩る名作・傑作を評論家が厳選。3は、マクロイ、エリンなどの作家による傑作11編を新訳で、編者の評論と併せ収録。

2020/8./ 689p
978-4-488-29904-0
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/10/17



LIFESPAN～老いなき世界～

デビッド・A・シンクレア／マシュー・D・ラプラント 著
東洋経済新報社

人類の若さを左右する長寿遺伝子とは? いつまでも若く健康でいるために今すぐできることとは? 「病なき老い、老いなき世界」における人生戦略とは? 最先端科学とテクノロジーが老化のメカニズムを解明する。

2020/9./ 491p,98p
978-4-492-04674-6
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/10/17



教養としての歴史問題

前川 一郎／倉橋 耕平／呉座 勇一／辻田 真佐憲 著
東洋経済新報社

なぜ「歴史」は炎上し、差別意識を助長するのか? 世界中で炎上する「歴史認識問題」や「歴史修正主義」。その背景と構造を気鋭の学者陣が解き明かす。2019年9月立命館大学で開催されたシンポジウムを元に書籍化。

2020/8./ 258p
978-4-492-06213-5
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/10/10



ネクスト・シェア～ポスト資本主義を生み出す「協同」プラットフォーム～

ネイサン・シュナイダー 著
東洋経済新報社

テックカルチャーが企業や国家に代わる新しい社会を作る! さまざまな切り口から協同組合の事例や新しい試みを紹介し、ポスト資本主義を生み出す協同組合事業の意義や新たな可能性を提示する。

2020/7./ 358p,27p
978-4-492-21242-4
本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2020/10/18



決定版 5G～2030年への活用戦略～

片桐 広逸 著
東洋経済新報社

5Gの定義や性能、周波数の割当てとネットワークの展開、さまざまな分野における利活用への取り組み、地方創生と産業振興...。第5世代移動通信システム「5G」について、政策担当者が具体例を交えてわかりやすく解説する。

2020/5./ 350p
978-4-492-58116-2
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/10/10



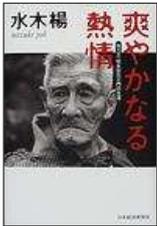
みどりバアバ(童心社のおはなしえほん)

ねじめ正一 著
童心社

花屋の店番が大好きで、大きくておいしいコロックを作ってくれた、みどりバアバが死んだ。こうくんは涙が出てきたけれど…。バアバと向き合う男の子の気持ちを丁寧に描く。

読売新聞 2020/10/25

2020:10./ [39p]
978-4-494-01636-5
本体 ¥1,400+税



爽やかなる熱情～電力王・松永安左エ門の生涯～

水木 楊 著

日本経済新聞出版社

政・財・官の既成の権威を向こうに回し、戦後日本の屋台骨を作った快男児・松永安左エ門。破天荒に生き、「閉塞日本」を突き破り、明治から昭和を駆け抜けた鮮烈人生を描く。

日本経済新聞 2020/10/17

2000:12./ 372p
978-4-532-16369-3
本体 ¥1,700+税



現代中国の父 鄧小平<上>

エズラ・F.ヴォーゲル、益尾 知佐子、杉本 孝 著

日本経済新聞出版社

現代中国に最も影響を与えた人物・鄧小平。彼の一生に則して、中国社会の変化の節目をあますところなく描く。上は、鄧小平の来歴、毛沢東の下での秩序回復、日本への門戸開放などを取り上げる。

日本経済新聞 2020/10/17

2013:8./ 621p
978-4-532-16884-1
本体 ¥3,800+税



現代中国の父 鄧小平<下>

エズラ・F.ヴォーゲル、益尾 知佐子、杉本 孝 著

日本経済新聞出版社

現代中国に最も影響を与えた人物・鄧小平。彼の一生に則して、中国社会の変化の節目をあますところなく描く。下は、経済調整と農村改革、天安門の悲劇、中国の変容、鄧小平時代の重要人物などを取り上げる。

日本経済新聞 2020/10/17

2013:8./ 556p
978-4-532-16885-8
本体 ¥3,800+税



ワカタケル

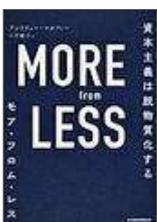
池澤 夏樹 著

日本経済新聞出版社

形のないものが形あるものになった、実在した天皇とされる21代雄略の御代。日本人の心性はこの頃始まった。言葉の魂を揺さぶり、古代から繋がる「日本語」という文体の根幹に接近する。『日本経済新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2020/10/17

2020:9./ 429p
978-4-532-17158-2
本体 ¥2,000+税



MORE from LESS～資本主義は脱物質化する～

アンドリュー・マカフィー 著

日本経済新聞出版社

経済が成長しても、資源は枯渇しない。人類は経済成長と資源消費量を切り離すことに成功し、経済の脱物質化へと舵を切った。なぜ脱物質化が可能になったのかを解き明かし、どんな可能性を秘めているのかを記す。

日本経済新聞 2020/10/31

2020:9./ 372p
978-4-532-17688-4
本体 ¥2,400+税





地形と日本人～私たちはどこに暮らしてきたか～(日経プレミアシリーズ 438)

金田 章裕 著

日本経済新聞出版社

自然災害が頻発する地域は地形でわかる。堤防を築くと水害が起きる。河道や海岸線、山裾は動く…。歴史地理学者が、日本人の土地とのつき合い方を、知られざるエピソードとともに紹介する。

2020/9./ 271p

978-4-532-26438-3

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/10/17



共感経営～「物語り戦略」で輝く現場～

野中 郁次郎／勝見 明 著

日本経済新聞出版社

成功の共通項は「共感」。企業経営や事業におけるイノベーションや大きな成功は、論理や分析ではなく、「共感→本質直感→跳ぶ仮説」というプロセスにより実現されることを、9つのケースと3つの参考事例で解説する。

2020/5./ 284p

978-4-532-32337-0

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/10/10



ネット興亡記～敗れざる者たち～

杉本 貴司 著

日本経済新聞出版社

異端児・堀江貴文とライブドア事件の真相。窮地の藤田晋を救った人物。敗者が生んだLINE…。インターネットという新産業創世記に隠されたドラマに迫る。『日本経済新聞電子版』『日経産業新聞』連載をもとに書籍化。

2020/8./ 757p

978-4-532-32339-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/10/11



マッキンゼーが読み解く食と農の未来

アンドレ・アンドニアン、川西 剛史、山田 唯人 著

日本経済新聞出版社

世界的なコンサルティング企業マッキンゼーが全世界での知見を生かして示す農業改革の書。食と農のグローバル・メガトレンドを8つのポイントで整理し、日本農業の潜在力を最大に発揮させる戦略を提言する。

2020/8./ 246p

978-4-532-35835-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/10/03



デジタル円～日銀が暗号通貨を発行する日～

井上 哲也 著

日本経済新聞出版社

デジタル通貨の実証実験を始めた中国、スウェーデン。導入の議論を加速させるユーロ圏、英国。先行する各国の取組みを紹介し、日銀によるデジタル円発行のメリットと課題を明らかにする。

2020/7./ 251p

978-4-532-35857-0

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/10/03



コロナ危機の経済学～提言と分析～

小林 慶一郎／森川 正之 著

日本経済新聞出版社

大恐慌以来ともいわれる経済ショック「コロナ危機」。どうすれば感染拡大を抑制しつつ、経済活動を維持できるのか？最適な政策とは？気鋭の経済学者たちがコロナ禍の実態を解明し、ポスト・コロナの経済・社会を展望する。

2020/7./ 379p

978-4-532-35861-7

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2020/10/24



消える地銀 生き残る地銀

野崎 浩成 著

日本経済新聞出版社

収益低迷に苦しんでいた地銀に、コロナショックが追い打ちをかける。生き残りを賭けて提携する各社、「第4のメガバンク」を掲げて動き出した SBI。コロナで加速する大再編を予測する。地銀 64 行の独自分析も収録。

日本経済新聞 2020/10/24

2020/9./ 249p

978-4-532-35864-8

本体 ¥1,600+税



トリスタンとイゾルデ

ヴィルヘルム・リヒアルト・ヴァーグナー、三光長治 著

白水社

日本経済新聞 2020/10/10

1990/11./ 152p

978-4-560-03718-8

本体 ¥4,800+税



ライ麦畑でつかまえて(白水 U ブックス)

J.D. サリンジャー 著

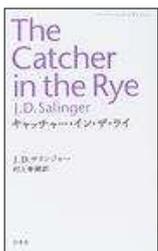
白水社

読売新聞 2020/10/11

1984/5./ 332p

978-4-560-07051-2

本体 ¥880+税



キャッチャー・イン・ザ・ライ

J.D. サリンジャー 著

白水社

さあ、ホールデンの声に耳を澄ましてください…。村上春樹訳、新時代の「ライ麦畑でつかまえて」ペーパーバック版。ホールデンが永遠に 16 歳でありつづけるのと同じように、読者の中にいつまでも留まる物語。

読売新聞 2020/10/11

2006/4./ 361p

978-4-560-09000-8

本体 ¥880+税



ビリオネア・インド~大富豪が支配する社会の光と影~

ジェイムズ・クラブツリー 著

白水社

政官財の癒着、蔓延する縁故主義、地方政界やスポーツ界を蝕む汚職体質…。手練れのジャーナリストが、超富裕層の生態を通して、インド社会の明と暗を鮮やかに描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2020/10/17

2020/8./ 447p,26p

978-4-560-09782-3

本体 ¥3,200+税



ローマ帝国の崩壊~文明が終わるといふこと~ 新装版

ブライアン・ウォード=パーキンス 著

白水社

生産と流通の巨大ネットワークを持つ「文明」が崩壊したとき、人びとの暮らしに何が起きたのか。複雑に専門分化した古代ローマ社会の脆弱さを、史学・考古学双方の研究を駆使して描く。

毎日新聞 2020/10/17

2020/8./ 287p,49p

978-4-560-09784-7

本体 ¥3,600+税





<米中新冷戦>と中国外交～北東アジアのパワーポリティクス～

松本 はる香 編
松本 はる香 著
白水社

「一帯一路」の主導権は果たして中国にあるのか？ 米中関係は「戦争前夜」なのか？
ポスト冷戦期のユーラシア大陸を「米中新冷戦」と中国外交から考える。

日本経済新聞 2020/10/31

2020.9./ 253p,6p
978-4-560-09789-2
本体 ¥2,400+税



キリスト教会史 100 の日付(文庫クセジュ 1038)

ベネディクト・セール 著
白水社

イエスの磔刑から教皇フランシスコの選出まで、2千年の歴史をたどりながら、「教会とは何か」という問いに、多面的なアプローチを試みる。教会史に潜む不都合や逆説的なことなどをあえて掘り出し、教会の様々な相貌を描く。

朝日新聞 2020/10/03

2020.9./ 196p
978-4-560-51038-4
本体 ¥1,200+税



世界の工場廃墟図鑑～環境問題と産業遺産～(フォトミュージアム)

デイヴィッド・ロス 著
原書房

崩れ落ちそうな無人の工場、錆付いた金属の塊や瓦礫、巨大な採掘場跡など、時代遅れとなり放棄された、世界各地の産業施設や工業施設。SF 映画の一場面のような壮大で不気味な表情を 200 点あまりの写真でとらえる。

読売新聞 2020/10/04

2020.6./ 223p
978-4-562-05771-9
本体 ¥5,000+税



エネルギーの物語～わたしたちにとってエネルギーとは何なのか～

マイケル・E・ウェバー 著
原書房

エネルギーは人類とどのようにかかわり進歩してきたか、そして未来はどうなるのか。「水」「食糧」「都市」といった身近な側面から、エネルギーの現在と未来を紹介する。エネルギー問題の「トレードオフ」を考える本。

日本経済新聞 2020/10/31

2020.7./ 315p
978-4-562-05780-1
本体 ¥2,400+税



世界を変えた 100 のスピーチ<上>

コリン・ソルター 著
原書房

力強いメッセージは人々の胸を打ち、聴衆を鼓舞し、ときに世界を動かすことがある。リンカーン、マーク・トウェイン、昭和天皇、エリザベス 2 世などの名演説を、歴史的背景、写真とともに紹介する。

朝日新聞 2020/10/24

2020.9./ 299p
978-4-562-05786-3
本体 ¥2,000+税



世界を変えた 100 のスピーチ<下>

コリン・ソルター 著
原書房

力強いメッセージは人々の胸を打ち、聴衆を鼓舞し、ときに世界を動かすことがある。JFK、ネルソン・マンデラ、マララ・ユスフザイ、スティーブ・ジョブズなどの名演説を、歴史的背景、写真とともに紹介する。

朝日新聞 2020/10/24

2020.9./ 317p
978-4-562-05787-0
本体 ¥2,000+税





アジアをめぐる大国興亡史 1902-1972～中西輝政古稀記念論集～

中西 輝政 著
PHP研究所

京都大学名誉教授・中西輝政の古稀を記念した論集。日英同盟が結ばれた1902年から、アメリカのニクソン大統領が訪中した1972年までのアジアをめぐる列強各国の思惑や動きを検討する。座談会も収録。

2020/9./ 427p
978-4-569-84703-0
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/10/11



夜に駆ける～YOASOBI 小説集～

星野舞夜/いしき蒼太/しなの/水上下波 著
双葉社

「小説を音楽にするユニット」YOASOBIの恋愛ソングの原作小説集。Ayase×ikuraのインタビューも掲載。ikuraの朗読動画を視聴できるQRコード付き。『monogatary.com』掲載を加筆修正。

2020/9./ 195p
978-4-575-24321-5
本体 ¥1,350+税



朝日新聞 2020/10/03



始まりはジ・エンド(双葉文庫 に-03-07)

新津 きよみ 著
双葉社

がんで死と向き合う妹が、病床で姉に託した切なく、愛しい願いとは。人生で出会うさまざまな“終わり模様”をテーマにしたミステリアス短編集。WEBマガジン『カラフル』掲載を文庫化。

2020/9./ 302p
978-4-575-52398-0
本体 ¥630+税



朝日新聞 2020/10/03



漢字の体系

白川 静 著
平凡社

テーマ別の配列で、漢字の繋がりが一目でわかる新しい字書。第一部では「天象」「祭祀」「言語」など65の主題別に約700字、第二部では「安」から「婁」まで277の声符ごとに約1800字をグルーピングして解説する。

2020/9./ 20p,1104p
978-4-582-12817-8
本体 ¥8,000+税



読売新聞 2020/10/18



ぼくが医者をやめた理由(平凡社ライブラリー)

永井明 著
平凡社

立派な医師を目指していた著者が、なぜ医者をやめたのか? 同僚の医師・看護師との親交と軋轢、病院システムの問題点…。実体験に基づくエピソードを真摯かつユーモアたっぷりに描き、医療、そして生と死について再考を促す。

1993/6./ 270p
978-4-582-76013-2
本体 ¥796+税



日本経済新聞 2020/10/03



日本マンガ全史～「鳥獣戯画」から「鬼滅の刃」まで～(平凡社新書 944)

澤村 修治 著
平凡社

草創期から現在に至る日本マンガの主要作家と、「のらくろ」「鉄腕アトム」から「進撃の巨人」「鬼滅の刃」まで、500点以上の作品を一挙紹介。日本マンガの歴史を「物語」として描き出す。

2020/6./ 495p
978-4-582-85944-7
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2020/10/11



コロナ不安に向き合う～精神科医からのアドバイス～(平凡社新書 954)

藤本 修 著
平凡社

長期化するコロナ禍の中で、こころの健康を保つには? ベテラン精神科医が、感染拡大の経過、ストレスの実態、感染者とその家族の心理、関連する精神疾患とその事例、コロナ不安に対処するための方法などを解説する。

読売新聞 2020/10/25

2020/9./ 196p
978-4-582-85954-6
本体 ¥840+税



ぼくは縄文大工～石斧でつくる丸木舟と小屋～(平凡社新書 955)

雨宮 国広 著
平凡社

主に石斧を使って丸木舟や小屋をつくる「縄文大工」。豊富な写真とともに、石斧や黒曜石などの太古の道具でものづくりをすることの面白さを紹介。「縄文暮らし」を実践しながら、原始を生きた人の姿を探る。

日本経済新聞 2020/10/03

2020/9./ 223p
978-4-582-85955-3
本体 ¥860+税



アウグストゥス～虚像と実像～(叢書・ユニベルシタス 1120)

バーバラ・レヴィック 著
法政大学出版局

毀誉褒貶の独裁者の真実とは? ローマ史に燦然と名を残す皇帝アウグストゥス。その政治手法や PR 術に注目しつつ、青年オクタウィアヌスが自らを神話化していった行程を跡づけ、帝政時代の礎がいかにかに築かれたのかを分析する。

毎日新聞 2020/10/10

2020/8./
27p,423p,122p
978-4-588-01120-7
本体 ¥6,300+税



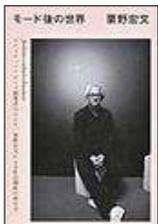
シルバー川柳<10> スクワットしゃがんだままで立てません

公益社団法人全国有料老人ホーム協会／ポプラ社編集部 編
ポプラ社

ばあさんの手づくりマスク息できず 幼な児に戻りて可愛い認知症 AI に尋ねてみたい我が老後 公益社団法人全国有料老人ホーム協会主催「シルバー川柳」の入選作、応募作を収録。

読売新聞 2020/10/04

2020/9./ 124p
978-4-591-16759-5
本体 ¥1,000+税



モード後の世界

栗野 宏文 著
扶桑社

ユニテッドアローズの創業者のひとりである著者が、社会情勢や消費者の動向、政治経済などから「社会潮流(ソーシャルストリーム)」をくみ取り、会社の進むべき道を読み取る力について語る。

東京・中日新聞 2020/10/18、日本経済新聞 2020/10/24

2020/8./ 269p
978-4-594-08573-5
本体 ¥1,500+税



贖いのリミット(ハーパーBOOKS M・ス 2・12)

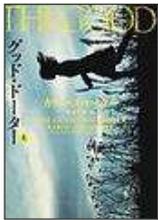
カリン・スローター、田辺 千幸 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

元警官の惨殺死体が発見された。一面血の海だったが、それは現場から姿を消した女のものだと判明する。特別捜査官ウィルは残された銃が別居中の妻アンジーのものとなり動揺する。やがて事件の背後に恐るべき闇が浮かびあがり...

朝日新聞 2020/10/17

2019/12./ 702p
978-4-596-54128-4
本体 ¥1,236+税





グッド・ドクター<上>(ハーパーBOOKS M・ス 2・15)

カリン・スローター 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

弁護士一家を襲った残忍な殺人事件。28年後、辛くも生き残り、父と同じ弁護士になった次女シャーロットは、後悔を抱えながらも前に進んでいた。だが、地元中学校で起きた銃乱射事件が、封印した過去を呼び戻し...

朝日新聞 2020/10/17

2020/9./ 410p
978-4-596-54142-0
本体 ¥891+税



グッド・ドクター<下>(ハーパーBOOKS M・ス 2・16)

カリン・スローター 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

乱射事件で逮捕された十代の少女の弁護を引き受けるのは、父をおいてほかにいない。またしても町中の怒りを向けられるなか、28年前にとまっていた歯車が動き始め、シャーロットはある決断を下し...

朝日新聞 2020/10/17

2020/9./ 412p
978-4-596-54143-7
本体 ¥891+税



エクストリーム・エコノミー～大変革の時代に生きる経済、死ぬ経済～

リチャード・デイヴィス 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

超IT社会のエストニア、超高齢社会の日本、超格差社会のチリ...。未来を先取りした「極限の場所」を徹底取材。それぞれがもつレジリエンスと困難を比較・考察し、経済の脆さと強さを探究する。

日本経済新聞 2020/10/31

2020/10./ 519p
978-4-596-55159-7
本体 ¥2,400+税



歪んだ正義～「普通の人」がなぜ過激化するのか～

大治 朋子 著
毎日新聞出版

「自分は絶対に正しい」と思い込むと、人間の凶暴性が牙をむく。普通の人々が様々な経緯を経て過激化へと突き進むに至るその道のりを、体系的に地図化する試み。テロリズム、通り魔等に共通する暴力のメカニズムを解き明かす。

読売新聞 2020/10/11

2020/8./ 358p
978-4-620-32638-2
本体 ¥1,600+税



空洞のなかみ

松重 豊 著
毎日新聞出版

物書き松重豊、誕生! 軽妙洒脱な筆致で描かれる、演者の心象風景-。「取調室」「ガベル」など短編小説全12編+エッセイ全25編を収録。『サンデー毎日』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2020/10/24

2020/10./ 222p
978-4-620-32646-7
本体 ¥1,500+税



炉辺の風おと

梨木香歩 著
毎日新聞出版

炎に移る孤独はひたひたと一人を満たす。他の誰もいない、自分の生を生きていく。炉辺を含む小屋周り、鳥、植物、小動物...。大転換の時、八ヶ岳の山小屋から<新しい日常>を探る。『毎日新聞』連載をまとめて単行本化。

産経新聞 2020/10/31、毎日新聞 2020/10/31

2020/9./ 287p
978-4-620-32650-4
本体 ¥1,600+税





チーズとうじ虫～16世紀の一粉挽屋の世界像～(始まりの本)

カルロ・ギンズブルグ 著
みすず書房

異端審問記録ほか埋もれた資料を駆使しつつ、近世初期のヨーロッパにおける農民社会の宗教的態度や心性を解明し、民衆文化の深層に迫った現代歴史学の名著。

日本経済新聞 2020/10/24

2012:4./ 360p
978-4-622-08350-4
本体 ¥3,800+税



アウシュヴィッツ潜入記～収容者番号 4859～

ヴァイトルト・ピレツキ 著
みすず書房

アウシュヴィッツへの潜入の目的は2つ。収容所の実態を外に伝え、収容者仲間を組織して武装蜂起に備えること。自ら進んで拘束され、収容所に入ったポーランド将校ピレツキが、上司宛に綴った詳細な報告。

朝日新聞 2020/10/17

2020:8./
54p,386p,40p
978-4-622-08830-1
本体 ¥4,500+税



マーシャル・プラン～新世界秩序の誕生～

ベン・ステイル 著
みすず書房

巨額かつ野心的なマーシャル・プランは、いかにして冷戦という世界秩序を形作り、アメリカの戦後の大戦略に資したのか。アメリカ、ロシア、ドイツ、チェコの新資料を駆使し、その全貌を描く。

日本経済新聞 2020/10/10

2020:8./
12p,519p,161p
978-4-622-08906-3
本体 ¥5,400+税



「第二の不可能」を追え!～理論物理学者、ありえない物質を求めてカムチャツカへ～

ポール・J・スタインハート 著
みすず書房

不可能に挑む研究は最高に面白い! 凄腕の理論物理学者とその仲間たちが、物質科学の新機軸を追い、幾何学、物性物理学、鉱物学などを渡り歩いてカムチャツカへ。上質な研究のスリルと興奮を凝縮した科学ノンフィクション。

日本経済新聞 2020/10/17、毎日新聞 2020/10/24

2020:9./ 365p,8p
978-4-622-08934-6
本体 ¥3,400+税



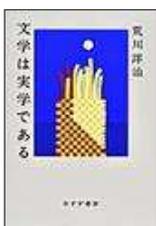
アメリカの世紀と日本～黒船から安倍政権まで～

ケネス・B・パイル 著
みすず書房

米国と密接で特異な関係を結んだ敗戦国日本は、無条件降伏政策の呪縛と米国覇権の時代をどう生きたのか。政治、経済、社会、法律、精神という多方位から容赦なく描き出す。米国きっての日本研究者による、痛切な日本現代史。

毎日新聞 2020/10/10、日本経済新聞 2020/10/31

2020:9./ 458p,54p
978-4-622-08936-0
本体 ¥4,800+税



文学は実学である

荒川 洋治 著
みすず書房

エッセイは虚構ではない。でもわずかな余地がある。ことばと世間、文学と社会、出版と時世に、目を凝らし耳を澄ませてきた現代詩作家、荒川洋治。1992年から2020年までに発表したエッセイより86編を精選し集成。

産経新聞 2020/10/11

2020:10./ 347p
978-4-622-08945-2
本体 ¥3,600+税





テレビジョン～テクノロジーと文化の形成～

レイモンド・ウィリアムズ 著
ミネルヴァ書房

カルチュラル・スタディーズの源流としてのテレビ論の古典を翻訳。20 世紀を代表する批評家・思想家の一人であるレイモンド・ウィリアムズが、实例を通じた精緻な分析によりテレビが与えた変化を問う。訳者による解題付き。

2020/7./ 9p,268p,8p

978-4-623-08848-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2020/10/17



青山二郎～物は一見 人は一口～(ミネルヴァ日本評伝選)

田野 勲 著
ミネルヴァ書房

十代から多額の小遣いを貰い、骨董品を買い漁り、飲む打つ買うの放蕩に耽った青山二郎。柳宗悦、魯山人、小林秀雄、中原中也、白洲正子らとの交流は、美を追い求めた求道者としての生涯にいかに関わったのか、その全貌に迫る。

2020/7./ 10p,361p,5p

978-4-623-09007-5

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2020/10/18



浦上玉堂～白雲も我が閑適を羨まんか～(ミネルヴァ日本評伝選)

高橋 博巳 著
ミネルヴァ書房

幼少の頃より備中鴨方藩に仕えるも、50 歳で武士の身分を捨てて 2 人の息子を伴って脱藩し、七絃琴をたずさえて、全国各地を遊歴。晩年は京都で風流な生活を送った、江戸時代の文人画家の最高峰、浦上玉堂の魅力に迫る。

2020/8./ 20p,333p,8p

978-4-623-09020-4

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2020/10/17



文学で読む日本の歴史<戦国社会篇> 応仁の乱-秀吉・家康

五味 文彦 著
山川出版社

「思潮」とは時代を映し出すものの見方や考え方。「塵塚物語」「信長公記」「フロイス日本史」「徳川実紀」などを通して、政治、社会生活、信仰、文化がどう変化し、新たな動きが生まれたのかを考察する。

2017/9./ 470p

978-4-634-15118-5

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/10/03



文学で読む日本の歴史<近世社会篇> 元和偃武-綱吉・吉宗

五味 文彦 著
山川出版社

内乱や飢饉が続く不安定な社会情勢のなか、人びとはどう動いたのか。「醒睡笑」「折りたく柴の記」「政談」など儒学者の著作から政治の流れを読み取り、ひとつの全体史として捉え直す。

2019/2./ 350p

978-4-634-15148-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/10/03



文学で読む日本の歴史<近代的世界篇> 田沼政権-革命・文明

五味 文彦 著
山川出版社

かつては幕藩制の動揺として叙述されてきたが、最近では近代への動きに着目する形で捉えられてきている 1760 年代以降を対象に、田沼意次の時代から福沢諭吉の登場まで、近代的世界の胎動を描く。完結巻。

2020/8./ 582p

978-4-634-15161-1

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2020/10/03



アイヌと神々の謡〜カムイユカラと子守歌〜(ヤマケイ文庫)

萱野 茂 著
山と溪谷社

「ホタルの婿選び」「ムジナとクマ」「大空に描いたコタン」「怪鳥フリと白ギツネ」...。著者が祖母や村のフチから聞き集めた13のカムイユカラと子守歌を、日本語訳とアイヌ語を併記して収録する。

2020/8./ 485p
978-4-635-04890-3
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2020/10/04



カラスはざる賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か？

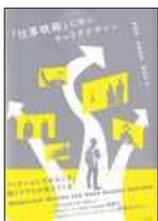
松原 始 著
山と溪谷社

ハゲタカはハゲだから清潔に生きられる、チョウは花だけじゃなく糞にもとまる、一匹狼は孤独を好んでいるわけじゃない...。動物の見た目の誤解、性格の誤解、生き方の誤解について、事例をあげながら生物学的に解説する。

2020/6./ 285p
978-4-635-06294-7
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/10/18



「仕事映画」に学ぶキャリアデザイン

梅崎 修／松繁 寿和／脇坂 明 著
有斐閣

「プラダを着た悪魔」「あゝ野麦峠」など、昭和の名作から最近の娯楽作まで、「仕事映画」作品を取り上げ、諸学問が蓄積してきた理論や、働く現場の最新情報を紹介しつつ、仕事の世界や人々のキャリアデザインを読み解く。

2020/7./ 13p,223p
978-4-641-16569-4
本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2020/10/31



香港の歴史〜東洋と西洋の間に立つ人々〜(世界歴史叢書)

ジョン・M・キャロル 著
明石書店

近年の民主化運動の昂揚により、返還前後以来の大きな注目を集めている香港。少年期を香港で過ごし、中英双方の資料を解説できる著者が、香港の通史を客観的、多角的に描く。

2020/8./ 433p
978-4-7503-5017-2
本体 ¥4,300+税



日本経済新聞 2020/10/10



東アジアのなかの二・八独立宣言〜若者たちの出会いと夢〜

在日韓人歴史資料館 編
明石書店

挑戦独立運動の重大な画期として語り継がれてきた二・八独立宣言。その意義を東アジアという空間の中に位置づけなおす。2019年2月開催のシンポジウムの発表と討議を書籍化。

2020/7./ 217p
978-4-7503-5028-8
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/10/10



移民が導く日本の未来〜ポストコロナと人口激減時代の処方箋〜

毛受 敏浩 著
明石書店

外国人受入れ政策への転換の舞台裏を明らかにするとともに、移民受入れの未来予測を成功例のストーリーとして示す。また、ポストコロナ時代こそ本格的な移民政策への移行のチャンスとして、日本の歩むべき道を提示する。

2020/8./ 213p
978-4-7503-5066-0
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/10/04



飼いならず〜世界を変えた 10 種の動植物〜

アリス・ロバーツ 著

明石書店

ヒトが動植物を手なずけたことで、文明が始まり、歴史が変わった-。考古学や最新の遺伝学の知見等も織り交ぜながら、飼いならした自然と、われわれ自身に対する責任を問い、サピエンスの原罪を鮮やかにあぶり出す。

2020/10./ 443p

978-4-7503-5085-1

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2020/10/31



「母と息子」の日本論

品田 知美 著

亜紀書房

成績がよいことですべてが免罪される男たち。それを支える母と息子の濃密な関係が日本社会の基層を作っている。教育ママ、ひきこもりなど、母と息子の関係性をものさしとして、日本社会のいまを考える。

2020/7./ 250p

978-4-7505-1649-3

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/10/24



それでもあなたを「赦す」と言う〜黒人差別が引き起こした教会銃乱射事件〜 (亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-11)

ジェニファー・ベリー・ホーズ 著

亜紀書房

全米が震撼した白人至上主義者による黒人信徒殺害事件。生存者と遺族らはなぜ早々に犯人を「赦す」と言ったのか? 根深い人種差別と信仰の相剋を地元紙記者が生々しく描き出したノンフィクション。

2020/7./ 453p 図版 16p

978-4-7505-1653-0

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/10/03



地下世界をめぐる冒険〜闇に隠された人類史〜 (亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ III-12)

ウィル・ハント 著

亜紀書房

私たちはみな、心に洞窟を持っている-。ニューヨークの地下鉄、パリの地下納骨堂、カッパドキアの地下都市など、世界中の「光なき世界」を渉猟し、人類の歴史と闇への畏怖に思いを馳せたノンフィクション。

2020/8./ 293p

978-4-7505-1659-2

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/10/17、日本経済新聞 2020/10/17



日本語を、取り戻す。

小田嶋 隆 著

亜紀書房

この 10 年間、政権を担った総理大臣の口から漏れ出す日本語はあまりにも空疎だった...。世の中を真摯にそして斜めに睨みつつける著者が、雨後の筍のごとく湧いて出る様々な問題を、舌鋒鋭く、ユーモアいっぱいにとり捨てる。

2020/9./ 311p

978-4-7505-1660-8

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/10/17、東京・中日新聞 2020/10/18



山と獣と肉と皮

繁延 あづさ 著
亜紀書房

自然の命を殺して、食べて、生きる。長崎と佐賀の里山で狩猟者と過ごした時間、獣の死と皮革にまつわる「穢れ」の考察、そして野生肉をめぐる思索と料理の記録。ウェブマガジン『あき地』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2020/10/31

2020/9./ 238p
978-4-7505-1664-6
本体 ¥1,600+税



ルース・ベイダー・ギンズバーグ～信念は社会を変えた！～

ジェフ・ブラックウェル／ルース・ホプディ 編
あすなろ書房

その揺るがぬ信念を支えるものとは？ 女性弁護士が全米にまだ3%しか存在しない時代に法曹界を志し、不屈の闘志で平等の実現に人生を捧げてきたルース・ベイダー・ギンズバーグのインタビューなどを収録する。

毎日新聞 2020/10/17

2020/10./ 85p
978-4-7515-3003-0
本体 ¥1,000+税



真鍋博の世界～Hiroshi Manabe Works 1932-2000～

パイインターナショナル

愛媛県美術館開催の「没後 20 年真鍋博 2020」図録。イラストレーター・エッセイストとして活躍した真鍋博の初期の油彩から広告・装幀まで、後世に残したい作品を多数収録。谷川俊太郎の寄稿、林明子インタビューも掲載。

朝日新聞 2020/10/17

2020/9./ 255p
978-4-7562-5406-1
本体 ¥3,600+税



日本人建築家が建てた、海外の美しい建築

パイ インターナショナル 編
パイインターナショナル

エストニア国立博物館、ニューヨーク近代美術館、台中国家歌劇院、紙の聖堂、シンガポールフライヤー、天津図書館…。若手から大御所まで、日本の有名建築家が手掛けた、海外の美しい建築物を紹介します。

朝日新聞 2020/10/24

2020/10./ 118p
978-4-7562-5421-4
本体 ¥1,850+税



ザ・フィンランドデザイン～自然が宿るライフスタイル～

パイ インターナショナル 編
パイインターナショナル

フィンランドが近代化していく時代のデザインの歩みとその精華を、テキスタイルやガラス工芸作品を中心に、陶磁器や家具類、様々な絵画、写真資料とともに紹介する。2020年10月～2022年1月開催の展覧会図録。

朝日新聞 2020/10/31

2020/10./ 287p
978-4-7562-5422-1
本体 ¥2,600+税



BIG BUSINESS～巨大企業はなぜ嫌われるのか～

タイラー・コーエン／飯田 泰之 著
NTT出版

いま、あえて大企業を擁護する。経済学者のタイラー・コーエンが、「企業に対するいわれなき批判」に対して事実と明快なロジックで反証。コロナ後の世界における大企業の存在意義を明らかにする。

日本経済新聞 2020/10/03

2020/7./ 3p,333p
978-4-7571-2380-9
本体 ¥2,700+税





ひとのことばの起源と進化(開拓社言語・文化選書)

池内 正幸 著
開拓社

ひとのことばの本質的特徴とは何であり、動物のことばとどう違うのか。人類はいつ、どのようにしてことばを獲得したのか。言語学の視点をベースに、言語の起源・進化研究の学際的知見を駆使し、易しく解き明かす。

2010:6./ 193p
978-4-7589-2519-8
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/10/25



天国酒場
パリッコ 著
柏書房

川のほとりのパラダイス、山上の回転喫茶、地下街の迷宮店、線路際に佇むおでん屋台…。日常の隣にある非日常空間の酒場を紹介する。データ:2020年8月現在。web マガジン『かしわもち』連載を加筆し書籍化。

2020:9./ 183p
978-4-7601-5148-6
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/10/31



世界のカエル大図鑑
ティム ハリデイ 著
柏書房

世界で7000種以上が知られるカエルの中から600種のカエルを取り上げ、分布図、イラスト、同定法、生態、保全状況と共に紹介。すべての種に実物大カラー写真を掲載する。用語集、和名・学名・科名索引も収録。

2020:9./ 656p
978-4-7601-5235-3
本体 ¥10,000+税



読売新聞 2020/10/11



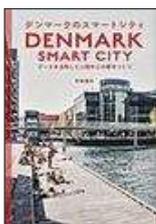
世界は幾何学で作られている
アミーア アレクサンダー 著
柏書房

ユークリッド幾何学を取り上げ、現実から離れたアイデアの世界にあった数学が、近世や近代に現実世界を支配する法則を代表する原理として、絵画、造園、都市計画などの文化の領域に具体化される様子を示す。

2020:8./ 367p
978-4-7601-5258-2
本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2020/10/10



デンマークのスマートシティ〜データを活用した人間中心の都市づくり〜
中島 健祐 著
学芸出版社

人々の活動が生み出すビッグデータが、交通、エネルギー、金融、医療、福祉、教育等のオープンイノベーションを実装するデンマーク。日本に役立つと考えられるデンマークの社会システムを紹介する。

2019:12./ 287p
978-4-7615-2728-0
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/10/10



アイヌの祈り
堀内昭彦 著
求龍堂

写真家・堀内昭彦が北海道をくまなく巡り、アイヌが大自然の中でカムイに祈りと舞を捧げる姿を捉える。現代においてアイヌ文化を守るため、懸命に生きるアイヌの真の姿を伝える。

2020:8./ 142p
978-4-7630-2018-5
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/10/10、読売新聞 2020/10/11



生き方～人間として一番大切なこと～

稲盛 和夫 著
サンマーク出版

人間として正しい生き方を志し、ひたすら貫きつづける。それが、いま私たちにもっとも求められている。混迷の時代に打ち込む、「生き方」という一本の杭。京セラとKDDIを創業した著者が語りつくす、人生哲学の集大成。

2004/7./ 246p
978-4-7631-9543-2
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/10/17



クロマトピア～色の世界～

デヴィッド・コールズ 著
グラフィック社

鉱石、有毒金属、昆虫など、人間は絵を描くために、ありとあらゆるものから「色」を取り出してきた。錬金術から偶然の出会いや失敗まで、驚くべき方法で生まれた古今の顔料 50 種以上の物語を豊富な写真とともに紹介する。

2020/9./ 15p,223p
978-4-7661-3352-3
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/10/31



「うたのことば」に耳をすます

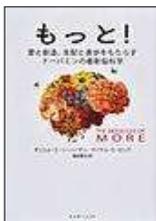
久保田 淳 著
慶應義塾大学出版会

万葉から現代まで、歌に通底するものとはなにか。中世和歌研究の第一人者が、「和歌と短歌」「西行と定家」などをテーマに、歌の研究の具体的な事例をやさしく語るエッセイ集。『學士會会報』『磔』ほか掲載を書籍化。

2020/9./ 425p,15p
978-4-7664-2698-4
本体 ¥4,500+税



読売新聞 2020/10/25



もっと!～愛と創造、支配と進歩をもたらすドーパミンの最新脳科学～

ダニエル・Z・リーバーマン／マイケル・E・ロング 著
合同出版

ドーパミンは、快楽物質ではない。欲求ドーパミンが<期待>を駆り立て、制御ドーパミンが<達成への力>をもたらすのだ。人々を熱愛・冒険・創造・成功に駆り立て、人類の運命をも握るドーパミンを、最新脳科学で解明する。

2020/9./ 341p
978-4-7726-9570-1
本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2020/10/17



世界に続く道～IAEA 事務局長回顧録～

天野 之弥 著
かまくら春秋社

2019年7月に永眠した IAEA 事務局長・天野之弥の回顧録。戦争直後に神奈川県に生まれ、東京大学に進み、外務省に入り、IAEA 事務局長になるまでに起こった出来事をありのままに記す。

2020/7./ 285p
978-4-7740-0811-0
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2020/10/18



拝啓パンクスノットデッドさま(くもんの児童文学)

石川宏千花 著
くもん出版

高校 1 年生の晴己は、中学 2 年生の弟・右哉と、多摩地区のはずれの古アパートで暮らしている。ギリギリの生活を送る兄弟には、心の支えとなる音楽・パンクロックと、「いつか兄弟でバンドを組む」という夢があった…。

2020/10./ 223p
978-4-7743-3079-2
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/10/31



ハロウィンのかぼちゃをかざろう

パトリシア・トート 著

BL出版

もうすぐハロウィン。かぼちゃを買ってきて、中身をかきだして、顔のかたちに切り抜いて、中に火をつけたら…。ジャックオランタンをつくる家族の物語を読みながら、ハロウィンの楽しみ方がわかる本。

産経新聞 2020/10/18

2020/9./ [34p]

978-4-7764-0972-4

本体 ¥1,600+税



これからの時代を生き抜くための生物学入門

五箇公一 著

辰巳出版

異色の生物学者による大人向けの生物学入門講義。人間の性行為の特異性や嫉妬心の進化的考察、差別やいじめの問題、遺伝子優生論や LGBT に対する考え方など、人間社会に潜む歪みやジレンマとその原因を生物学的に分析する。

朝日新聞 2020/10/24

2020/9./ 253p

978-4-7778-2054-2

本体 ¥1,500+税



ルポ新大久保～移民最前線都市を歩く～

室橋裕和 著

辰巳出版

人口の 35%が外国人! “よそもの”によって作られ、常に変貌し続ける街・新大久保。ふたつの世代の韓国人たち、4 か国合同の「新大久保フェス」…。気鋭のノンフィクションライターが、多文化都市の 1 年間を活写する。

産経新聞 2020/10/18

2020/9./ 366p

978-4-7778-2356-7

本体 ¥1,600+税



ルポ新大久保 移民最前線都市を歩く

室橋 裕和 著

辰巳出版

新大久保の面白さや問題点、外国人達の素顔や生活などのエピソードを掲載！カオスの街、国際都市と呼ばれる本当の姿を描いていきます

産経新聞 2020/10/18

2020/9./ 320p

978-4-7778-2575-2

本体 ¥1,600+税



『こち亀』社会論～超一級の文化史料を読み解く～

稲田 豊史 著

イースト・プレス

「こち亀」は現代の浮世絵だ！庶民の金回り、地価変動と田舎デイス、サブカルチャーの地位と文化系ヒエラルキー…。大衆社会を定点観測し続けた国民的漫画「こち亀」の連載 40 年の偉業から、昭和～平成日本の歩みを追う。

日本経済新聞 2020/10/03、東京・中日新聞 2020/10/04

2020/9./ 359p

978-4-7816-1918-7

本体 ¥1,700+税



学名で楽しむ恐竜・古生物

土屋 健 著

イースト・プレス

神話にちなんでいたり、有名な映画に由来があったり…。学名の元ネタがわかると、古生物はもっとおもしろい！ 124 種類の古生物の学名を 50 音順に並べ、学名の意味とその背景を紹介する。イラストも掲載。

朝日新聞 2020/10/10、読売新聞 2020/10/25

2020/9./ 324p

978-4-7816-1920-0

本体 ¥1,800+税





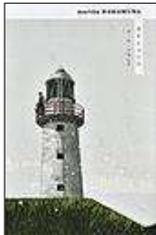
それでも音楽はまちを救う(イースト新書 126)

八木良太 著
イースト・プレス

日本各地でさまざまな音楽イベントが生まれ、活況を呈している。「加賀温泉郷フェス」などの事例を取り上げ、詳細な調査で地域再生の現場に迫る。音楽イベントのリスクマネジメントや、コロナ禍との闘いも収録。

読売新聞 2020/10/04

2020.8./ 223p
978-4-7816-5125-5
本体 ¥860+税



雨をよぶ灯台 新装版

マーサ・ナカムラ 著
思潮社

やがて明るい水星が見えてくる 初めは蛍のように小さく揺れていた水星が 徐々に山のように大きくなる(「新世界」より) 影も形もないものが、光をひろげ、流れをつくる。そんな夢のような作品を取めた詩集。

朝日新聞 2020/10/24

2020.6./ 99p
978-4-7837-3700-1
本体 ¥2,000+税



戦国時代は何を残したか～民衆の平和・神仏への思い・自然開発～

笹本 正治 著
信濃毎日新聞社

戦国という時代を経て、社会はどのように変わったのか。日本の歴史のターニングポイントであった戦国時代が今を生きる我々に残したものを探りつつ、現代の課題を考える。

読売新聞 2020/10/25

2020.7./ 300p
978-4-7840-7366-5
本体 ¥1,700+税



エリートたちの反撃～ドイツ新右翼の誕生と再生～

フォルカー・ヴァイス 著
新泉社

行き過ぎたリベラリズムはドイツを滅ぼすか? 新右翼、エリート、遺伝や人種と没落との関係…。大衆の台頭がエリートを失墜させ、移民流入が民族に危機をもたらすと唱えるドイツの「没落の預言者」たちの系譜を辿る。

朝日新聞 2020/10/03、毎日新聞 2020/10/10

2020.7./ 293p
978-4-7877-2013-9
本体 ¥2,500+税



プライバシーの誕生～モデル小説のトラブル史～

日比 嘉高 著
新曜社

島崎藤村や芥川龍之介、三島由紀夫「宴のあと」、柳美里「石に泳ぐ魚」などのモデル小説を取り上げ、「表現の自由」と私的領域との相克を追い、「プライバシー」概念の成立と小説のゆくえを考える。

日本経済新聞 2020/10/03

2020.8./ 306p
978-4-7885-1685-4
本体 ¥2,900+税



京都発・庭の歴史

今江 秀史 著
世界思想社

京都御所、天龍寺、桂離宮、円山公園…。文化財保護に長年携わってきた哲学研究者が、平安から現代までの千年の庭の歴史をガイド。見た目や美しさだけでなく、知られざる使われ方に注目し、庭の本性を浮き彫りにする。

毎日新聞 2020/10/17

2020.7./ 5p,220p
978-4-7907-1743-0
本体 ¥2,400+税





加藤楸邨全句集 上・下巻セット分売不可

加藤 楸邨 著
青土社

編集委員＝大岡信・中村稔・長谷川權・加藤徳高 全ての句集を刊行順に掲載したうえで、各句集ごとに収録句の類似句の変遷をたどる「注釈」と、句集に収録されなかった句を掲載した「拾遺」を付す。未収録句約 3800 句を含め、約 13500 句を収録した決定版全句集。付録として詳細な年譜、校歌、連句などを収録。(刊行の辞: 中村稔 解説: 長谷川權) 矢島渚男氏 推薦「楸邨は死の際まで俳句と苦闘し続けた作家である。その句業は寒雷俳句会編の『加藤楸邨全句集』があるが、この新全集は各句集ごとに膨大な拾遺句を収め、名実ともに全句集となる。混沌たる心の奥底から生れ出る楸邨俳句の本質は一つの発想、あるいは生涯のテーマを執拗に繰り返しつつ次第に深まってゆくところにあった。その脈を辿ることで原点や発展を知ること役立つに違いない。未知の脈にはどんな珠玉が眠っているかもしれない。それを探すのも楽しみである。」 三浦雅士氏 推薦「現代において加藤楸邨ほど自己像を俳句／文学に溶け込ませた文学者はいない。そういう意味では楸邨こそ自己像を核とする近現代文学をもっともよく体現していたのである。芭蕉とは決定的に違っていたのだ。元禄と昭和。芭蕉と楸邨。いまや芭蕉の時代と対比して楸邨の時代を徹底的に語らなければならないときに来ている。俳句の未来、文学の未来を測るために。」

2020/7./ 900p
978-4-7917-7271-1
本体 ¥24,000+税



日本経済新聞 2020/10/24、朝日新聞 2020/10/25



加藤楸邨全歌集

加藤 楸邨 著
青土社

俳人楸邨は歌人としても卓越した才能を持ち、多くの秀詠を遺した。講談社刊「加藤楸邨全集」所収の作品のほか、新たな調査で公表が確認された作品、日本近代文学館収蔵作品のすべてを収録。

2020/7./ 285p
978-4-7917-7272-8
本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2020/10/25



車椅子の横に立つ人〜障害から見つめる「生きにくさ」〜

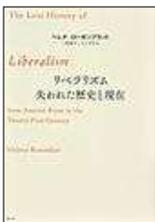
荒井 裕樹 著
青土社

障害者について語りにくさを伴う社会の中で、障害者本人たちは、自身が抱える生きにくさをどういった言葉で語るのだろうか。自らの生きにくさを形にした人びとをめぐって、社会を問い返す。

2020/7./ 229p
978-4-7917-7290-2
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/10/03



リベラリズム失われた歴史と現在

ヘレナ・ローゼンブラット 著
青土社

道徳的価値への献身、他者に対する寛大さと慈善、社会の連帯への寄与-人種や性を問わないリベラリズムとは? 古代ローマから現代に至るリベラリズムの展開を、欧米を舞台に描く。詳細な訳者解説付き。

2020/7./ 369p,22p
978-4-7917-7291-9
本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2020/10/31



何はなくとも三木のり平～父の背中越しに見た戦後東京喜劇～

戸田 学 編
小林 のり一 著
青土社

役者で演出家で、とびっきり上等な喜劇人、三木のり平。日本喜劇人協会設立、明治座公演、中村翫右衛門との共演、「桃屋」CM など、その通史を息子が語る。公演の上演録音が視聴できる QR コード付き。

2020.9./ 427p
978-4-7917-7308-4
本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2020/10/10



私はヒトラーの秘書だった(草思社文庫 ユ 1-1)

トラウデル・ユング 著
草思社

ヒトラーの魅力に屈することがどんなにたやすいことか、大量殺人者に仕えていたという自覚を持って生きてゆくことがどんなに苦しいことか。ヒトラーの秘書による、その意外な素顔と交流を収めた戦後まもない手記を公開。

2020.8./ 413p
978-4-7942-2464-4
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2020/10/03



すこやかな服

マール コウサカ 著
晶文社

「健康的な消費のために」という姿勢のもと、実店舗を持たずに全国各地で試着会を開催し、ネットのみで服を販売する異色のブランド「foufou(フーフー)」。大注目のファッションブランドデザイナーが、その想いを語る。

2020.9./ 189p
978-4-7949-7194-4
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/10/17



データ農業が日本を救う(インターナショナル新書 056)

窪田 新之助 著
集英社インターナショナル

転換期にある日本の農業は、ポスト・コロナ時代にどうなる? 作って農協に卸すだけの従前のシステムが揺らぎ、「データ農業」の時代が到来する。オランダから北海道まで、先鋭的な取り組みを取り上げ、日本農業の未来を探る。

2020.8./ 221p
978-4-7976-8056-0
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/10/10



ダ・ヴィンチ、501年目の旅(インターナショナル新書 057)

布施 英利 著
集英社インターナショナル

ダ・ヴィンチが死して 501 年。21 世紀の今、「万能の天才」はどういうイメージで受け止められているのか? 美術批評家が、いやまず魅力といまだ解けぬ謎を追って、節目の年に開催される展覧会やゆかりの地を巡る。

2020.8./ 277p
978-4-7976-8057-7
本体 ¥920+税



朝日新聞 2020/10/17



平成・令和食ブーム総ざらい～何が食べたいの、日本人?～(インターナショナル新書 059)

阿古 真理 著

集英社インターナショナル

目まぐるしい流行現象が起きた平成時代～令和初頭の 2020 年の食のトレンドから、時代の流れが見えるものをピックアップし、私たちが生きている時代について考える。『クックパッドニュース』連載に書き下ろしを加える。

2020:10./ 189p
978-4-7976-8059-1
本体 ¥800+税



読売新聞 2020/10/18



迷える英語好きたちへ(インターナショナル新書 060)

鳥飼 玖美子/斎藤 兆史 著

集英社インターナショナル

通じないカタカナ英語、小学校の英語授業、大学入試への英語民間試験導入…。英語教育のエキスパートが、現場の声が反映されない教育政策の矛盾に切り込み、不可解なカタカナ英語に翻弄される学習者たちの疑問・不安に応える。

2020:10./ 221p
978-4-7976-8060-7
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/10/31



日本のイノベーションのジレンマ～破壊的イノベーターになるための 7 つのステップ～ 第2版

玉田 俊平太 著

翔泳社

「破壊的イノベーション」が起こるメカニズムをわかりやすく解説し、「テレビ」「携帯電話」「カメラ」のイノベーションの歴史を分析。そして、破壊的イノベーションを起こす方法を具体的に述べる。

2020:8./ 311p,7p
978-4-7981-6638-4
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/10/31



菌根の世界～菌と植物のきってもきれない関係～

齋藤 雅典 著

築地書館

内生菌根・外生菌根・ラン菌根など、それぞれの菌根の特徴、観察手法、最新の研究成果、菌根菌の農林業、荒廃地の植生回復への利用…。日本を代表する菌根研究者 7 名が、多様な菌根の世界を写真や図を交えて総合的に解説する。

2020:9./ 243p
978-4-8067-1606-8
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/10/24



ひきこもれ～ひとりの時間をもつということ～ 新装版(SB新書 519)

吉本隆明 著

SBクリエイティブ

「ひきこもり」はよくない。ひきこもっている奴は、なんとかして社会に引っ張り出したほうがいいという考えに、ぼくは到底賛同できない。思想界の巨人・吉本隆明が、孤独、コミュ障、いじめ、才能について論じる。

2020:9./ 168p
978-4-8156-0458-5
本体 ¥860+税



毎日新聞 2020/10/17



捨てられる宗教～葬式・墓・戒名を捨てた日本人の末路～(SB 新書 518)

島田裕巳 著
SBクリエイティブ

未曾有の長寿社会が生んだ信仰ゼロの時代。今、社会で何が起きているのか。誰もが逃れられない生き死にの問題とどのように向き合っていけばいいのか。新型コロナウイルスによって突きつけられた問題の深層を解き明かす。

2020/9./ 244p
978-4-8156-0556-8
本体 ¥880+税



朝日新聞 2020/10/10



黒船来航と琉球王国

上原 兼善 著
名古屋大学出版会

19世紀、次々と現れる列強の要求にさらされ、「鎖国」の防波堤とされた琉球の人々。欧米諸国の「外圧」と日本の「内圧」との狭間で、自国の存立をかけ必死に外交交渉を展開する<境域>の小国の姿を浮かび上がらせる。

2020/8./ 6p,352p,10p
978-4-8158-0995-9

本体 ¥6,300+税



朝日新聞 2020/10/24



闘う村落～近代中国華南の民衆と国家～

蒲 豊彦 著
名古屋大学出版会

互いに武力闘争を繰り返す「闘う村落」。それは明末以来の基層社会の姿であり、共産主義へと向かう農民運動の凄惨な暴力に極まる。宣教師文書を駆使しつつ、その生成・展開・終焉を跡づけ、新たな中国史像を提示する。

2020/9./
7p,380p,114p
978-4-8158-0998-0

本体 ¥7,200+税



読売新聞 2020/10/25



イスラーム・ガラス

真道 洋子 著
名古屋大学出版会

古来のガラス文化を統合して成立し、近代芸術にも大きな影響を与えたイスラーム・ガラス。その器形や成形・装飾技法から、美術工芸としての展開、各国への伝播まで、豊かな物質文化の全体像を紹介する。カラー図版も多数収録。

2020/9./ 6p,416p 図
版 72p
978-4-8158-1001-6

本体 ¥7,200+税



朝日新聞 2020/10/17



キリン解剖記

郡司 芽久 著
ナツメ社

キリンが亡くなりました。クリスマスも正月も、訃報で予定をキャンセルし…。これまでに 30 頭のキリンを解剖し、「8 番目の“首の骨”」を見つけた著者が、キリンとの出会い、探求、発見の日々を綴る。

2019/7./ 215p
978-4-8163-6679-6
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2020/10/17



日本人は論理的でなくいい

山本尚 著
産経新聞出版

日本人の民族性は内向型で、感覚型で受け止め、フィーリング型で対処する。日本人の利点と欠点の両方を理解すれば、日本人に有利な生き方と仕事の仕方を見つけることができる。世界のトップ科学者による日本人論と発想法。

2020/10./ 238p
978-4-8191-1391-5
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/10/25



聖書(新共同訳 NI65ZTI エンジ) 大型ジッパー・サムインデックスつき

共同訳聖書実行委員会／日本聖書協会 編
日本聖書協会

エンジ色の地に金箔の模様が縦に入った表紙が、本体と一体のジッパーつきカバーになっています。小口にサムインデックス(指掛け見出し)が彫られ、目的の書が開きやすい聖書です。小口色づけはありません。旧約聖書と新約聖書の66巻が収められています。本文は、18年の歳月をかけて翻訳され、1987年に発行された新共同訳。新共同訳は、カトリック教会とプロテスタント諸教会の祈りと、70人余りの聖書学者の英知の結集で、30年以上、日本の殆どのキリスト教主義学校で教科書として採用されてきました。わかりやすい日本語であることはもちろん、典礼、礼拝に用いられるのにふさわしい、力強く格調高い訳文としても知られています。スタンダード版の大型聖書NI64と、全く同じ縦組・10ポイントで、より薄い本文紙を使って軽量化をはかったことも特長の一つです。

2017:10./ 2080p
978-4-8202-1339-0
本体 ¥7,200+税



日本経済新聞 2020/10/17



昭和史の隠れたドン～唐獅子牡丹・飛田東山～

西 まさる 著
新葉館出版

唐獅子牡丹シリーズで有名な飛田東山のもとには大物政治家や軍人、フィクサーと呼ばれた人物たちが訪れ、時に国の未来も託された。日本の権力の暗部に入りし東山はなぜ昭和史の表舞台から消されたのか、その謎に迫る。

2020:9./ 321p
978-4-8237-1036-0
本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2020/10/18



言語の起源～人類の最も偉大な発明～

Daniel L. Everett 著
白揚社

言語はいつ、誰が最初に使いはじめたのか。人はどのように言語を獲得したのか。ピダハン語の研究で世界を震撼させた、異端の言語学者が、言語学、人類学、考古学、脳科学の知見をもとに言語の起源をめぐる謎に挑む。

2020:7./ 446p
978-4-8269-0220-5
本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/10/25



萩尾望都紡ぎつづけるマンガの世界～女子美での講義より～

萩尾望都 著
ビジネス社

漫画家・萩尾望都の女子美術大学での講義録。細密なヨーロッパ歴史絵巻から、独創的なSFまで、マンガ人生を振り返り、創作活動の源泉を語る。宇宙飛行士・山崎直子、シンガーソングライター・イルカらとの対談も収録。

2020:8./ 207p
978-4-8284-2202-2
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/10/18



3年後に世界が中国を破滅させる～日本も親中国国家として滅ぶのか～

島田洋一 著
ビジネス社

デモや暴徒による破壊活動が拡大する米国。その裏にはトランプつぶしを図る左翼と親中派の陰謀があるのではないかと。世界支配をもくろむ中国と国内の親中派と日本とアメリカはどう戦えばいいのか。国際政治学者が徹底分析する。

2020:8./ 222p
978-4-8284-2208-4
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/10/18



わさびの日本史～鮓・蕎麦・刺身...和食との出会いを探る～

山根 京子 著
文一総合出版

日本固有の野生植物「ワサビ」は、いつ、どこで、どのようにして栽培植物になったのか。DNA 解析でワサビが固有種であることを明らかにした著者が、古典籍と絵画を渉猟してその謎に挑む。わさび歴史年表付き。

2020/7./ 240p
978-4-8299-7233-5
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2020/10/04



TOOLS and WEAPONS～テクノロジーの暴走を止めるのは誰か～

ブラッド・スミス／キャロル・アン・ブラウン 著
プレジデント社

マイクロソフトの“法の守護神”が語る、デジタル時代の自由と正義。サイバーセキュリティ、デジタル外交、消費者のプライバシーなど多岐に渡る 15 のテーマに切り込み、テクノロジーをめぐる喫緊の課題に迫る。

2020/8./ 431p,31p
978-4-8334-2383-0
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/10/24



ねられんねられんかぼちゃのこ(福音館の幼児絵本)

やぎゆうげんいちろう 著
福音館書店

お月さんが「はやくねなさい」といいます。でも、かぼちゃの子は頭の上にかえるが乗っていて「ねられん、ねられん」といって…。安心して眠りにつくまでの、かぼちゃの子とお月さんのやりとりが楽しい絵本。

2020/9./ 23p
978-4-8340-8567-9
本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/10/31



ぼくは挑戦人

ちゃんへん。／木村 元彦 著
ホーム社

在日差別に苦しんだ中学2年の少年は、ある日ジャグリングと出会い、高校卒業後は世界的パフォーマーとして活躍し…。さまざまな国を回り、自らのアイデンティティと向き合い続けたプロパフォーマーの長い旅の軌跡。

2020/8./ 236p
978-4-8342-5338-2
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/10/17



Gafa という悪魔に

ジャック・セゲラ 著
緑風出版

Gafa(グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン)の目的は、情報を集積・支配し、物品の購買や趣味・嗜好に関して、依存的な精神状態を作り出すこと。彼らとどう向き合えばよいかを論じる。

2020/9./ 221p
978-4-8461-2016-0
本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2020/10/11



マルジナリアでつかまえて<書かずば読めぬの巻>

山本 貴光 著
本の雑誌社

余白の書き込み「マルジナリア」。著名人から無名の痕跡、プログラミングのコメントまで、広くて深いマルジナリアの面白さを追う。『本の雑誌』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020/7./ 309p,8p
978-4-86011-445-9
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/10/04



誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が身につけるべきこと(i-BOSAIブックレット No.1)

立木茂雄 著

萌書房

災害時、高齢者や障がい者など、支援の手が届きにくい人たちの被害を最小限に留めるには。防災と福祉の考え方、災害時ケアプラン調整会議の実施など、防災に向けて福祉関係者が身につけておきたいことを伝える。

2020/9./ 94p
978-4-86065-140-4
本体 ¥800+税



毎日新聞 2020/10/17



荒木経惟、写真に生きる。

荒木経惟 著

青幻舎

写真が好きだった親父、写真家にしてくれた陽子、恩師・桑原甲子雄やビートたけし、ロバート・フランク、草間彌生との出会い…。アラキーの写真人生を出会いとともに語る。年譜、撮り下ろし写真「傘寿いとし」も収録。

2020/5./ 226p
978-4-86152-785-2
本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2020/10/11



日本を開国させた男、松平忠固～近代日本の礎を築いた老中～

関良基 著

作品社

誰よりも海外情勢を認識し、開国・交易を推進する一方、養蚕業の輸出の基盤を造った松平忠固。日本開国の歴史的真相、そして松平忠固の実像を、日記などの第一次史料を駆使して明らかにする。

2020/7./ 268p
978-4-86182-812-6
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/10/17



戦後日本、記憶の力学～「継承という断絶」と無難さの政治学～

福間 良明 著

作品社

私たちが向きあうべき戦争の記憶とは何か。霊園・戦跡・モニュメント・新聞・映画・小説・手記など、さまざまなメディアをとおして、戦争記憶の「継承という断絶」が生み出される社会背景やメカニズムを解明する。

2020/7./ 333p,7p
978-4-86182-814-0
本体 ¥2,700+税



産経新聞 2020/10/04



宮沢賢治大活字本シリーズ<4> 注文の多い料理店

宮沢 賢治、三和書籍 編

宮沢 賢治 著

三和書籍

ぴかぴかの鉄砲を担いで、山へ狩りに出かけ、道に迷った 2 人の紳士。山奥で見つけた西洋料理店「山猫軒」に入った彼らの運命は…。 「注文の多い料理店」など、宮沢賢治の作品を大活字、読み仮名付きで収録。

2020/1./ 3p,439p
978-4-86251-383-0
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2020/10/10



歩く大阪・読む大阪～大阪の文化と歴史～

平田 達治 著
鳥影社

大阪とは何者なのか? 独自の町人文化を創りあげた大阪。井原西鶴、森鷗外、織田作之助など作家たちが描く食と夜の街の作品を読み、その舞台を歩いて大阪の精神を探る。

2020:8./ 479p
978-4-86265-828-9
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2020/10/24、読売新聞 2020/10/25



用事のない旅(わたしの旅ブックス 006)

森 まゆみ 著
産業編集センター

『谷根千』の編集人として活躍し、数多くの文芸作品を上梓してきた著者が、これまでの長い作家活動の中で、埋もれていた旅に関する文章を再収録。さまざまな旅を重ねてきた練達の作家による旅の随想・紀行文集。

2019:1./ 231p
978-4-86311-209-4
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/10/31



会いにゆく旅(わたしの旅ブックス 019)

森 まゆみ 著
産業編集センター

旅の余韻は、忘れ得ぬ出会いとともに-。伝説のタウン誌『谷根千』の編集人として活躍し、数多くの作品を上梓してきた著者。これまでの長い作家活動の中で、さまざまな媒体に発表した紀行文を収録する。

2020:1./ 228p
978-4-86311-253-7
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/10/31



本とあるく旅(わたしの旅ブックス 023)

森 まゆみ 著
産業編集センター

名作の舞台、作家の故郷、思いがけない物語との邂逅-。タウン誌『谷根千』の編集人として活躍し、呼吸をするように本を読んできた著者だからこそ感じる「本が織りなす旅の情景」を綴ったエッセイ集。

2020:8./ 239p
978-4-86311-271-1
本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2020/10/31



消えゆく動物～絶滅から動物を守る撮影プロジェクト～(NATIONAL GEOGRAPHIC PHOTO ARK)

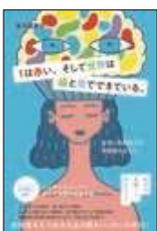
ナショナル ジオグラフィック 編
ジョエル・サートレイ/エリザベス・コルバート 著
日経ナショナルジオグラフィック社

世界の動物園・保護施設で飼育されている動物 1 万 5000 種をすべて写真で記録するプロジェクト「フォト・アーク」。その中から絶滅に瀕する 290 種を掲載し、それぞれの絶滅の可能性について国際自然保護連合の基準を示す。

2020:9./ 400p
978-4-86313-471-3
本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2020/10/24



1は赤い。そして世界は緑と青でできている。～「文字に色が見える」共感覚の話～

望月 菜南子 著
飛鳥新社

九九と百マス計算は、色で覚えて大得意。あいうえお順で並んだ席順は、廊下側がカラフルで窓側が静か。鎌倉幕府の将軍の名前はみんなピンク色だから大混乱…。共感覚をもつ女子大生が、今まで経験してきたエピソードを綴る。

2020:8./ 206p
978-4-86410-772-3
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/10/24



東大なんか入らなきゃよかった〜誰も教えてくれなかった不都合な話〜

池田 溪 著
飛鳥新社

東大うつ、東大プア、東大いじめ...「最強の学歴」があっても生きづらい! 東大卒ライターが徹底取材で明かす、東大と東大生、東大卒業生の表には決して出てこない不都合な話。

産経新聞 2020/10/04

2020.9./ 235p
978-4-86410-784-6
本体 ¥1,364+税



生命の農〜梁瀬義亮と複合汚染の時代〜

林 真司 著
みずのわ出版

昭和という「複合汚染」の時代とは何だったのか。1959年に「農薬の害」を公式に発表し、世界で初めて農薬の人体への悪影響を世に問うた医師、梁瀬義亮が、生涯追い求めた「生命の農法」への軌跡を通して、その実像に迫る。

毎日新聞 2020/10/10

2020.8./ 247p
978-4-86426-045-9
本体 ¥2,000+税



かきがら

小池 昌代 著
幻戯書房

雨みたいにばらばらと人の死が降った。生き残った者は、ツルツルの肌を持つあのひとたちに奉仕した-。パンデミック後の光景、時の層を描いた全 7 編。『群像』『三田文学』掲載等々書き下ろしを加えて単行本化。

日本経済新聞 2020/10/03

2020.8./ 285p
978-4-86488-204-0
本体 ¥2,400+税



椅子クラフトはなぜ生き残るのか

坂井 素思 著
左右社

木製の椅子生産・椅子消費が減少しているなか、椅子クラフトに何を求めるのか。手づくりの小規模生産が生き残るのはなぜか。ものづくりの将来と日本の経済社会を見据え、クラフト経済の現代的課題と強みをさぐる。

毎日新聞 2020/10/03

2020.5./ 244p,10p
978-4-86528-277-1
本体 ¥2,000+税



仕事本〜わたしたちの緊急事態日記〜

尾崎 世界観/町田 康/花田 菜々子 著
左右社

ひとつの仕事は誰かの生活につながり、その生活がまた別の人の仕事を支えている! パン屋、内科医、校長など、緊急事態宣言が出される中、コロナにも負けず働いていた様々な職業の人たち 77 人の 2020 年 4 月の日記を収録。

朝日新聞 2020/10/31

2020.6./ 446p
978-4-86528-283-2
本体 ¥2,000+税



われわれはいま、どんな時代に生きているのか〜岡村昭彦の言葉と写真〜

赤々舎
朝日新聞 2020/10/17

2020.8./ 256p
978-4-86541-101-0
本体 ¥2,500+税



**【CD】真田幸村／日本合戦譚 2 しみじみ朗読文庫**

菊池寛 著
響林社
読売新聞 2020/10/25

2016:7.
978-4-86574-018-9
本体 ¥1,600+税

**ウイルスとは何か～コロナを機に新しい社会を切り拓く～**

中村 桂子／村上 陽一郎／西垣 通 著
藤原書店

生命誌、科学史、情報学の各分野の第一人者による徹底討論！ 新型コロナウイルスをはじめとするウイルスを、歴史的・社会的に考察するほか、地球環境異変の中でのウイルスの意味についても論じる。

2020:10./ 223p
978-4-86578-285-1
本体 ¥2,000+税

毎日新聞 2020/10/31

**人工知能のアーキテクトたち～AIを築き上げた人々が語るその真実～**

Martin Ford 著
オライリー・ジャパン

深層学習の成果、人間レベルの AI の実現の可能性、雇用への影響…。人工知能という領域を、それがもたらす利益や危険性を含めて浮き彫りにする。世界中の著名な AI 研究者や起業家たちへのインタビュー集。

2020:8./ 677p
978-4-87311-912-0
本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2020/10/24

**喫茶の一族～京都・六曜社三代記～**

京阪神エルマガジン社

半世紀以上も愛される、京都・三条河原町のドーナツと珈琲の名店「六曜社珈琲店」。1 階と地下の店主それぞれの個性が共存する独自のありかたは、どう培われていったのか。継ぐ・続けるに向き合った、店と家族のドキュメント。

2020:8./ 208p
978-4-87435-629-6
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2020/10/03、読売新聞 2020/10/04

**江戸人の教養～生きた、見た、書いた。～**

塩村 耕 著
水曜社

市井の暮らし、修養、矜持、哀歓、奇談…。古書ミュージアムとして有名な三河・岩瀬文庫収蔵の 2 万余点から約 150 点をえり抜き、江戸時代に生きた人々の考え、娯楽、健康、生活、風俗を読み解く。

2020:7./ 225p
978-4-88065-484-3
本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2020/10/03

**幻視する(アイヌ)**

佐々木 昌雄 著
草風館

戦後の画期的言論紙である『アヌタライヌ』。その思想的指導を担った佐々木昌雄は、時代に向かってしばしば吠えたけのち、忽然と生きる舞台を変えてアイヌ状況から断絶した。一世を風靡した佐々木の発言のすべてを収める。

2008:8./ 277p
978-4-88323-182-9
本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2020/10/10



痛みのペンリウク～囚われのアイヌ人骨～

土橋 芳美 著
草風館

わしらは祈りの民だ 朝に 夕に カムイ(神)に祈って暮らしてきた。アイヌ史上の過去から現在にいたる深刻な出来事を語り伝えた長編叙事詩。ペンリウクの遺骨について綴った文章も収録。

朝日新聞 2020/10/10

2017:3./ 151p
978-4-88323-199-7
本体 ¥926+税



幕末江戸と外国人(同成社江戸時代史叢書 35)

吉崎 雅規 著
同成社

開港を機に江戸に外国人が住みはじめた。彼らの存在は、江戸という都市とそこに住まう人々にどんな影響を与えたのか。都市江戸は外国人にどう対応したのか。その顛末を、幕末期の江戸の情景を描き出しながら紹介する。

朝日新聞 2020/10/03

2020:8./ 8p,194p
978-4-88621-848-3
本体 ¥2,200+税



雷鳴に気をつけろ

ジム・トンプスン、真崎 義博 著
文遊社

ネブラスカの肥沃な谷と凍てつく川。蝕まれていく日常と南北戦争の記憶…。数多の物語が互いに絡みあい、すれ違いながら同時進行的に語られる、ノワールの鬼才による長編小説。

読売新聞 2020/10/18

2020:9./ 403p
978-4-89257-148-0
本体 ¥2,700+税



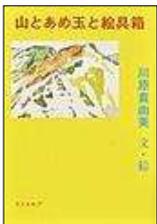
西アフリカ内陸の近代～国家をもたない社会と国家の歴史人類学～

中尾 世治 著
風響社

かつて小規模の国家と国家をもたない社会が広がっていた、西アフリカ内陸のムフン川湾曲部の近代を叙述。国家をもたない社会のなかで国家がいかになじ(そこない)、それがどのような帰結をもたらしたのかを包括的に論じる。

読売新聞 2020/10/18

2020:8./ 604p
978-4-89489-168-5
本体 ¥7,000+税



山とあめ玉と絵具箱

川原 真由美 著
リトル・モア

奥穂高岳の山頂で出会った人、ベランダから見える丹沢の山並み、高尾山で食べる朝食…。陽や雨や雲にきらめく稜線のなかに広がる情景を、綴り描いたエッセイ全 31編を収録。『岳人』『球体』ほか掲載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2020/10/03

2020:9./ 165p
978-4-89815-523-3
本体 ¥1,800+税



砂漠が街に入りこんだ日

グカ・ハン 著
リトル・モア

破滅寸前の世界は、どんな居場所も、手がかりも与えてはくれない。そこは LUOES、幻想都市。顔をなくした人々の群れ。「ルオエス」ほか全 8編を収めた、韓国を離れ渡仏した著者のフランス語による短編小説集。

朝日新聞 2020/10/10

2020:8./ 162p
978-4-89815-525-7
本体 ¥1,800+税





朝鮮人とアイヌ民族の歴史的つながり～帝国の先住民・植民地支配の重層性～

石 純姫 著
寿郎社

文献調査、フィールドワーク等から、朝鮮人とアイヌ民族の知られざる関わりを解明。近代アイヌ史、在日コリアンの形成過程の研究に新たな視点を提示し、帝国主義下に形成された多様で重層的な社会の歴史をも捉えた画期的論集。

2017:7./ 235p
978-4-902269-99-4

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/10/10



使い捨て外国人～人権なき移民国家、日本～(Gleam Books)

指宿 昭一 著
朝陽会

毎日新聞 2020/10/17

2020:4./ 2p,136p

978-4-903059-59-4

本体 ¥1,000+税



荷を引く獣たち～動物の解放と障害者の解放～

スナウラ・テイラー 著

洛北出版

画家、作家、障害者運動と動物の権利運動の担い手である著者が、個人的な体験、さまざまな人びとへのインタビュー、歴史記述、社会・人文学理論などを通して、動物の解放と障害者の解放の深い結びつきを説く。

2020:9./ 443p

978-4-903127-30-9

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/10/03、朝日新聞 2020/10/24



どこにでもあるケーキ

三角 みづ紀 著
ナナログ社

わたしは皆とはちがう 全員がささやかにあらがう でも完全にちがうのはこわい 先生が黒板に数式を書いている 先生も昔は卵だったのだろうか(「孵化する日まで」より) 13歳の日々を描いた33編を収録した第8詩集。

2020:8./ 114p

978-4-904292-95-2

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/10/04、朝日新聞 2020/10/24



共和国と豚

ピエール・ビルンボーム 著
吉田書店

啓蒙の世紀から現代までのフランスにおける豚食の政治史・文化史を通して、近代以降のフランス・ユダヤ人の歴史を読み解くと共に、それを鏡としてフランス共和国の特質を浮き彫りにする。

2020:9./ 279p

978-4-905497-89-9

本体 ¥2,900+税



読売新聞 2020/10/25



【CD】大和路・信濃路 しみじみ朗読文庫

堀辰雄 著
響林社

毎日新聞 2020/10/31

2014:2./ 2枚

978-4-907365-23-3

本体 ¥2,400+税





デザインの本質

田中 一雄 著

ジャパンライフデザインシステムズ

デザインとは何か。デザインはどこへ行くのか。世界屈指の総合デザイン会社「GK デザイン」社長が、時代を超えて生き抜くデザイナーに伝えたいことを説く。デザインの社会的使命、本質的価値を考える5つの視点などを収録。

2020/9./ 223p

978-4-908492-88-4

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2020/10/04



中央沿線の近現代史(CPC リブレ No.14)

永江 雅和 著

クロスカルチャー出版

東京-高尾間を走る中央線。東京の大動脈である中央沿線の今と昔の街並み、乗客、列車、駅を平明に書き記す。各章の冒頭では、その地域に縁のある文学作品の一節を紹介。

2020/10./ 197p

978-4-908823-73-2

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/10/31



土に還る～野辺送りの手帖～

中島美千代 著

ぶねうま舎

いま、死者をいかに遇し、死とどのように向き合うか。故郷の山村で聞いた「この村の土になりたい」という言葉にこもる、いまは遠くなった生き心地を探して集落を歩き、死者を送る場所を訪ね、歴史に残る信仰の跡を探った記録。

2020/7./ 219p

978-4-910154-07-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/10/04



フランスの小さな村を旅してみよう(かもめの本棚)

木蓮 著

東海教育研究所

年間150カ所以上の小さな村を訪れているフランス在住の人気ブロガーが、特に心に残る55の「とっておきの小さな村」を厳選。フランス全土13地方を、みずみずしい視点で切り取ったオールカラーの写真とともに紹介する。

2020/9./ 191p

978-4-924523-10-4

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2020/10/24



ののの

太田 靖久 著

書肆汽水城

自由を求めて闘争/逃走する主人公たち。表題作ほか「かぜまち」「ろんど」を収録した、人間という“不確かさ”の上を爆走する繊細な小説集。『新潮』『文學界』掲載を単行本化。

2020/10./ 196p

978-4-9908899-3-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/10/24